

香芝市総合戦略策定に向けた  
まちづくりにかかる市民アンケート調査  
【結果報告書】

平成 27 年 10 月  
香芝市

# 目 次

---

I. 調査の概要 .....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査概要.....	2
3 報告書の見方.....	2
II. 調査結果 .....	3
1 回答者について.....	4
2 香芝市のまちづくりについて.....	19
3 就職・転職について.....	51
4 出産・子育てについて.....	56
5 アンケート調査（総合戦略関係分）のまとめ.....	77

# I . 調査の概要

---

# 1 調査の目的

国では平成 26 年度に「まち・ひと・しごと創生本部」が設置され、人口減少の克服と地域活性化による地方創生の取組がスタートしており、本市においても、「香芝市まち・ひと・しごと創生本部」を設置し、国の人口ビジョンや総合戦略をふまえ、香芝市版の総合戦略の策定を進めています。この香芝市版の総合戦略を策定するにあたり、市民の意見を反映させるため、平成 27 年 6 月 1 日時点で香芝市内在住の 16 歳以上の男女 2,000 人を無作為に抽出し、市民アンケートを実施しました。

# 2 調査概要

- 調査地域：香芝市全域
- 調査対象者：香芝市内在住の 16 歳以上の男女 2,000 人
- 抽出方法：住民基本台帳より無作為抽出
- 調査期間：平成 27 年 7 月 10 日（金）～平成 27 年 7 月 24 日（金）
- 調査方法：郵送配布・郵送回収

調査対象者数 (配布数)	有効回収数	有効回収率
2,000	838	41.9%

# 3 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第 2 位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。
- 図表中において、回答のなかった選択肢については、「0.0%」という表記を省いている場合があります。
- 全国との比較については、国立社会保障・人口問題研究所「第 14 回出生動向基本調査(2010 年)」における同様の設問との比較をしています。この調査は、対象者が 50 歳未満で、夫婦対象の調査については妻のみを回答者としている等、本調査の方法と若干異なる部分がありますが、全国的な状況と比較対照できるデータとして、可能な限り回答者の属性を一致させられるデータについて紹介しています。

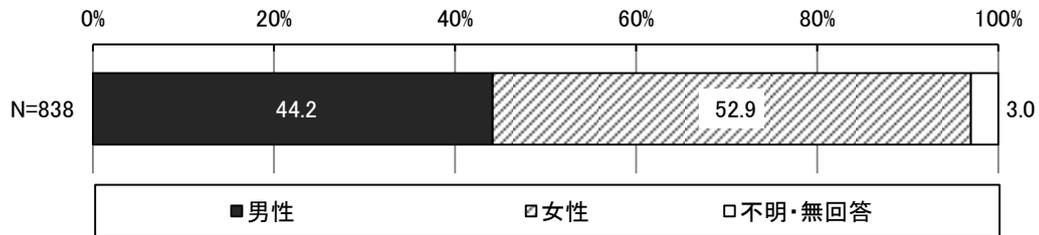
## II. 調査結果

---

# 1 回答者について

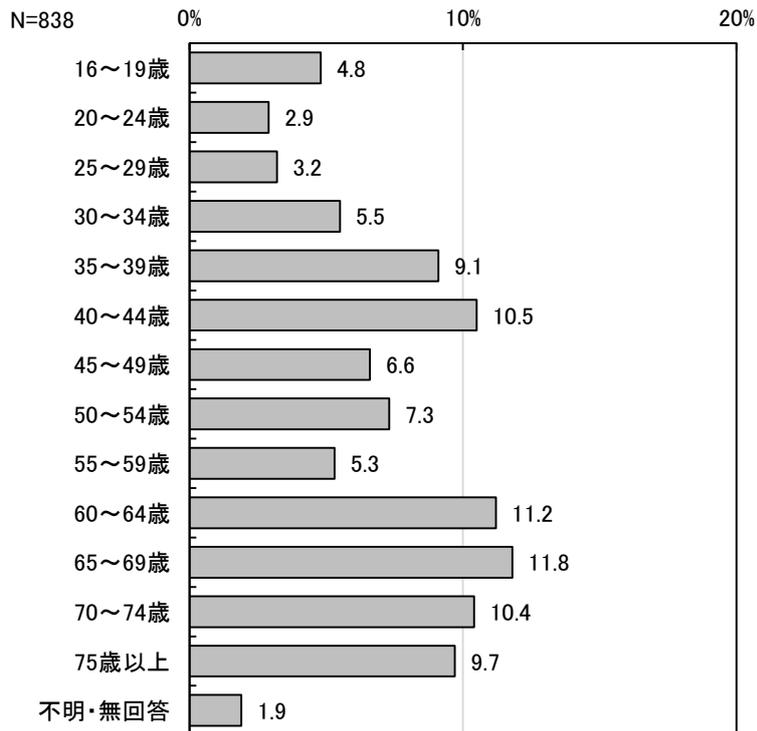
## (1) 回答者の性別〈単数回答〉〔問1 性別をお答えください。(1つに〇)〕

回答者の性別についてみると、「男性」が44.2%、「女性」が52.9%となっています。



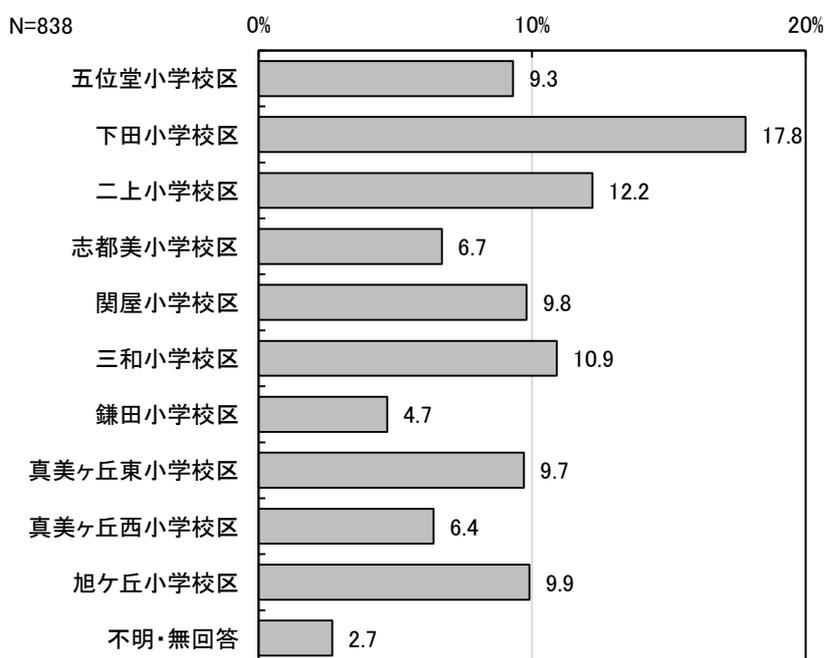
## (2) 回答者の年齢〈単数回答〉〔問2 年齢をお答えください。(1つに〇)〕

回答者の年齢についてみると、「65～69歳」が11.8%で最も高く、次いで「60～64歳」が11.2%となっています。



### (3) 回答者のお住まいの小学校区〈単数回答〉〔問3 お住まいの小学校区をお答えください。(1つに〇)〕

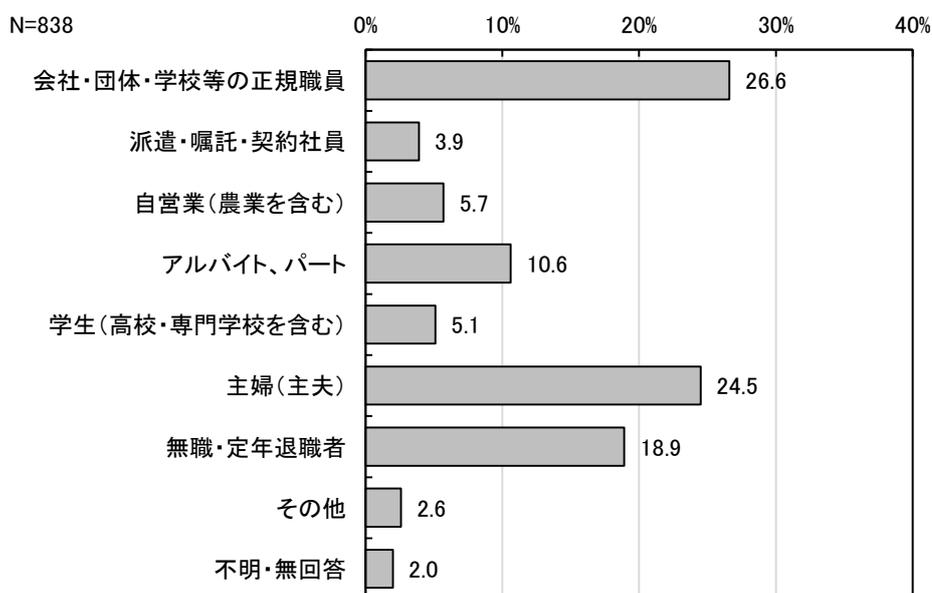
回答者のお住まいの小学校区についてみると、「下田小学校区」が17.8%で最も多く、次いで「二上小学校区」が12.2%、「三和小学校区」が10.9%となっています。



### (4) - 1. 回答者の主な職業〈単数回答〉〔問4 主なお仕事をお答えください。(1つに〇)〕

回答者の主な職業についてみると、「会社・団体・学校等の正規職員」が26.6%で最も高く、「派遣・嘱託・契約社員」「自営業（農業を含む）」「アルバイト、パート」も含めた就労者の割合は、全体の46.8%となっています。

一方、「主婦（主夫）」は24.5%、「無職・定年退職者」は18.9%、「学生（高校・専門学校を含む）」は5.1%となっています。

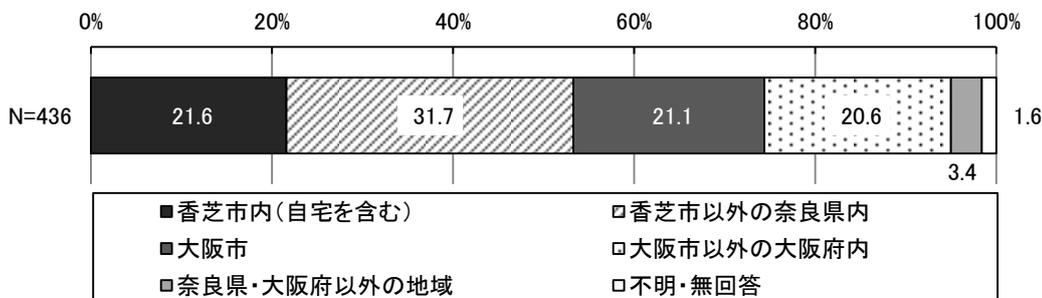


**現在就労・就学している方（問4で「1.」～「5.」を選んだ方）**

**（4）－2. 主な就業地・通学地〈単数回答〉**

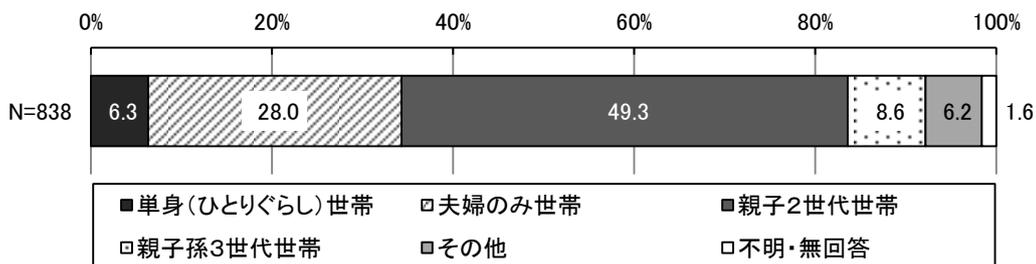
〔問4 主な就業地または通学地をお答えください。（1つに○）〕

就労者・就学者の主な就業地・通学地についてみると、「香芝市以外の奈良県内」が31.7%で最も高く、次いで「香芝市内（自宅を含む）」が21.6%、「大阪市」が21.1%、「大阪市以外の大阪府内」が20.6%となっています。



**（5）回答者の家族構成〈単数回答〉**〔問5 家族構成をお答えください。（1つに○）〕

回答者の家族構成についてみると、「親子2世代世帯」が49.3%で最も多く、次いで「夫婦のみ世帯」が28.0%となっています。

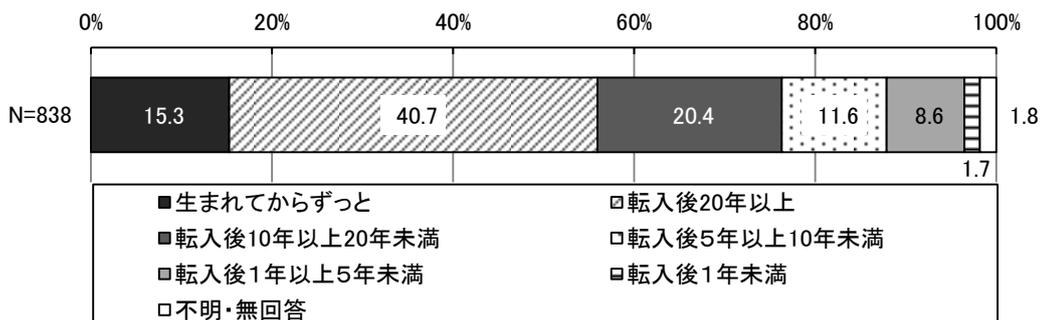


**（6）回答者の香芝市での居住年数〈単数回答〉**

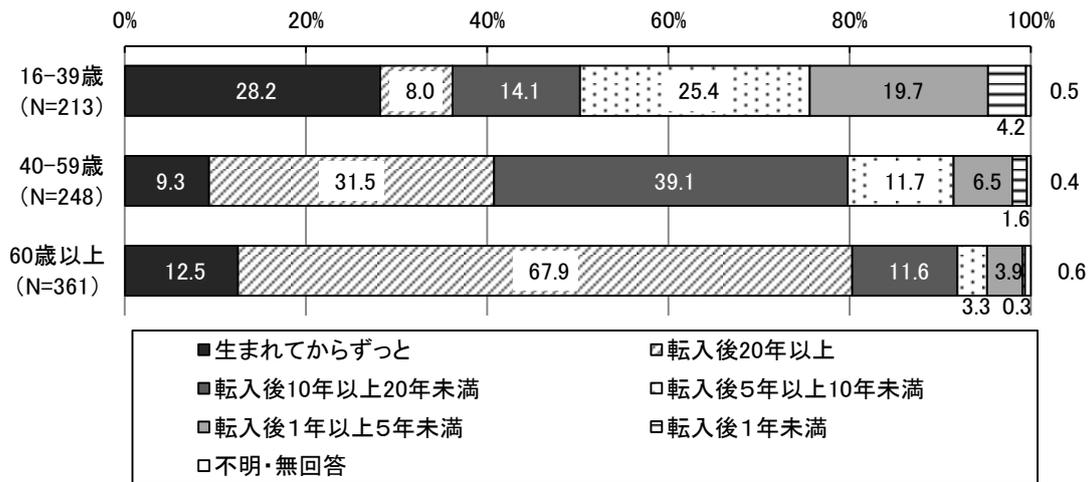
〔問6 あなたは香芝市に何年お住まいですか。（1つに○）〕

回答者の香芝市での居住年数についてみると、「転入後20年以上」が40.7%で最も高く、次いで「転入後10年以上20年未満」が20.4%となっています。

年齢別にみると、40歳以上の世代では「生まれてからずっと」は1割前後となっており、親元を離れていない若い世代を除けば、本市の住民の大多数は市外からの転入経験者が占めていると考えられます。



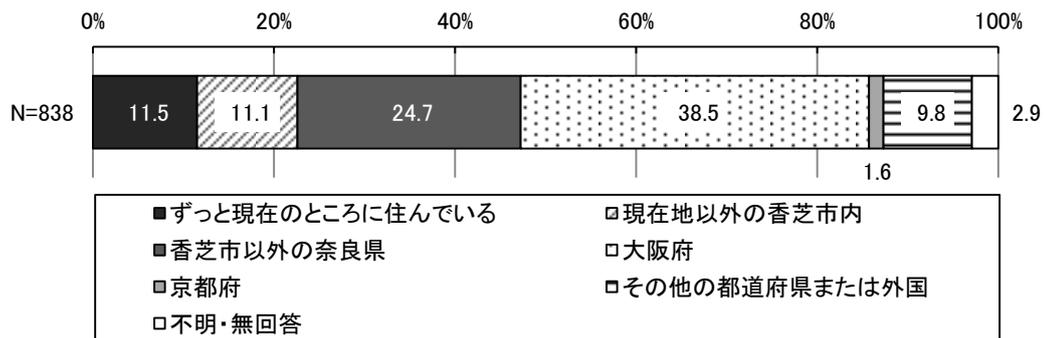
### 年齢別にみた香芝市での居住年数



### (7) 以前の居住地〈単数回答〉

〔問7 現在のお住まいに来られる以前はどこに住んでおられましたか。(1つに○)〕

現在の居住地に来る以前の居住地についてみると、「大阪府」が38.5%で最も高く、次いで「香芝市以外の奈良県」が24.7%となっています。

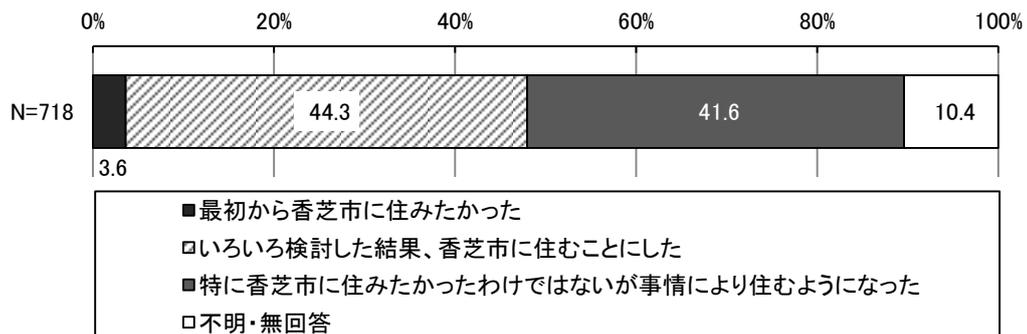


現在地以外から移住してきた方(問7で「1. ずっと現在のところに住んでいる」以外に○をつけた方)

### (8) 現在の居住地に住むことになった経緯〈単数回答〉

〔問8 あなたが現在の居住地にお住まいになった経緯は何ですか。(1つに○)〕

現在の居住地に住むことになった経緯についてみると、「いろいろ検討した結果、香芝市に住むことにした」が44.3%で最も高く、次いで「特に香芝市に住みたかったわけではないが事情により住むようになった」が41.6%となっています。



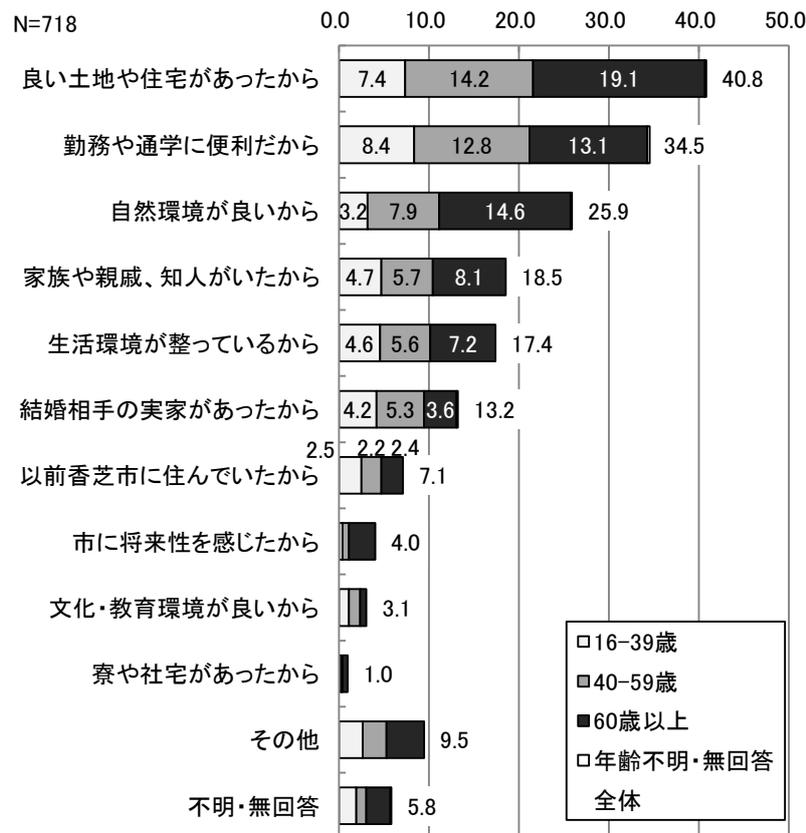
現在地以外から移住してきた方（問7で「1. ずっと現在のところに住んでいる」以外に○をつけた方）

### （9）香芝市に住んでいる理由〈複数回答〉

〔問9 あなたが香芝市に住んでいる理由は何ですか。（あてはまるもの3つまでに○）〕

香芝市に住んでいる理由についてみると、「良い土地や住宅があったから」が40.8%で最も高く、次いで「勤務や通学に便利だから」が34.5%、「自然環境が良いから」が25.9%となっています。

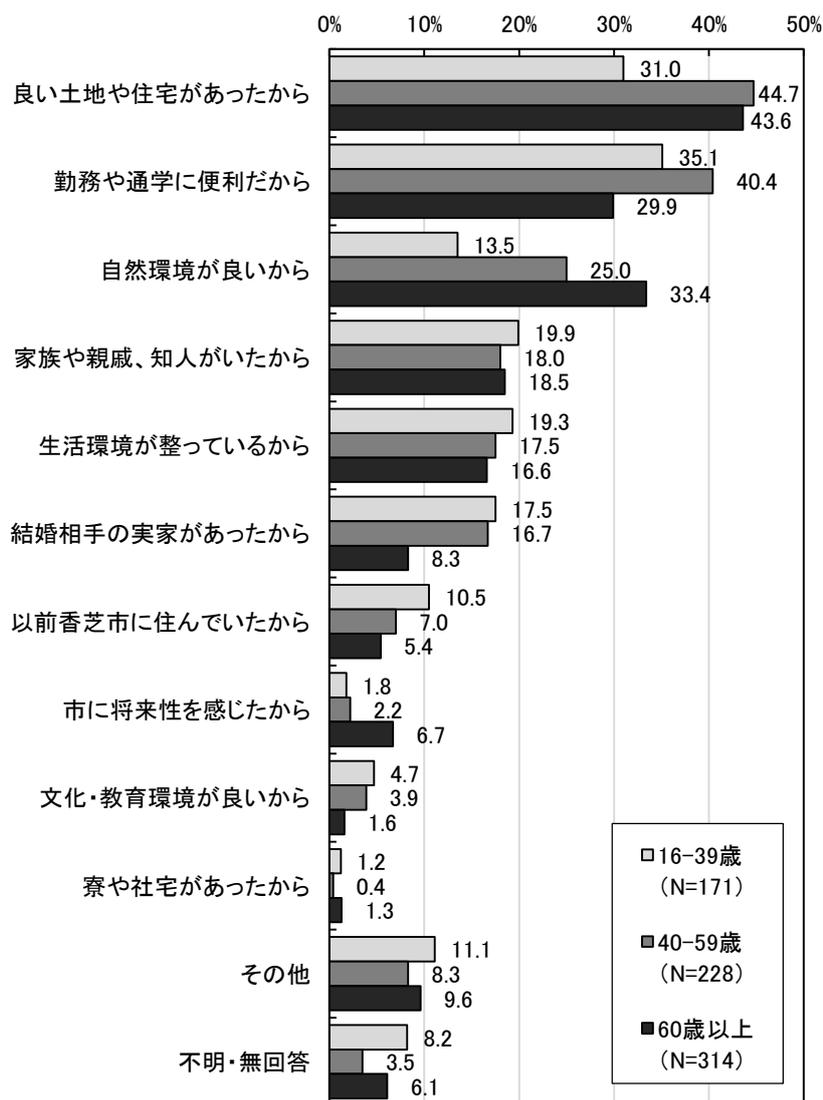
年齢別にみると、「良い土地や住宅があったから」は40歳以上で多く、「自然環境がよいから」は上の世代ほど多くなっています。「勤務や通学に便利だから」、「結婚相手の実家があったから」は59歳以下の世代で多くなっています。



■その他回答一覧（件数）

実家に近いから、実家があるから	5
仕事の関係上	4
結婚相手の実家の近く	3
香芝市に土地を所有していた	3
親の都合	3
大阪、三重、京都に行きやすい	2
夫婦それぞれの実家に近かったから	2
実家からほど良い距離だから	1
お互いの実家の中間だから	1
近く(市外)に親が住んでいる	1
会社と実家の中間点である	1
駅も近いので	1
マンション、近鉄、JR共に近い	1
近鉄沿線	1
近鉄が関屋に急行かとまとると約束。関屋⇄王寺道路が通ると説明があった。	1
香芝市生まれ、途中14年間転勤で他都府に住む	1
2歳の頃、近くのアパートから今の家へ	1
ずっと住んでいる	1
先祖代々香芝に住んでいたから	1
UR都市機構の賃貸住宅があったから	1
他府県で土地や家屋を購入できないから	1
購入予算に合致したから	1
家を購入したため	1
親が宅地購入、住宅建築をしたため	1
適当な住まいだったから	1
引越代がないから仕方なく	1
結婚相手がすでに家を購入していたから	1
結婚を機に仕方なく	1
結婚相手の親の家が別にあったから	1
結婚して商売する店をこの地で見つけたから	1
入所できる認可保育園があったから	1
親が老齢になったため	1
親の世話のため	1
勤務の都合上、夫と私の勤務場所の間をとって	1
勤務先の通勤に便利で、地価もあまり高額ではなかった	1
亡き父が住んでいたから	1
18年前は空き地が多く子どもがのびのび走りまわる事ができたので	1
自然環境が良かったら。今は悪い	1
ごく普通の田舎町だから	1
定年後、葱の1本でも植えるところ。40坪畑にしています。	1
マンションでペットが飼えたから	1
短大進学のため	1
現状維持	1
奈良で住むところを探していた	1

### 年齢別にみた香芝市に住んでいる理由

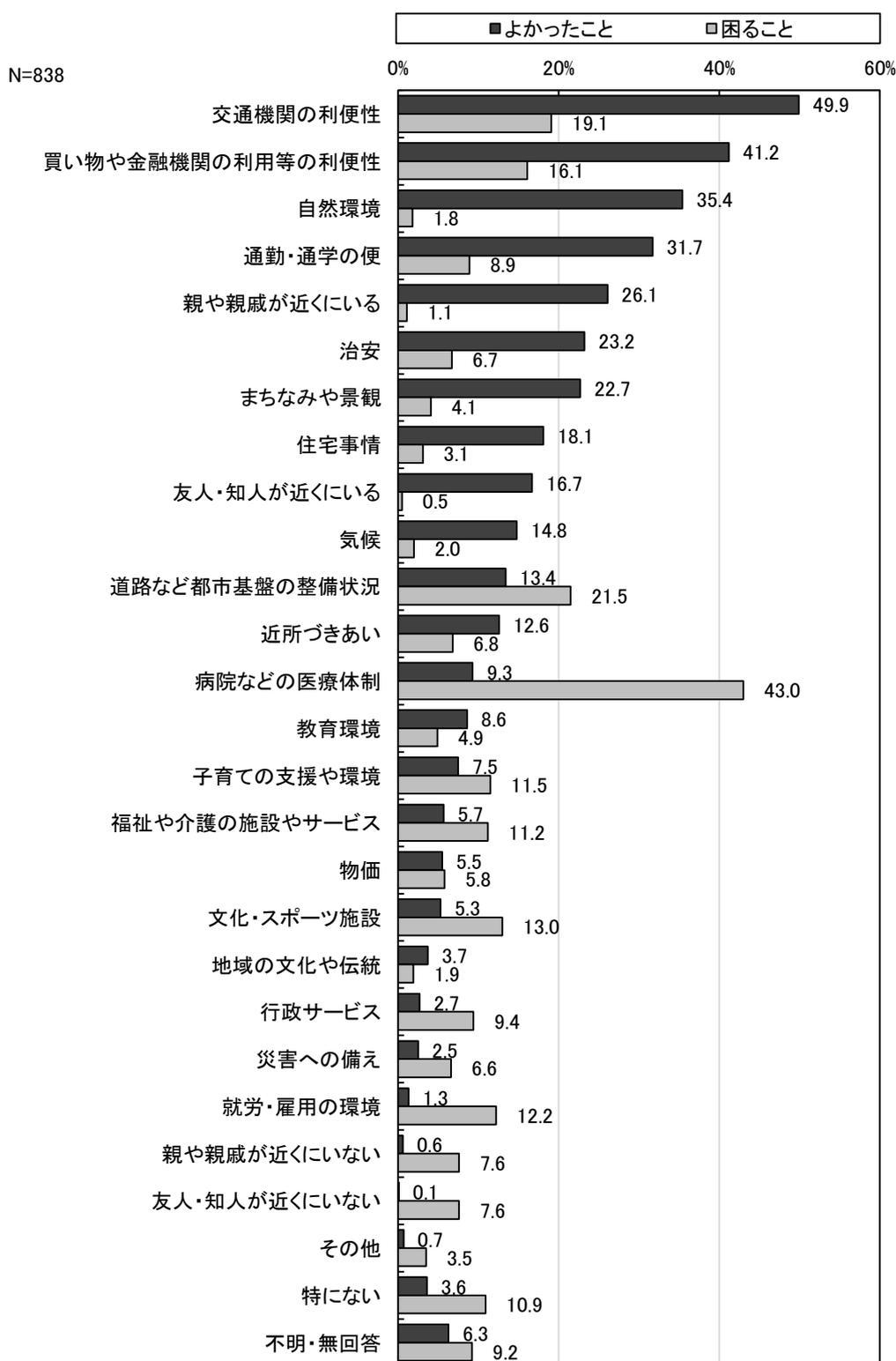


## (10) 香芝市に住んでいて「①よかったこと」と「②困ること」〈複数回答〉

〔問 10 香芝市に住んでいて、①よかったことは何ですか。また、②困ることは何ですか。(あてはまるものすべて)〕

香芝市に住んでいてよかったことについてみると、「交通機関の利便性」が49.9%で最も高く、次いで「買い物や金融機関の利用等の利便性」が41.2%、「通勤・通学の便」が31.7%となっています。また、困ったことについては、「病院などの医療体制」が43.0%で最も高くなっています。

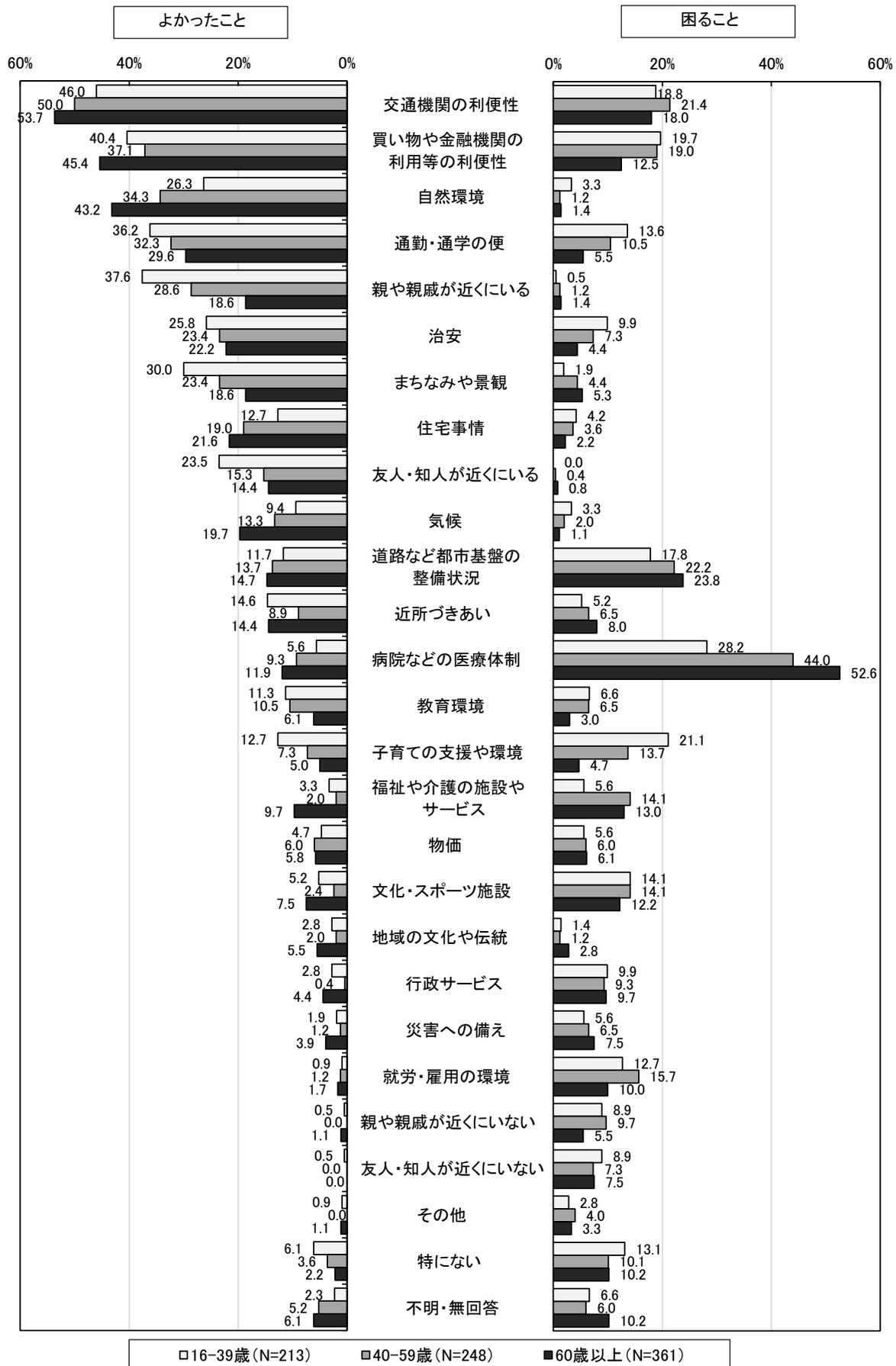
年齢別にみると、「親や親せきが近くにいる」のがよいという回答は若い世代で、「病院などの医療体制」が困るという回答は上の世代で、より多く回答されています。



■その他回答一覧（件数）

①良かったこと	
中和幹線ができて大変便利	1
良いも悪いも、村・家制度を引きずっている所(人生的に、耐えることに勉強になる)	1
子供が近くにいる	1
鳥のさえずり	1
緑が多い	1
②困ること	
水道料金が高い	2
坂が多い。	2
水道代、税金等が高い。	1
終電車が早すぎる	1
デマンドバスの便数が少ないこと	1
西名阪柏原インターに近い	1
都市銀行がない。奈良市、生駒方面に行くのが不便。	1
電車の急行が止まらない事。住友B/Kがない市内に	1
大手都市銀行が無い	1
ペットを育てている(犬猫)人のマナー	1
王寺までの道の渋滞	1
自転車で走りにくい	1
小学生の医療負担	1
スーパーがない。住所の穴虫を関屋駅の近くなので関屋にして！	1
車が多くなった	1
急な宅地の増加	1
香芝の文字と響きが良い	1
年が大きくなってもここにいたい。仕事をやめ、主人と死別れ、1人淋しい	1
外食がおいしくない	1
大型店舗の入れ替わりが激しく20年前の下田あたり変化なし	1
自家用車に乗れなくなった以降の生活に不安	1

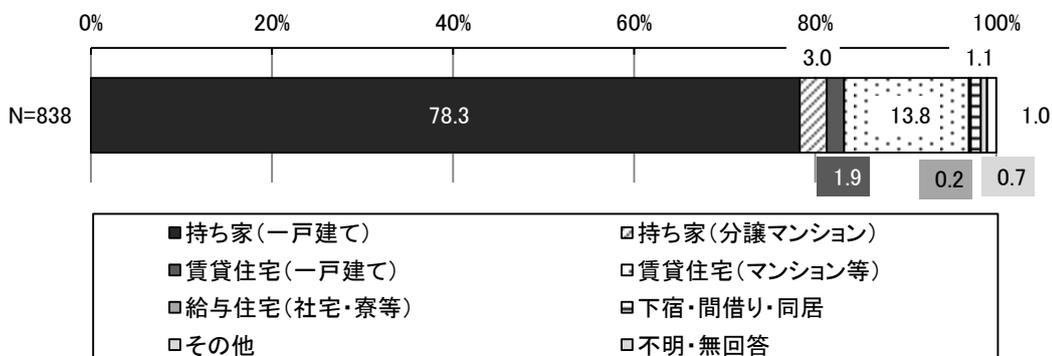
## 年齢別にみた香芝市に住んでよかったこと・困ること



## (11) 回答者の住宅の形態〈単数回答〉

〔問 11 あなたのお住まいの住宅の形態は、次のどれに当てはまりますか(1つに○)。〕

回答者の住宅の形態についてみると、「持ち家（一戸建て）」が 78.3%で、全体の8割近くを占めています。次いで「賃貸住宅（マンション等）」が 13.8%となっています。

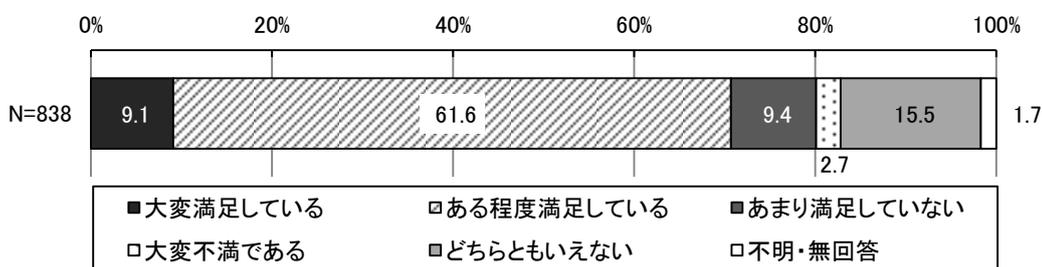


## (12) 香芝市の生活環境に対する満足度〈単数回答〉

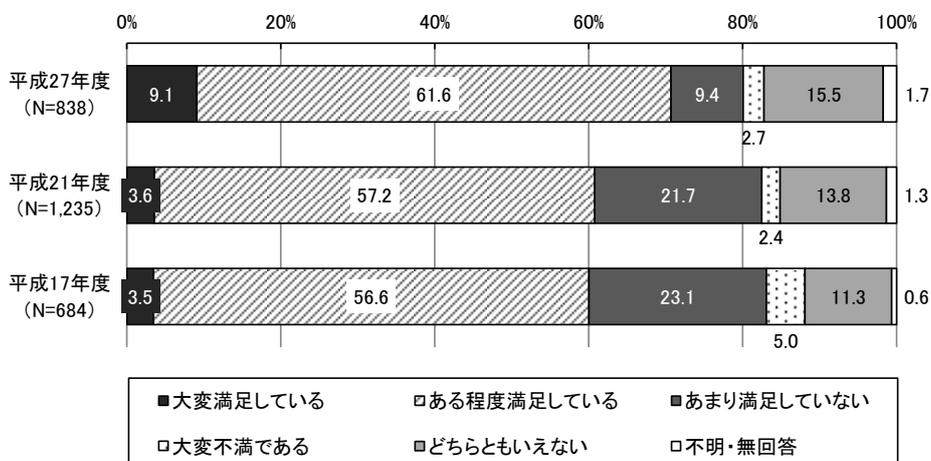
〔問 12 あなたは、現在の香芝市の生活環境についてどの程度満足していますか。(1つに○)〕

香芝市の生活環境に対する満足度についてみると、「ある程度満足している」が 61.6%で全体の6割を占めています。次いで「どちらともいえない」が 15.5%となっています。

過去の調査と比較すると、「大変満足している」、「ある程度満足している」が増加しています。



### 過去の調査と比較した生活環境に対する満足度



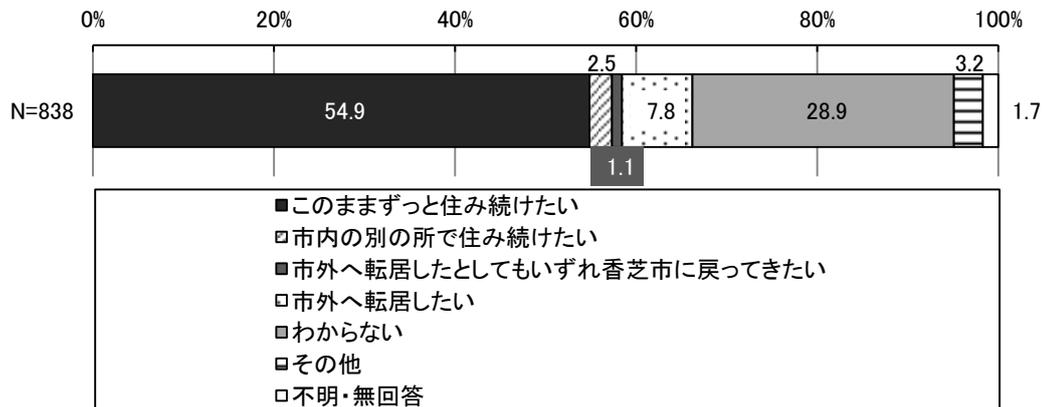
### (13) 香芝市での居留意向〈単数回答〉

〔問 13 あなたは、今後も香芝市に住み続けたいと思われませんか。(1つに〇)〕

今後も香芝市に住み続けたいかどうかについてみると、「このままずっと住み続けたい」が54.9%で半数以上を占めています。その一方で、「わからない」という回答も28.9%となっています。

年齢別にみると、若い世代ほど「このままずっと住み続けたい」が少なく、「わからない」が多くなっています。

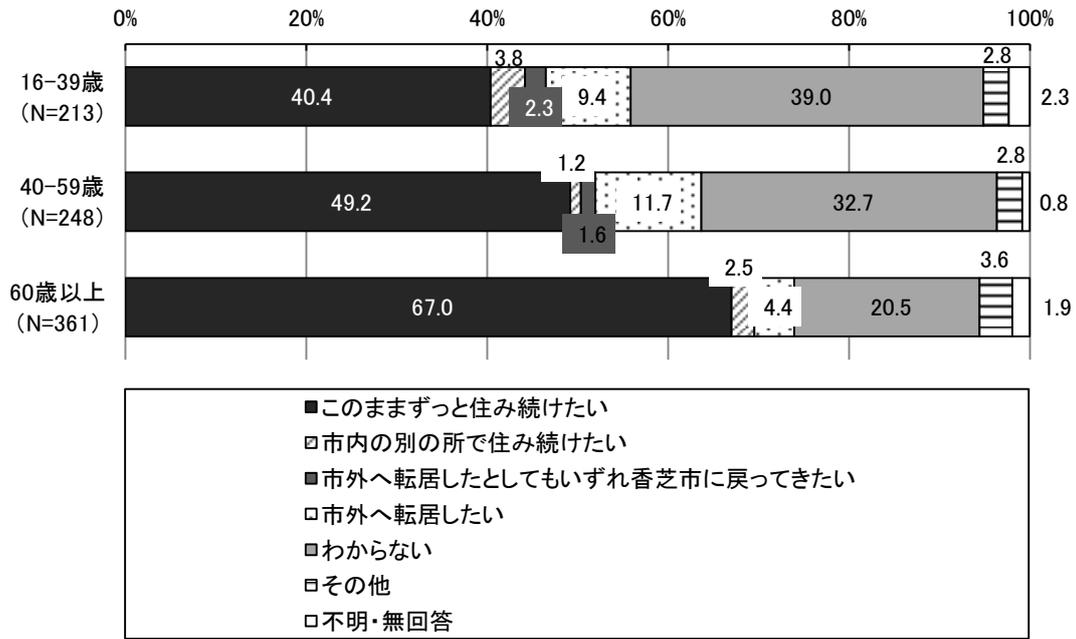
過去の調査との比較では、回答の傾向に大きな違いは見られません。



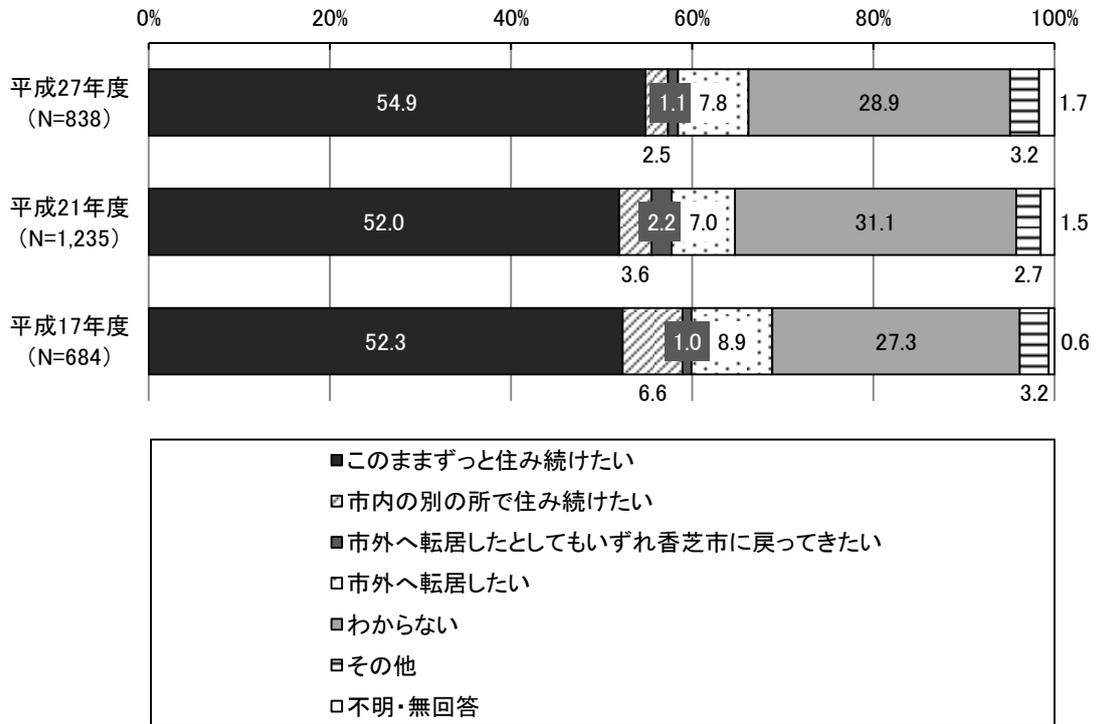
#### ■その他回答一覧 (件数)

住みなれているが便利が悪く老後は住めない	2
年齢的に転居は難しい。もっと便利な所に行きたい	1
どこにもいけないからこのまま	1
転居したいが、経済的に無理	1
親の家があるので仕方ない	1
住まざるをえない	1
個人的には住みたくないが、子どものためや結婚相手の仕事を考えると住まざるを得ない	1
大切な先祖からの土地があるので住みます	1
病院ができれば住み続けたい	1
ペットが飼える物件があり、家賃など希望に合えば	1
住み続けたいと田舎暮らしのどちらか悩んでいます	1
いずれは住み慣れた大阪に帰る(娘のいる所に)	1
子供が自立するまで	1
子供達が関東である為	1
他市との比較がないのでまだ分かりませんが満足でも不満でもありません	1

### 年齢別にみた居住意向



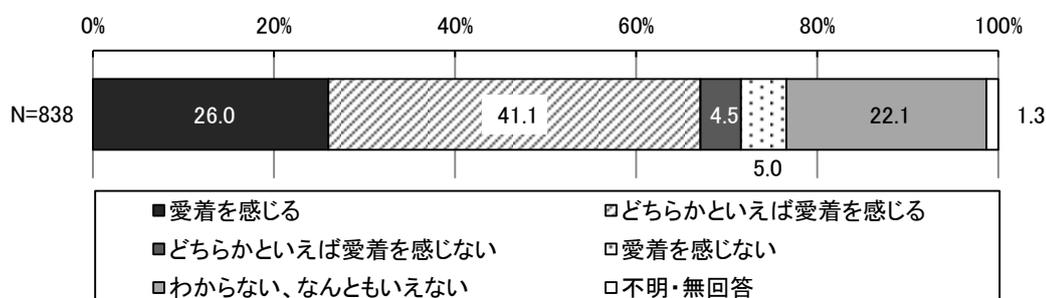
### 過去の調査と比較した居住意向



### (14) 香芝市に愛着を感じるか〈単数回答〉

〔問 14 あなたは、香芝市に愛着を感じていますか。(1つに○)〕

香芝市に愛着を感じているかどうかについてみると、「どちらかといえば愛着を感じる」が41.1%で最も多く、次いで「愛着を感じる」が26.0%となっていて、回答者のおよそ3分の2が香芝市に愛着を感じていると答えています。

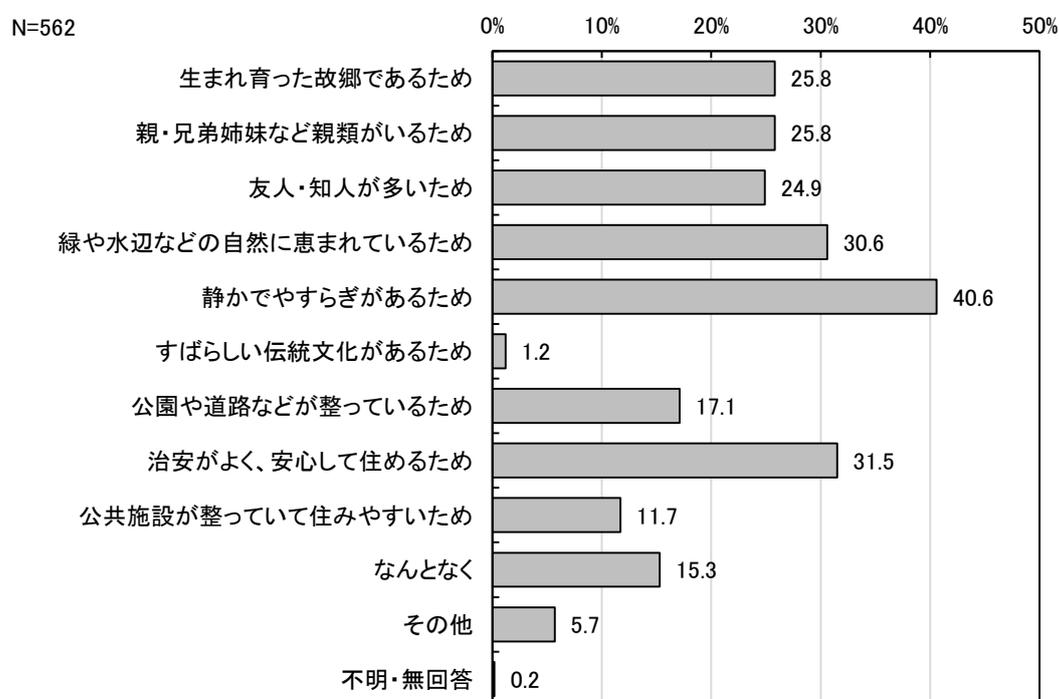


### 香芝市に愛着を感じる方(問 14で「1.」または「2.」に○をつけた方)

#### (15) 香芝市に愛着を感じる理由〈複数回答〉

〔問 15 香芝市に愛着を感じる理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)〕

香芝市に愛着を感じる理由についてみると、「静かでやすらぎがあるため」が40.6%で最も高く、次いで「治安がよく、安心して住めるため」が31.5%、「緑や水辺などの自然に恵まれているため」が30.6%となっています。



■その他回答一覧（件数）

子育ての場所だった	3
長く住み続けている	3
近所づきあいが良好	2
30年以上住んでいるから	2
10年以上住んでいるので…	1
7年経ったので	1
住めば都	1
家族と一緒になので	1
家族が近くにいるから	1
子どもたちが近くに住んでいるし、今更年金生活ではとてもどこにも行けない	1
結婚して出産、子育てしている場所だから	1
夫が育った場所だから	1
家を建てたから	1
職場に近い	1
実家に近くて昔から生活圈だったため	1
高速道路が近い	1
大阪に行きやすい。交通面	1
近鉄、JRがあるため	1
地域に自然が多く、蛍が出る所です	1
今後に期待しているから	1
市職員さんが良く、速やかかつ丁寧に対応してもらえる	1
設問の香芝市とは何を示すのですか？市政？それとも香芝の場所、土地？市政については住民をないがしろにした計画（都市計画）を時々発表するので、評価できないが、香芝市の場所、環境、文化すべてに愛着を感じる。	1
町に役立つ自分に人生勉強中！	1

## 2 香芝市のまちづくりについて

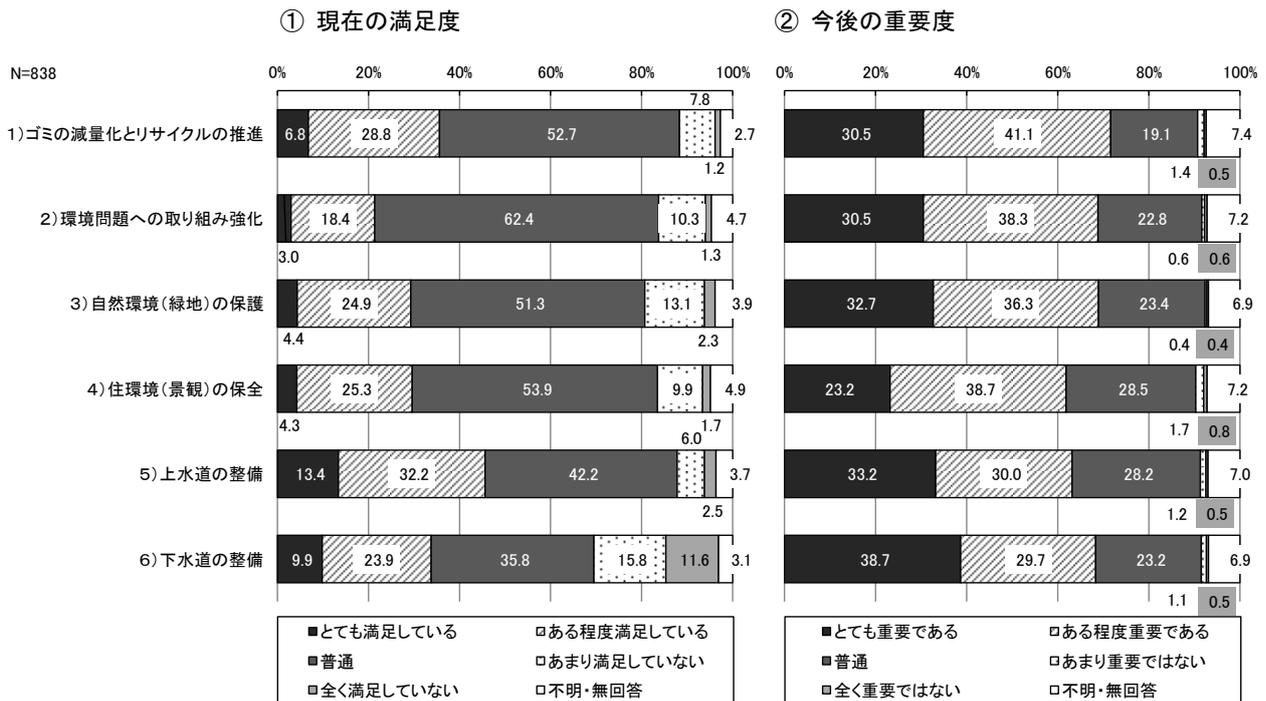
### (1) 香芝市が取り組んでいる施策に対する「①現在の満足度」と「②今後の重要度」 〈単数回答〉

〔問 16 香芝市が取り組んでいる以下のそれぞれの施策について、①現在どの程度満足されていますか。②また、今後どのくらい重要な取組だと思いますか。(1つに〇)〕

#### ① 《自然・環境》

自然・環境の取組に対する①現在の満足度についてみると、いずれの施策においても「普通」の割合が最も高くなっています。〈上水道の整備〉においては、『満足している』（「とても満足している」と「ある程度満足している」の計）の割合が45.6%と、他の施策に比べて高くなっています。一方、『満足していない』（「全く満足していない」と「あまり満足していない」の計）の割合が高いのは、〈下水道の整備〉で27.4%となっています。

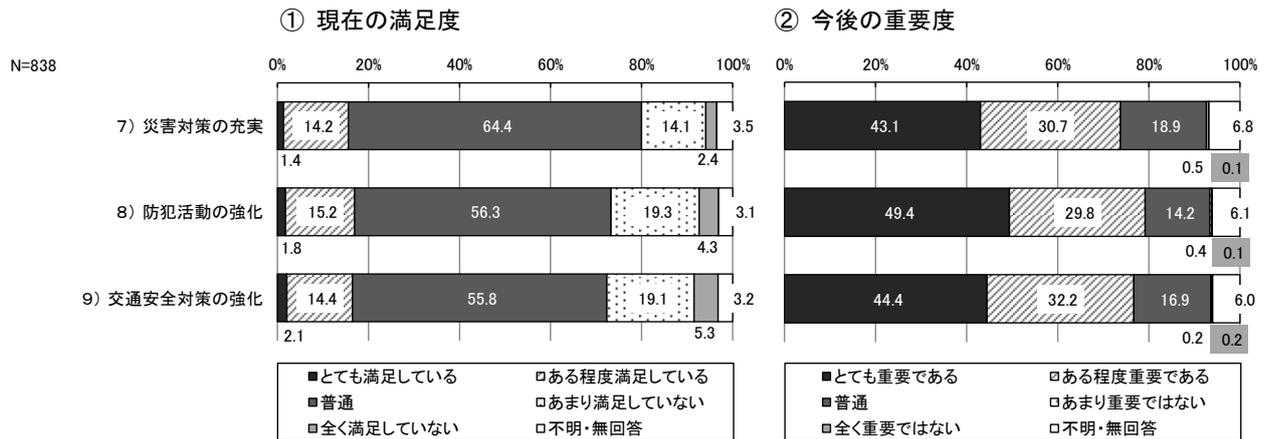
②今後の重要度についてみると、いずれの施策においても『重要である』（「とても重要である」と「ある程度重要である」の計）の割合が全体の7割前後となっています。特に〈下水道の整備〉においては、「とても重要である」が38.7%と、他の施策に比べて割合が高くなっています。



## ② 《安全・安心》

安全・安心の取組に対する①現在の満足度についてみると、いずれの施策においても「普通」の割合が最も高くなっています。また、〈交通安全対策の強化〉および〈防犯活動の強化〉において『満足していない』（「全く満足していない」と「あまり満足していない」の計）の割合が高く、それぞれ24.4%、23.6%となっています。

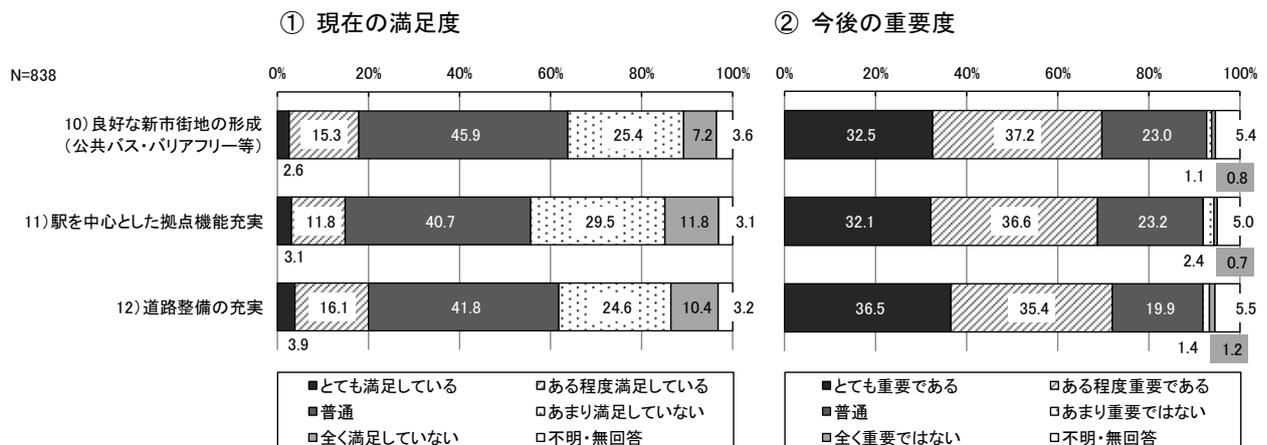
②今後の重要度についてみると、いずれの施策においても『重要である』（「とても重要である」と「ある程度重要である」の計）の割合が全体の75%前後を占め、重要度が高いことがうかがえます。



## ③ 《都市基盤》

都市基盤の取組に対する①現在の満足度についてみると、いずれの施策においても「普通」の割合が最も高くなっています。また、いずれの施策においても、次いで『満足していない』（「全く満足していない」と「あまり満足していない」の計）の割合が高く、全体の3割から4割を占めています。

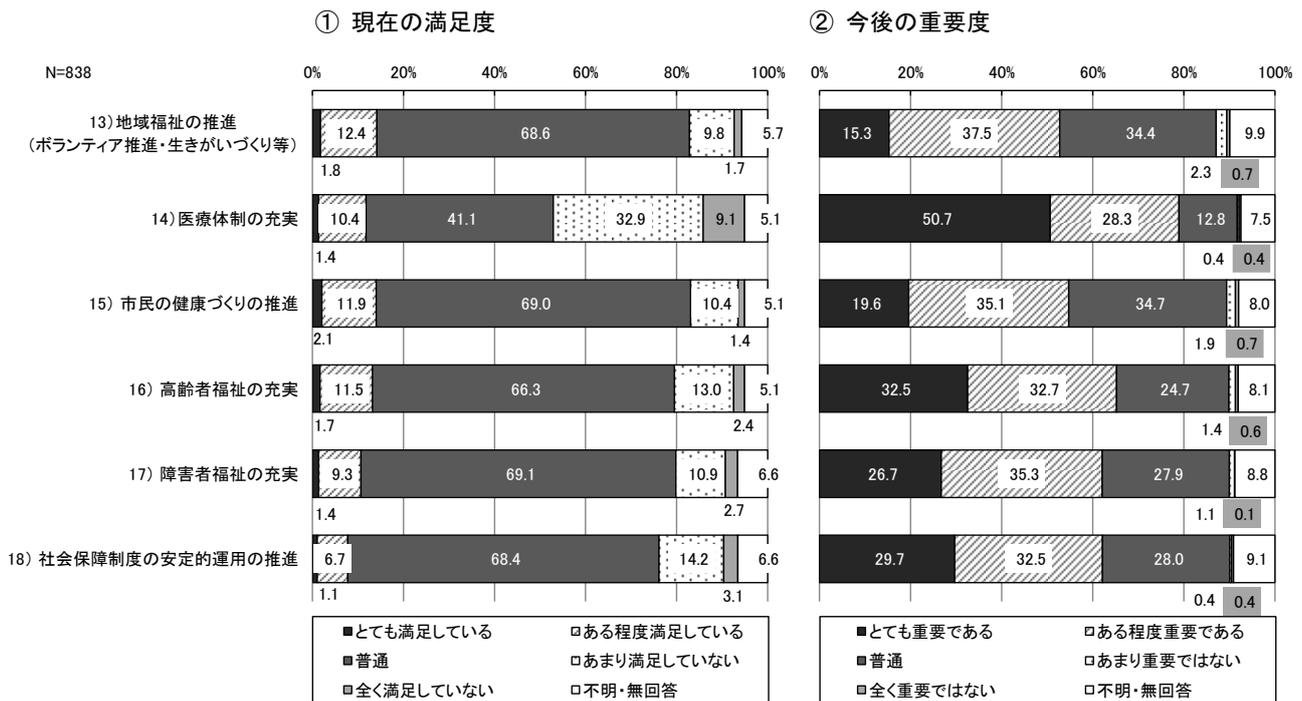
②今後の重要度についてみると、いずれの施策においても『重要である』（「とても重要である」と「ある程度重要である」の計）の割合が全体の7割前後となっています。特に〈道路整備の充実〉においては、「とても重要である」が36.5%と、他の施策に比べて割合が高くなっています。



#### ④ 《健康・福祉》

健康・福祉の取組に対する①現在の満足度についてみると、いずれの施策においても「普通」の割合が最も高くなっていますが、〈医療体制の充実〉においてその割合は41.1%と他の施策に比べて低く、一方、『満足していない』（「全く満足していない」と「あまり満足していない」の計）の割合は42.0%と、突出して高い値となっています。

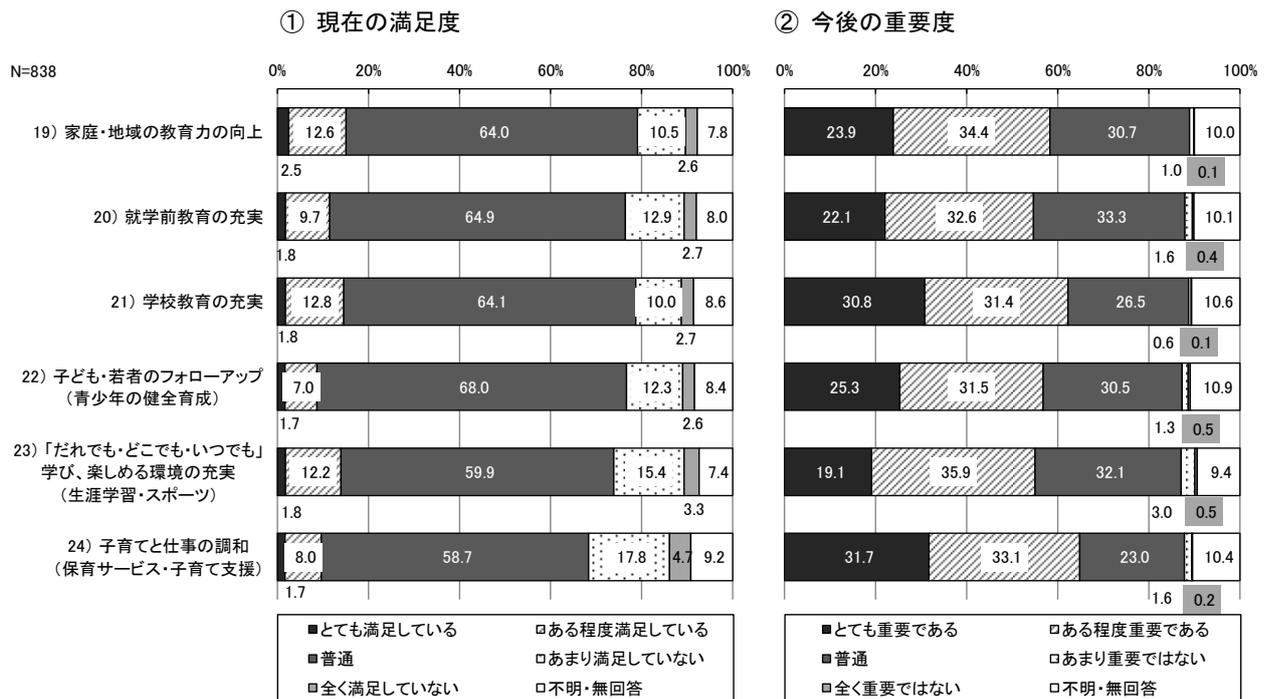
②今後の重要度についてみると、いずれの施策においても『重要である』（「とても重要である」と「ある程度重要である」の計）が全体の半数以上を占めていますが、中でも〈医療体制の充実〉において「とても重要である」が50.7%と、他の施策に比べて特に高くなっています。



## ⑤ 《子育て・教育》

子育て・教育の取組に対する①現在の満足度についてみると、いずれの施策においても「普通」が全体の3分の2近くを占めています。〈子育てと仕事の調和（保育サービス・子育て支援）〉において、『満足していない』（「全く満足していない」と「あまり満足していない」の計）の割合が22.5%と、他の施策に比べて高くなっています。

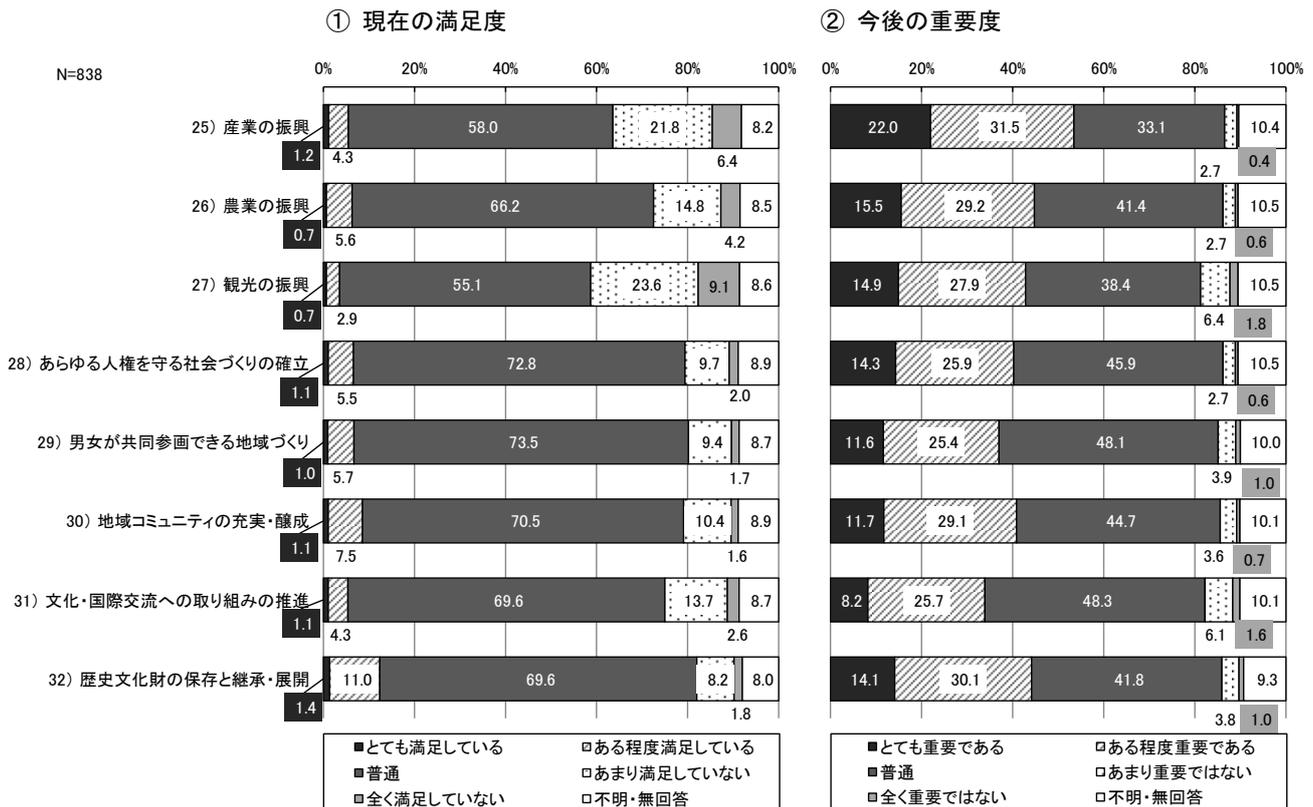
②今後の重要度についてみると、いずれの施策においても『重要である』（「とても重要である」と「ある程度重要である」の計）が全体の半数以上を占めています。特に、〈子育てと仕事の調和（保育サービス・子育て支援）〉においてその割合は高くなっています。



## ⑥ 《産業・文化・連携》

産業・文化・連携の取組に対する①現在の満足度についてみると、いずれの施策においても「普通」の割合が最も高くなっています。〈観光の振興〉と〈産業の振興〉において、『満足していない』（「全く満足していない」と「あまり満足していない」の計）の割合が高く、それぞれ32.7%、28.2%となっています。

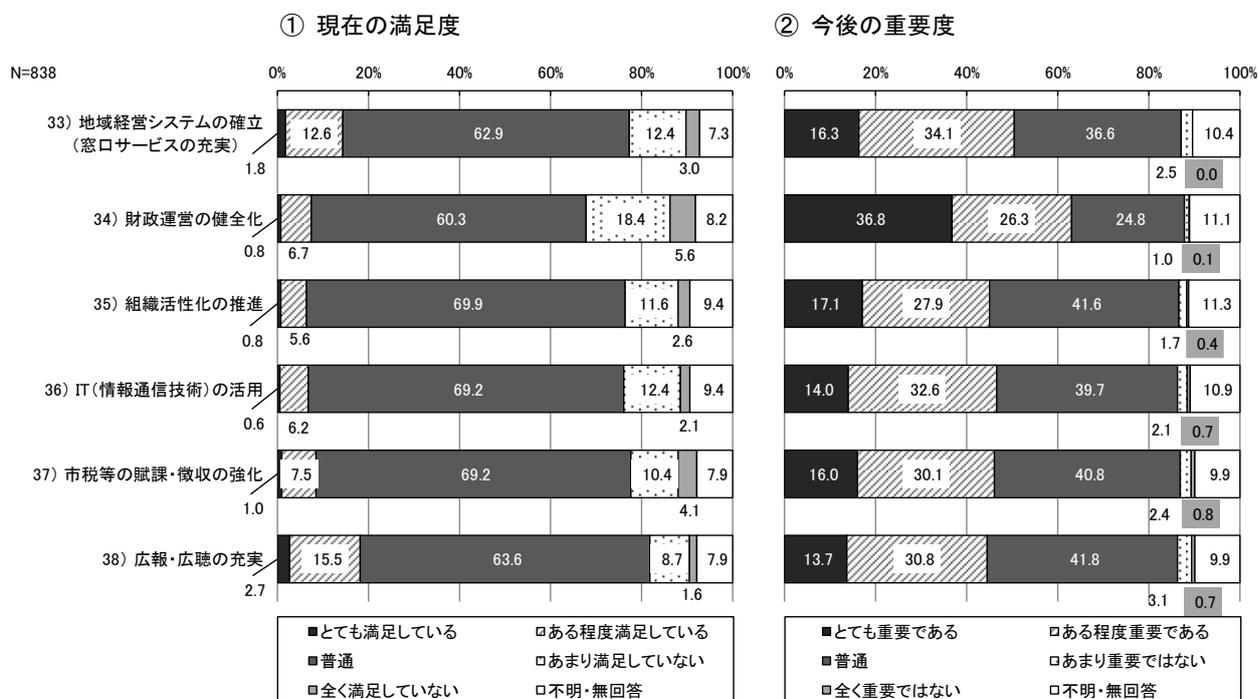
②今後の重要度についてみると、いずれの施策においても「普通」の割合が最も高くなっています。〈産業の振興〉において、『重要である』（「とても重要である」と「ある程度重要である」の計）の割合が高く、53.5%となっています。



## ⑦ 《行政経営》

行政経営の取組に対する①現在の満足度についてみると、いずれの施策においても「普通」の割合が最も高くなっています。〈財政運営の健全化〉において、『満足していない』（「全く満足していない」と「あまり満足していない」の計）の割合が高く、24.0%となっています。

②今後の重要度についてみると、〈財政運営の健全化〉において『重要である』（「とても重要である」と「ある程度重要である」の計）が63.1%と、他の施策に比べて割合が高くなっています。



## ○施策評価の得点化による分析

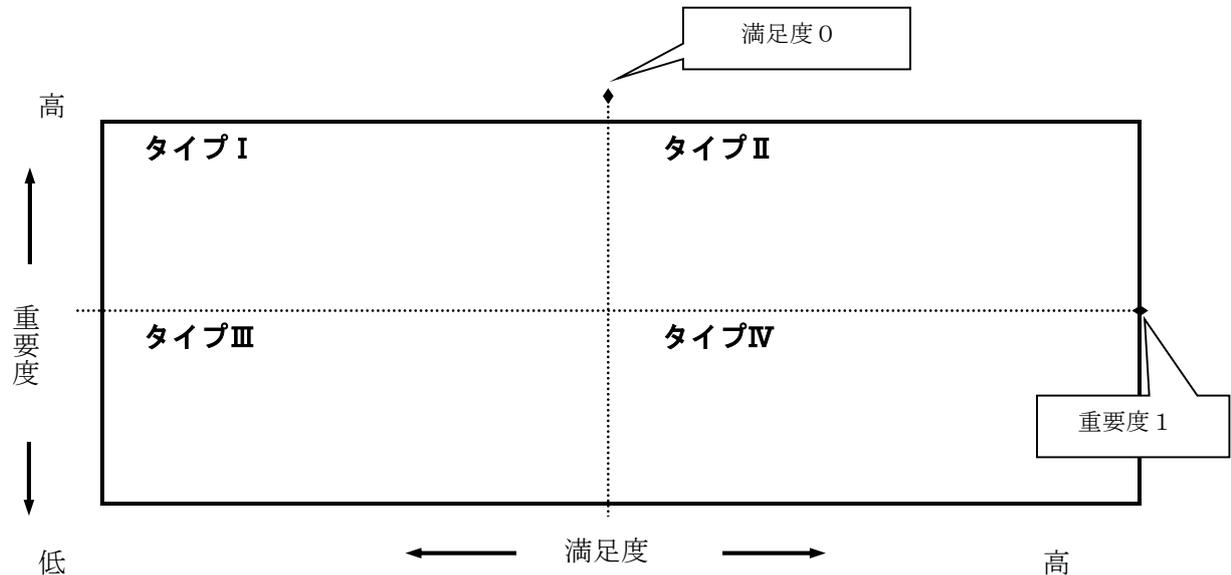
前回調査と同様に、各施策に対する市民の評価を得点化し、満足度スコアと重要度スコアの2つの指標に集約することで、市民からみた施策の位置づけを示すとともに、前回調査との比較を行います。

得点化の方法は以下の通りです。

■スコア値の算出方法						
回答肢	満足度	とても満足している	ある程度満足している	普通	あまり満足していない	全く満足していない
	重要度	とても重要である	ある程度重要である	普通	あまり重要ではない	全く重要ではない
スコア値		+2点	+1点	0点	-1点	-2点

各回答を上表に基づいて得点化し、施策ごとに平均点を算出することで、各施策の満足度スコア、重要度スコアを算出します。算出にあたっては不明・無回答を除いています。

得られた二つのスコアに基づき、「満足度0」、「重要度1」を基準として、それぞれのスコア値を4つのセグメントに分類することで、市民からの評価に基づく各施策の位置づけを示すことができます。なお、重要度スコアの基準を「0（ゼロ）」としていないのは、重要度については「まったく重要ではない」、「あまり重要ではない」という回答が全体的に少なく、「0」を基準にするとすべての施策がプラスの象限に含まれてしまうことによります。



二つのスコアによって位置づけられたそれぞれの施策は、象限によって以下のように分類されます。

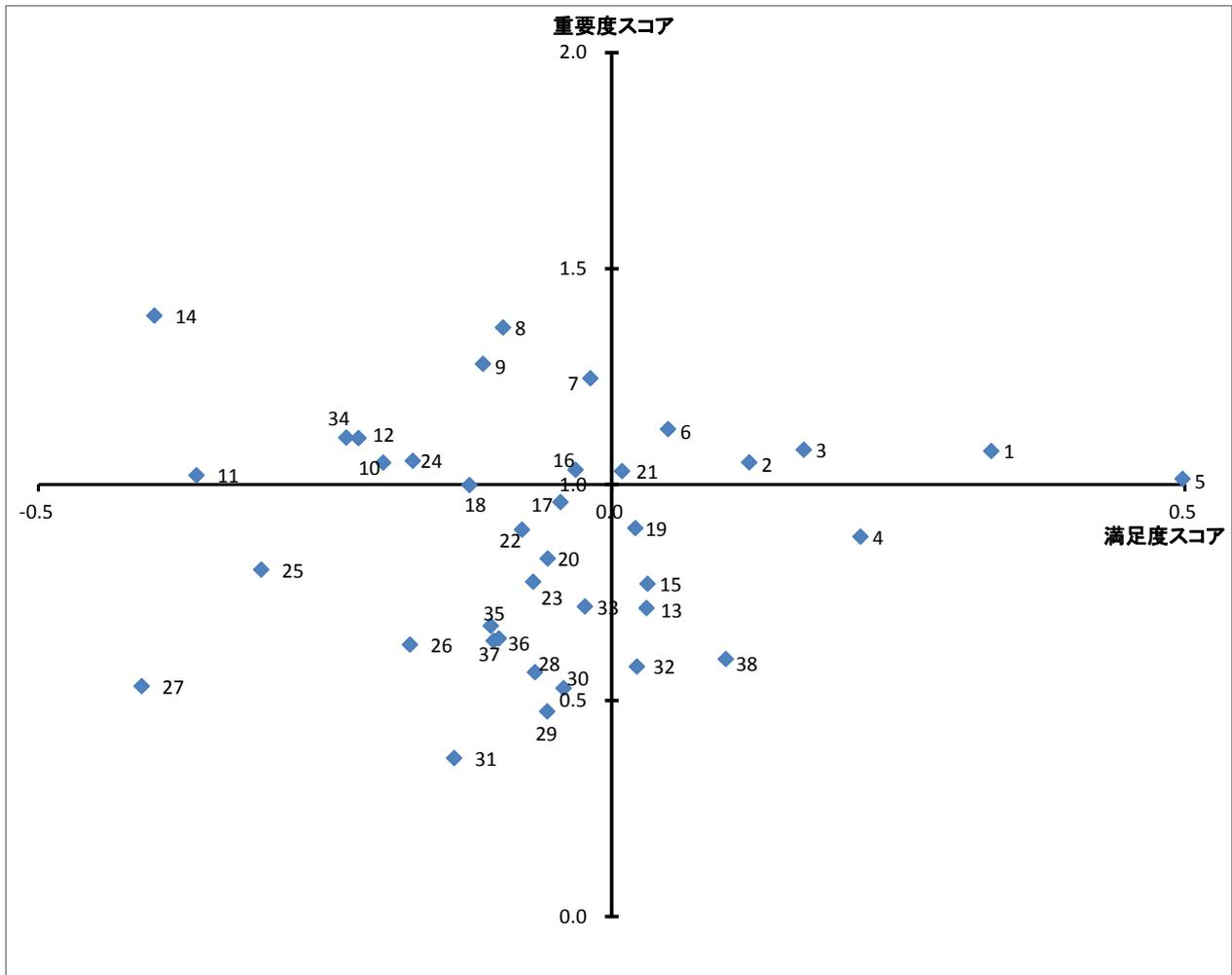
**タイプⅠ**：タイプⅠは、満足度が低いが、重要度は高くなっています。市民のニーズが高く、今後の取組が特に求められている施策です。

**タイプⅡ**：タイプⅡは、満足度が高く、重要度も高くなっています。現在の水準が維持できるよう、継続的に施策を推進してゆくことが求められています。

**タイプⅢ**：タイプⅢは、満足度が低く、重要度も低くなっています。行政としての施策の実施・継続の必要性について検証するとともに、必要に応じて市民への周知が求められます。

**タイプⅣ**：タイプⅣは、満足度が高いが、重要度は低くなっています。水準の維持が求められますが、市民からみた優先度は高くない分野と言えます。

施策の満足度・重要度スコアによるマトリクス化



■施策別タイプ・スコア一覧

施策	番号	タイプ別	取り組み内容	満足度スコア	重要度スコア
自然・環境	1	タイプⅡ	ゴミの減量化とリサイクルの推進	0.33	1.08
	2	タイプⅡ	環境問題への取り組み強化	0.12	1.05
	3	タイプⅡ	自然環境（緑地）の保護	0.17	1.08
	4	タイプⅣ	住環境（景観）の保全	0.22	0.88
	5	タイプⅡ	上水道の整備	0.50	1.01
	6	タイプⅡ	下水道の整備	0.05	1.13
安全・安心	7	タイプⅠ	災害対策の充実	-0.02	1.25
	8	タイプⅠ	防犯活動の強化	-0.09	1.36
	9	タイプⅠ	交通安全対策の強化	-0.11	1.28
都市基盤	10	タイプⅠ	良好な新市街地の形成（公共バス・バリアフリー等）	-0.20	1.05
	11	タイプⅠ	駅を中心とした拠点機能充実	-0.36	1.02
	12	タイプⅠ	道路整備の充実	-0.22	1.11
健康・福祉	13	タイプⅣ	地域福祉の推進（ボランティア推進・生きがいづくり等）	0.03	0.71
	14	タイプⅠ	医療体制の充実	-0.40	1.39
	15	タイプⅣ	市民の健康づくりの推進	0.03	0.77
	16	タイプⅠ	高齢者福祉の充実	-0.03	1.03
	17	タイプⅢ	障害者福祉の充実	-0.04	0.96
	18	タイプⅢ	社会保障制度の安定的運用の推進	-0.12	1.00
子育て・教育	19	タイプⅣ	家庭・地域の教育力の向上	0.02	0.90
	20	タイプⅢ	就学前教育の充実	-0.06	0.83
	21	タイプⅡ	学校教育の充実	0.01	1.03
	22	タイプⅢ	子ども・若者のフォローアップ（青少年の健全育成）	-0.08	0.90
	23	タイプⅢ	「だれでも・どこでも・いつでも」学び、楽しめる環境の充実（生涯学習・スポーツ）	-0.07	0.77
	24	タイプⅠ	子育てと仕事の調和（保育サービス・子育て支援）	-0.17	1.05
産業・文化 ・連携	25	タイプⅢ	産業の振興	-0.31	0.80
	26	タイプⅢ	農業の振興	-0.18	0.63
	27	タイプⅢ	観光の振興	-0.41	0.53
	28	タイプⅢ	あらゆる人権を守る社会づくりの確立	-0.07	0.57
	29	タイプⅢ	男女が共同参画できる地域づくり	-0.06	0.47
	30	タイプⅢ	地域コミュニティの充実・醸成	-0.04	0.53
	31	タイプⅢ	文化・国際交流への取り組みの推進	-0.14	0.37
	32	タイプⅣ	歴史文化財の保存と継承・展開	0.02	0.58
行政経営	33	タイプⅢ	地域経営システムの確立（窓口サービスの充実）	-0.02	0.72
	34	タイプⅠ	財政運営の健全化	-0.23	1.11
	35	タイプⅢ	組織活性化の推進	-0.11	0.67
	36	タイプⅢ	IT（情報通信技術）の活用	-0.10	0.64
	37	タイプⅢ	市税等の賦課・徴収の強化	-0.10	0.64
	38	タイプⅣ	広報・広聴の充実	0.10	0.60

※前ページのマトリクス図には各施策の番号を表示しています。

## ○満足度スコア・重要度スコア・前回との比較の上位・下位項目

各施策の満足度スコアと重要度スコアを比較すると、それぞれの上位は以下のようになります。

### 【現在の満足度】

上位5項目	スコア値
上水道の整備	0.50
ゴミの減量化とリサイクルの推進	0.33
住環境（景観）の保全	0.22
自然環境（緑地）の保護	0.17
環境問題への取り組み強化	0.12

下位5項目	スコア値
観光の振興	-0.41
医療体制の充実	-0.40
駅を中心とした拠点機能充実	-0.36
産業の振興	-0.31
財政運営の健全化	-0.23

### 【今後の重要度】

上位5項目	スコア値
医療体制の充実	1.39
防犯活動の強化	1.36
交通安全対策の強化	1.28
災害対策の充実	1.25
下水道の整備	1.13

下位5項目	スコア値
文化・国際交流への取り組みの推進	0.37
男女が共同参画できる地域づくり	0.47
地域コミュニティの充実・醸成	0.53
観光の振興	0.53
あらゆる人権を守る社会づくりの確立	0.57

また、それぞれのスコアの平成21年調査からの変化量及び平成25年調査からの変化量をみると、それぞれの上位は以下のようになります。

**【今後の満足度】**

平成21年調査との比較でのポイントが上がったもの	H21年	H25年	H27年	ポイント差 H27-H21
環境問題への取り組み強化 ※1	-0.08	0.06	0.12	0.20
ゴミの減量化とリサイクルの推進 ※2	0.17	0.28	0.33	0.16
下水道の整備	-0.09	0.06	0.05	0.14
学校教育の充実	-0.07	-0.04	0.01	0.08
高齢者福祉の充実	-0.11	-0.06	-0.03	0.08

平成25年調査との比較でのポイントが上がったもの	H21年	H25年	H27年	ポイント差 H27-H25
自然環境（緑地）の保護	—	0.03	0.17	0.14
財政運営の健全化	—	-0.36	-0.23	0.13
災害対策の充実 ※3	-0.09	-0.14	-0.02	0.12
住環境（景観）の保全	—	0.10	0.22	0.12
良好な新市街地の形成（公共バス・バリアフリー等）	—	-0.30	-0.20	0.10

平成21年調査との比較でポイントが下がったもの	H21年	H25年	H27年	ポイント差 H27-H21
医療体制の充実 ※4	-0.15	-0.31	-0.40	-0.25
観光の振興	-0.34	-0.40	-0.41	-0.07
産業の振興 ※5	-0.27	-0.19	-0.31	-0.04
上水道の整備	0.52	0.46	0.50	-0.02
あらゆる人権を守る社会づくりの確立 ※6	-0.06	-0.05	-0.07	-0.01

平成25年調査との比較でポイントが下がったもの	H21年	H25年	H27年	ポイント差 H27-H25
医療体制の充実	-0.15	-0.31	-0.40	-0.09
歴史文化財の保存と継承・展開	0.02	0.06	0.02	-0.04
子育てと仕事の調和（保育サービス・子育て支援）	—	-0.15	-0.17	-0.02
あらゆる人権を守る社会づくりの確立	-0.06	-0.05	-0.07	-0.02
男女が共同参画できる地域づくり	-0.07	-0.04	-0.06	-0.02

### 【今後の重要度】

平成21年調査との比較でのポイントが上がったもの	H21年	H25年	H27年	ポイント差 H27-H21
観光の振興	0.37	0.53	0.53	0.16
産業の振興 ※5	0.64	0.91	0.80	0.16
駅を中心とした拠点機能充実 ※7	0.90	1.00	1.02	0.12
あらゆる人権を守る社会づくりの確立 ※6	0.52	0.64	0.57	0.05
医療体制の充実 ※4	1.35	1.41	1.39	0.04

平成25年調査との比較でのポイントが上がったもの	H21年	H25年	H27年	ポイント差 H27-H25
道路整備の充実	—	1.04	1.11	0.06
交通安全対策の強化 ※8	1.27	1.23	1.28	0.05
防犯活動の強化 ※9	1.39	1.32	1.36	0.04
上水道の整備	1.09	0.98	1.01	0.03
子育てと仕事の調和（保育サービス・子育て支援）	—	1.02	1.05	0.03

平成21年調査との比較でポイントが下がったもの	H21年	H25年	H27年	ポイント差 H27-H21
ゴミの減量化とリサイクルの推進 ※2	1.40	1.16	1.08	-0.32
地域経営システムの確立（窓口サービスの充実） ※10	1.01	0.72	0.72	-0.29
環境問題への取り組み強化 ※1	1.34	1.15	1.05	-0.29
高齢者福祉の充実	1.31	1.04	1.03	-0.28
障害者福祉の充実	1.16	0.94	0.96	-0.20

平成25年調査との比較でポイントが下がったもの	H21年	H25年	H27年	ポイント差 H27-H25
産業の振興 ※5	0.64	0.91	0.80	-0.11
環境問題への取り組み強化 ※1	1.34	1.15	1.05	-0.10
災害対策の充実 ※3	1.37	1.35	1.25	-0.10
ゴミの減量化とリサイクルの推進 ※2	1.40	1.16	1.08	-0.08
組織活性化の推進	—	0.75	0.67	-0.08

※1 平成21年調査項目名は「地球に優しい環境への配慮（地球環境への配慮）」

※2 平成21年調査項目名は「ごみ処理やリサイクル問題への対応」

※3 平成21年調査項目名は「防災体制の充実」

※4 平成21年調査項目名は「日常の医療体制の充実」

※5 平成21年調査項目名は「商工業の振興」

※6 平成21年調査項目名は「あらゆる人権を守る社会づくりと意識啓発」

※7 平成21年調査項目名は「駅前再開発や駅を中心とした拠点機能の充実」

※8 平成21年調査項目名は「交通安全対策の充実」

※9 平成21年調査項目名は「防犯体制の充実」

※10 平成21年調査項目名は「市役所の窓口サービスの充実」

## ○政策別にみた分析と過去の調査との比較

### ①自然・環境

満足度が高く、重要度も高いタイプⅡに分類される施策が多くなっています。

過去の調査と比較すると、満足度が上昇している項目が多く、それに伴って重要度が下がってきており、施策の充実とともに市民の問題意識も下がってきていることがうかがえます。

	施策名	満足度スコア				重要度スコア			
		H17	H21	H25	H27	H17	H21	H25	H27
1	ゴミの減量化とリサイクルの推進 <sup>※1</sup>	0.04	0.17	0.28	0.33	1.37	1.40	1.16	1.08
2	環境問題への取り組み強化 <sup>※2</sup>	-0.09	-0.08	0.06	0.12	1.30	1.34	1.15	1.05
3	自然環境（緑地）の保護	—	—	0.03	0.17	—	—	1.14	1.08
4	住環境（景観）の保全	—	—	0.10	0.22	—	—	0.93	0.88
5	上水道の整備	0.56	0.52	0.46	0.50	0.97	1.09	0.98	1.01
6	下水道の整備	-0.16	-0.09	0.06	0.05	1.19	1.24	1.15	1.13
参考	自然の保護・再生	-0.06	-0.01	—	—	1.27	1.15	—	—
参考	公園緑地の整備	-0.09	-0.07	—	—	1.19	1.00	—	—

※1 平成17年・21年調査項目名は「ごみ処理やリサイクル問題への対応」

※2 平成17年・21年調査項目名は「地球に優しい環境への配慮（地球環境への配慮）」

### ②安全・安心

いずれの施策も満足度が低く、重要度が高いタイプⅠに分類されます。市民のニーズが非常に高い分野と言えます。ただ、いずれの施策についても、満足度は徐々に上昇しており、重要度は横ばいもしくは微減となっています。以前ニーズは高いものの、市の取り組みが徐々に評価されていることがうかがえます。

	施策名	満足度スコア				重要度スコア			
		H17	H21	H25	H27	H17	H21	H25	H27
7	災害対策の充実 <sup>※3</sup>	-0.21	-0.09	-0.14	-0.02	1.38	1.37	1.35	1.25
8	防犯活動の強化 <sup>※4</sup>	-0.46	-0.16	-0.12	-0.09	1.50	1.39	1.32	1.36
9	交通安全対策の強化 <sup>※5</sup>	-0.42	-0.17	-0.13	-0.11	1.39	1.27	1.23	1.28

※3 平成17年・21年調査項目名は「防災体制の充実」

※4 平成17年・21年調査項目名は「防犯体制の充実」

※5 平成17年・21年調査項目名は「交通安全対策の充実」

### ③都市基盤

満足度が低く、重要度の高いタイプⅡに分類される施策が多くなっています。

過去の調査と比較すると、満足度・重要度共にほぼ横ばいとなっており、引き続き市民ニーズが高く、施策の充実が求められる政策分野となっています。

	施策名	満足度スコア				重要度スコア			
		H17	H21	H25	H27	H17	H21	H25	H27
10	良好な新市街地の形成 (公共バス・バリアフリー等)	—	—	-0.30	-0.20	—	—	1.07	1.05
11	駅を中心とした拠点機能充実 <sup>※6</sup>	-0.47	-0.43	-0.37	-0.36	1.06	0.90	1.00	1.02
12	道路整備の充実	—	—	-0.23	-0.22	—	—	1.04	1.11
参考	公共交通の整備・充実(鉄道)	0.16	0.06	—	—	1.03	0.96	—	—
参考	公共交通の整備・充実(バス)	-0.37	-0.37	—	—	1.00	0.93	—	—
参考	駅前再開発や駅を中心とした拠点 機能の充実	-0.47	-0.43	—	—	1.06	0.90	—	—
参考	主要幹線道路の整備	-0.44	-0.24	—	—	1.15	0.97	—	—
参考	バリアフリーのまちづくりの推進	-0.60	-0.41	—	—	1.26	1.10	—	—

※6 平成17年・21年調査項目名は「駅前再開発や駅を中心とした拠点機能の充実」

### ④健康・福祉

特に「医療体制の充実」については、満足度が下から2番目で、重要度が最も高い分野となっており、市民の評価としては、ほぼ最重要課題に位置づけられる施策となっています。「高齢者福祉の充実」、「障害者福祉の充実」については、満足度はほぼ横ばいですが、重要度はやや下がってきています。

	施策名	満足度スコア				重要度スコア			
		H17	H21	H25	H27	H17	H21	H25	H27
13	地域福祉の推進(ボランティア推 進・生きがいづくり等)	—	—	0.00	0.03	—	—	0.74	0.71
14	医療体制の充実 <sup>※7</sup>	-0.04	-0.15	-0.31	-0.40	1.26	1.35	1.41	1.39
15	市民の健康づくりの推進	—	—	0.00	0.03	—	—	0.79	0.77
16	高齢者福祉の充実	0.10	-0.11	-0.06	-0.03	1.35	1.31	1.04	1.03
17	障害者福祉の充実	-0.02	-0.10	-0.07	-0.04	1.25	1.16	0.94	0.96
18	社会保障制度の安定的運用の推進	—	—	-0.13	-0.12	—	—	1.04	1.00
参考	検診や健康相談等の保健サー ビスの充実	0.13	0.04	—	—	1.21	1.10	—	—
参考	夜間・休日・事故などの救急医療 体制の充実	-0.39	-0.43	—	—	1.51	1.54	—	—

※7 平成17年・21年調査項目名は「日常の医療体制の充実」

### ⑤子育て・教育

「学校教育の充実」については、満足度がやや上がってきており、それに伴って重要度がやや下がってきています。「就学前教育の充実」、「子ども・若者のフォローアップ」や、前回調査までの施策評価を見ても、全体的に子育て・教育に関する施策については、重要度スコアが微減傾向となっています。市民の年齢構成の高齢化が影響している可能性もあります。

	施策名	満足度スコア				重要度スコア			
		H17	H21	H25	H27	H17	H21	H25	H27
19	家庭・地域の教育力の向上	—	—	-0.02	0.02	—	—	0.93	0.90
20	就学前教育の充実※8	-0.05	-0.05	-0.04	-0.06	1.16	0.91	0.81	0.83
21	学校教育の充実	-0.12	-0.07	-0.04	0.01	1.31	1.19	1.11	1.03
22	子ども・若者のフォローアップ (青少年の健全育成)	-0.18	-0.09	-0.12	-0.08	1.23	0.94	0.94	0.90
23	「だれでも・どこでも・いつでも」 学び、楽しめる環境の充実(生涯 学習・スポーツ)	—	—	-0.13	-0.07	—	—	0.83	0.77
24	子育てと仕事の調和 (保育サービス・子育て支援)	—	—	-0.15	-0.17	—	—	1.02	1.05
参考	保育所サービスの充実	0.02	-0.06	—	—	1.08	1.07	—	—
参考	学童保育サービスの充実	-0.06	-0.08	—	—	1.07	1.03	—	—
参考	子どもを巡る安全な生活環境の整備	-0.28	-0.08	—	—	1.44	1.31	—	—
参考	ひとり親家庭の子育て支援	-0.16	-0.09	—	—	1.05	0.90	—	—

※8 平成17年・21年調査項目名は「幼児教育の充実」

### ⑥産業・文化・連携

満足度・重要度が共に低いタイプⅢに分類される施策が多くなっています。満足度・重要度ともに過去の調査との比較では概ね横ばいのものが多くなっていますが、「産業の振興」、「観光の振興」については、満足度スコアが特に低くなっており、重要度スコアはやや上昇しています。

	施策名	満足度スコア				重要度スコア			
		H17	H21	H25	H27	H17	H21	H25	H27
25	産業の振興※9	-0.30	-0.27	-0.38	-0.31	0.72	0.64	0.91	0.80
26	農業の振興	-0.23	-0.20	-0.19	-0.18	0.55	0.62	0.66	0.63
27	観光の振興	-0.53	-0.34	-0.40	-0.41	0.44	0.37	0.53	0.53
28	あらゆる人権を守る社会づくりの確立※10	-0.01	-0.06	-0.05	-0.07	0.76	0.52	0.64	0.57
29	男女が共同参画できる地域づくり※11	-0.04	-0.07	-0.04	-0.06	0.80	0.52	0.50	0.47
30	地域コミュニティの充実・醸成	—	—	-0.07	-0.04	—	—	0.58	0.53
31	文化・国際交流への取り組みの推進	—	—	-0.16	-0.14	—	—	0.43	0.37
32	歴史文化財の保存と継承・展開	0.22	0.02	0.06	0.02	0.70	0.57	0.63	0.58
参考	地域の特性を活かした個性豊かな地 域づくり(新しい地域文化の創造)	-0.05	-0.16	—	—	0.60	0.57	—	—

※9 平成17年・21年調査項目名は「商工業の振興」

※10 平成17年・21年調査項目名は「あらゆる人権を守る社会づくりと意識啓発」

※11 平成17年・21年調査項目名は「男女がともに認め合い社会に共同参画できる地域づくり」

### ⑦行政経営

満足度・重要度ともに低いタイプⅢに位置づけられる施策が多くなっていますが、「財政運営の健全化」については満足度が低い一方で重要度が高くなっており、市民の関心が強い施策であることがうかがえます。「地域経営システムの確立」については、満足度がやや上昇している一方で、重要度は減少しています。

	施策名	満足度スコア				重要度スコア			
		H17	H21	H25	H27	H17	H21	H25	H27
33	地域経営システムの確立 <sup>※12</sup> (窓口サービスの充実)	-0.14	-0.05	-0.06	-0.02	1.20	1.01	0.72	0.72
34	財政運営の健全化	—	—	-0.36	-0.23	—	—	1.15	1.11
35	組織活性化の推進	—	—	-0.18	-0.11	—	—	0.75	0.67
36	IT（情報通信技術）の活用	—	—	-0.18	-0.10	—	—	0.70	0.64
37	市税等の賦課・徴収の強化	—	—	-0.14	-0.10	—	—	0.69	0.64
38	広報・広聴の充実	—	—	0.06	0.10	—	—	0.59	0.60
参考	情報通信基盤の整備	-0.21	-0.11	—	—	1.02	0.67	—	—
参考	行政の透明性の向上	-0.41	-0.30	—	—	1.23	1.09	—	—

※12 平成17年・21年調査項目名は「市役所の窓口サービスの充実」

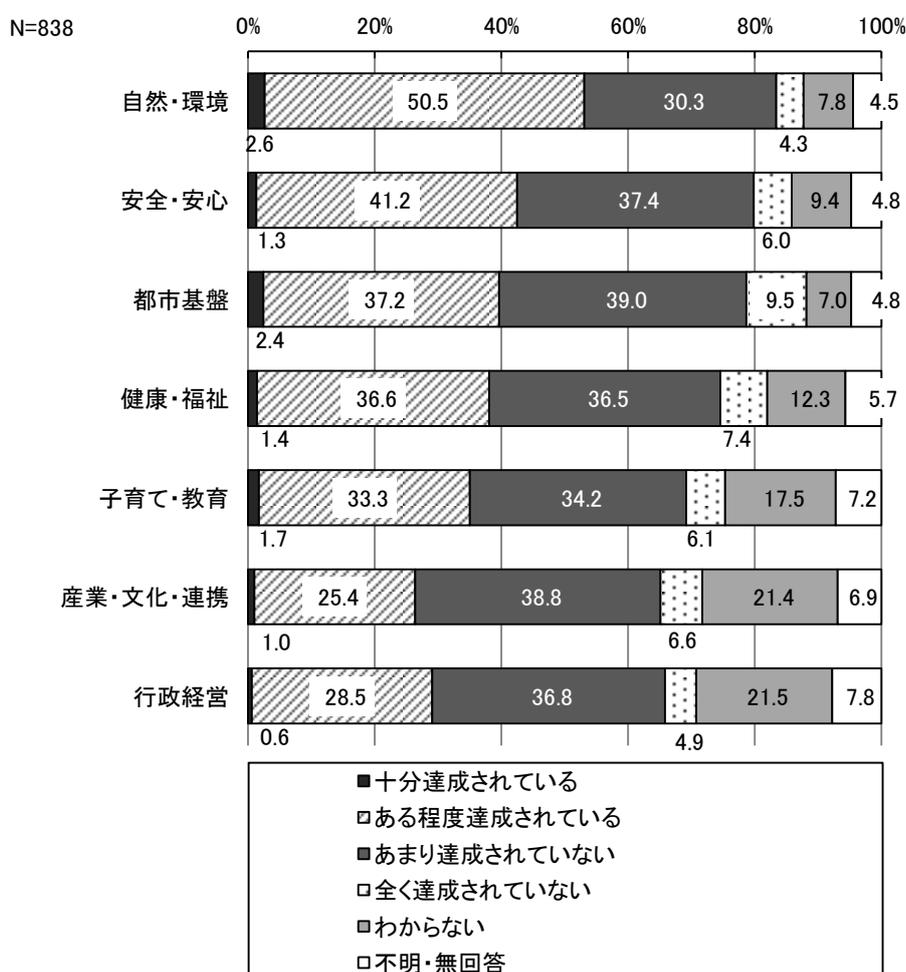
## (2) 各政策に対する回答者の評価〈単数回答〉

[問 17 問 16 でお聞きした施策をまとめた政策について、どの程度達成されていると感じますか。それぞれの政策ごとに、5～1の中からあなたの評価にもっとも近いもの1つに○をつけてください。]

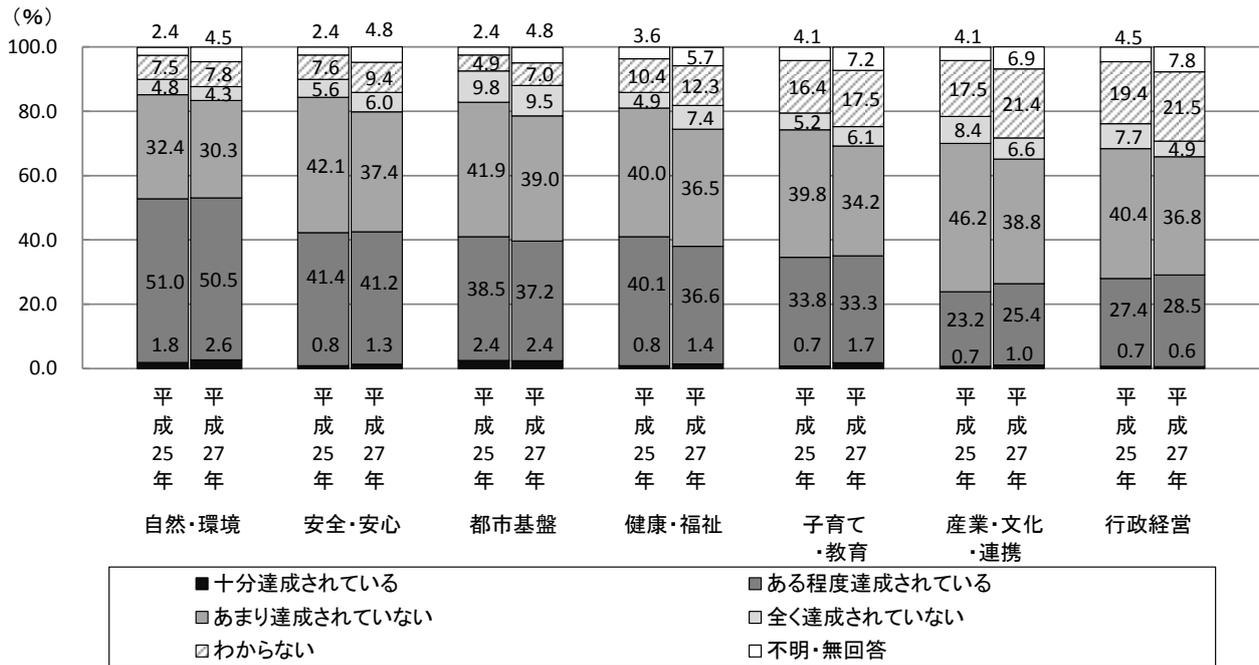
各政策に対する回答者の評価についてみると、《自然・環境》において『達成されている』（「十分達成されている」と「ある程度達成されている」の計）の割合が他の施策に比べて高く、53.1%となっています。

一方、《都市基盤》と《産業・文化・連携》において『達成されていない』（「全く達成されていない」と「あまり達成されていない」の計）の割合が高く、それぞれ48.5%、45.4%となっています。

平成 25 年調査と比較すると、大きな変化はありませんが、《産業・文化・連携》において『達成されている』がやや増加し、『達成されていない』が減少しています。



### 過去の調査と比較した各政策に対する評価

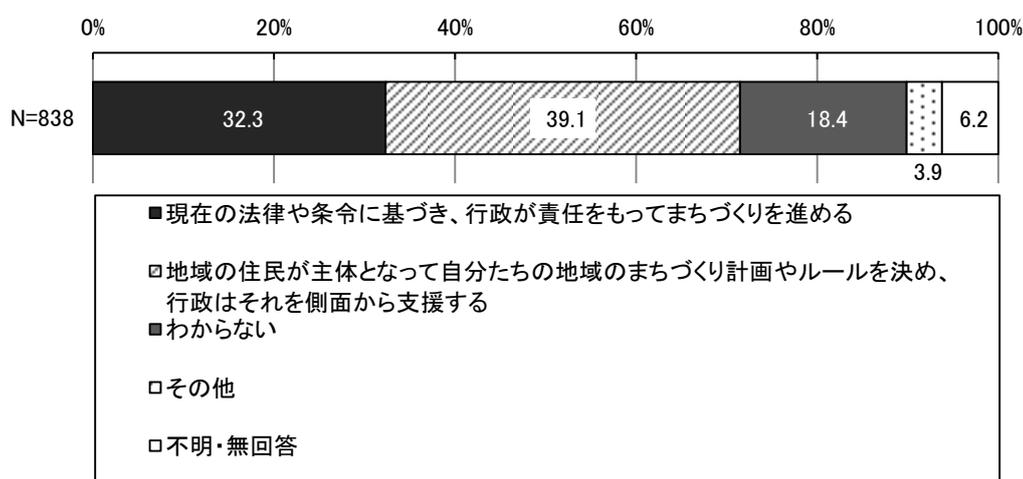


### (3) 居住する地区の今後のまちづくりの進め方に対する考え〈単数回答〉

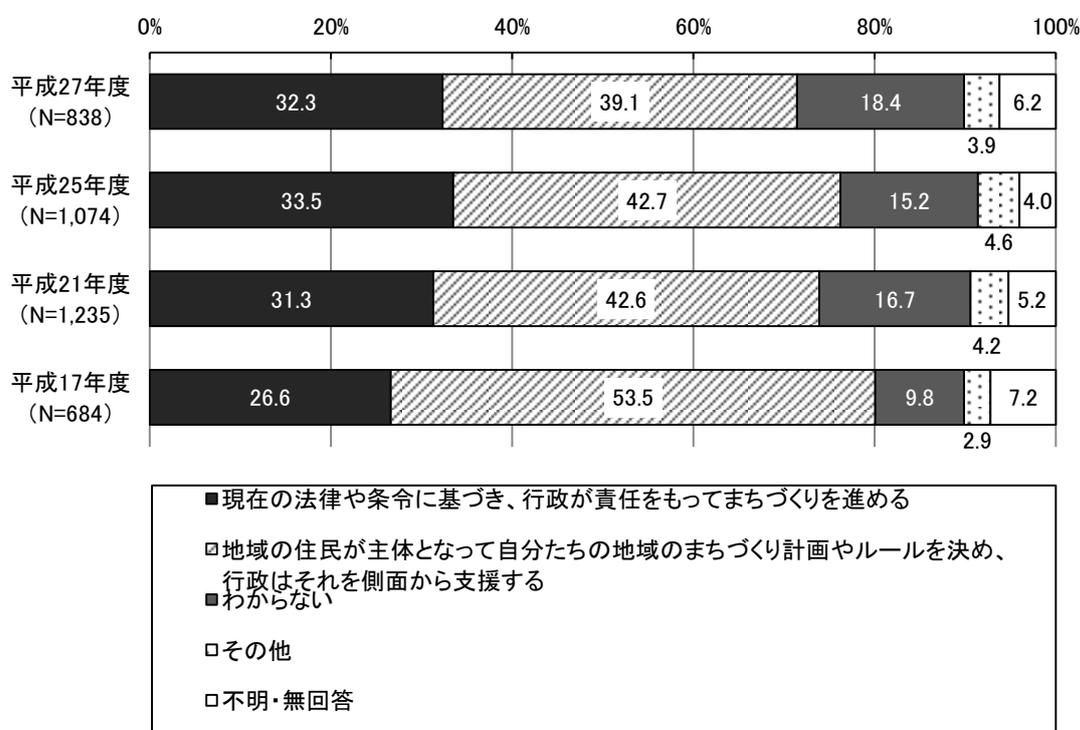
〔問 19 今後、お住まいの地区のまちづくりを進める方法として、どういったやり方が良いと思いますか。(1つに〇)〕

居住する地区の今後のまちづくりの進め方に対する考えについてみると、「地域の住民が主体となって自分たちの地域のまちづくり計画やルールを決め、行政はそれを側面から支援する」が 39.1%で最も高く、次いで「現在の法律や条令に基づき、行政が責任をもってまちづくりを進める」が 32.3%となっています。

過去の調査との比較では、平成 21 年度以降については大きな変化は見られません。



#### 過去の調査と比較したまちづくりの進め方に対する考え



■その他回答一覧（件数）

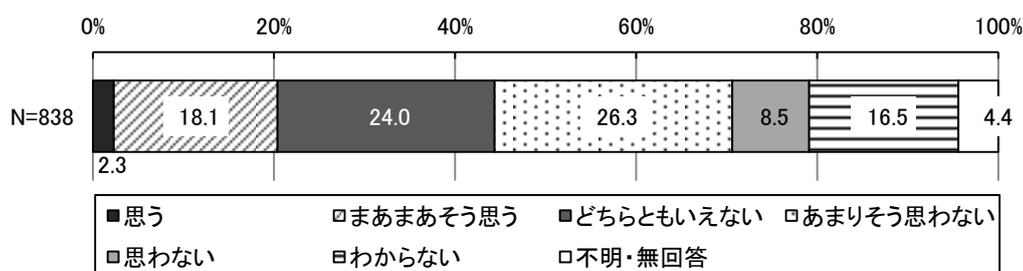
住民と行政が協力して進める	4
市民の声を聞く事も重要。それをもとに進めていく。	2
1.（行政主体）を基に、地域の人からの意見を取り入れて進めて欲しい	2
1.（行政主体）と2.（住民主体）と両方で一緒に作る。共同で進めていくのが良いと思います。	2
行政がある程度道筋を付け、それを地域住民にゆだねる形が良いと思う。	1
大字ごとに長期の計画をたて、行政に支援してもらう	1
地域の発展に地域の住民の協力を促すように…	1
他の地区都道府県のモデルをまねる。（良い所を取り入れる）	1
2.（住民主体）：大賛成です。住民参加でなく、住民主体とは面白いです。	1
3.（わからない）：支援とは政策で？予算も？	1
公民連携により外部からの資本を活用する	1
行政と住民が共に手を取り合って町づくりが出来たらよいが地域のリーダーがいない、引き受け手がないので自治会ごとにアンケートが必要	1
本来は、2.（住民主体）の方法で進めるのが良いと思うが、権利意識の強い住民がおおくなっているので、新たな条例に基づき進めるべきである。	1
2.（住民主体）とほぼ同じですが、市議が中心になって意見をくみ上げて行政に強く生かしてほしい	1
2.（住民主体）は理想的だと思います。村の役員をしながらも独断と偏見の意見を持っている人がいる。しかし、自治会長が賢い人で救われたことがあります。	1
大企業誘致、市内に活気がない	1
災害を少なくするようなまちづくり	1
どの様な具体策で各場所を結ぶのか。王寺町のゴミ収集が未だに我物顔で走っている。	1
下水道を早くやってほしい	1
手続きが多すぎて、もっと何事も簡単にできればと思う。実際、手続きに行かなければならない場所は車がないと不便です。	1
高齢者に対する連絡	1
高齢者が多い地区のため、住民にまちづくりを主体させるのは無理	1
行政にしてもらってあたりまえの地域なので	1
2択ではないように思うが？	1
地方議会はしっかり動いているの？	1
まちづくりとはなんですか？変えようと思って変えられるものですか？	1
行政はもちろんだが、まちづくりが下手すぎる。近鉄には上から接するべきである。	1

#### (4) 市民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいるか〈単数回答〉

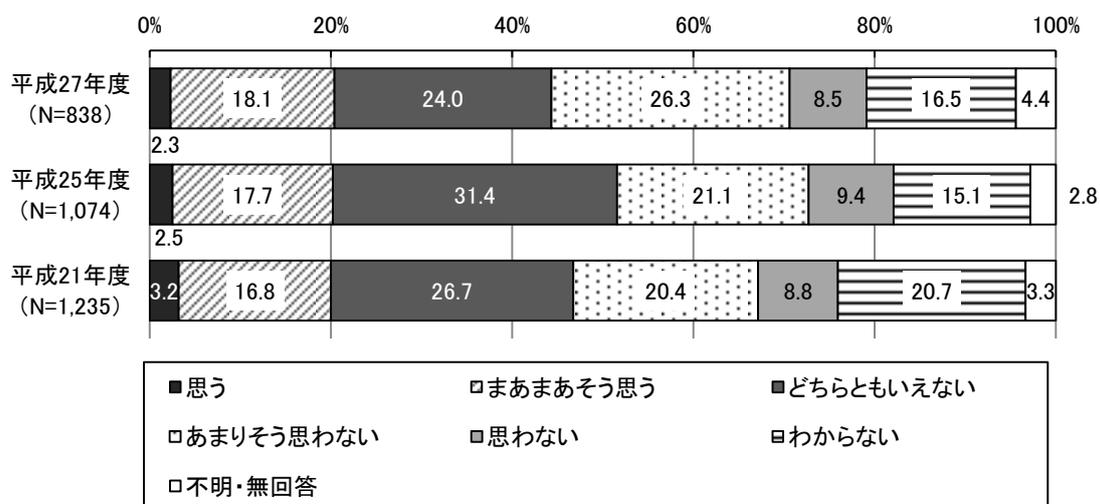
〔問 20 現在の香芝市は、市民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいると思いますか。(1つに○)〕

市民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいるかについてみると、「あまりそう思わない」が26.3%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が24.0%、「まあまあそう思う」が18.1%となっています。

過去の調査と比較すると、平成21年度調査とはほぼ同様の回答ですが、平成25年度調査より「どちらともいえない」が減少し、「余りそう思わない」が増加しています。



#### 過去の調査と比較した協働のまちづくりについての評価



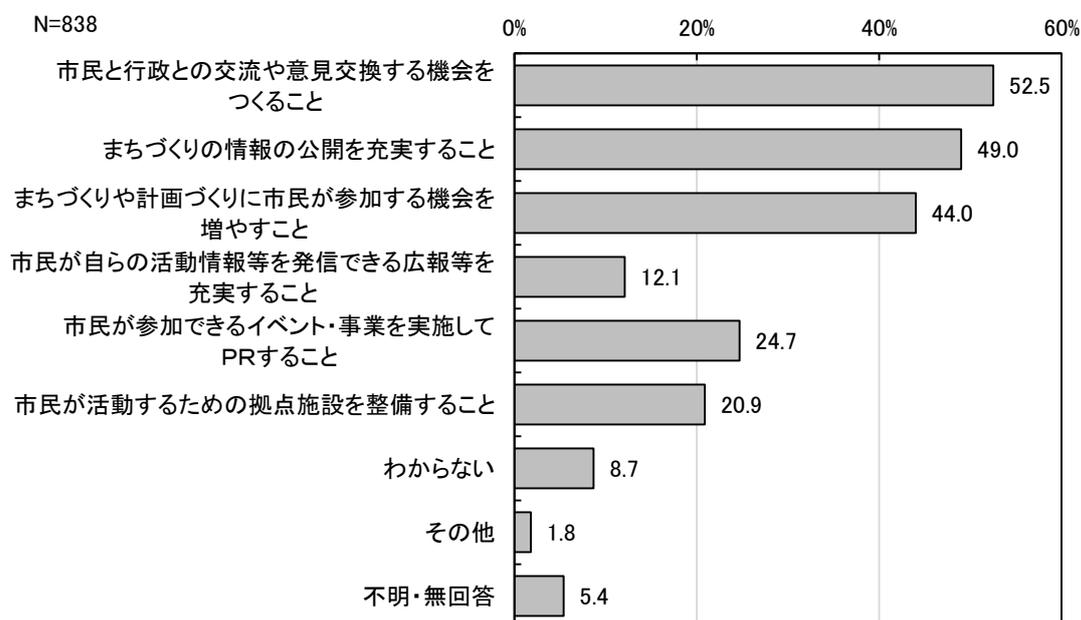
## (5) 市民と行政が協働してまちづくりを行ううえで必要だと思うこと〈複数回答〉

〔問 21 市民と行政が協働してまちづくりを行ううえで、あなたが必要だと思うのはどのようなことですか。〕

(あてはまるものに3つまでに○)

市民と行政が協働してまちづくりを行ううえで必要だと思うことについてみると、「市民と行政との交流や意見交換する機会をつくること」が52.5%で最も高く、次いで「まちづくりの情報の公開を充実すること」が49.0%、「まちづくりや計画づくりに市民が参加する機会を増やすこと」が44.0%となっています。

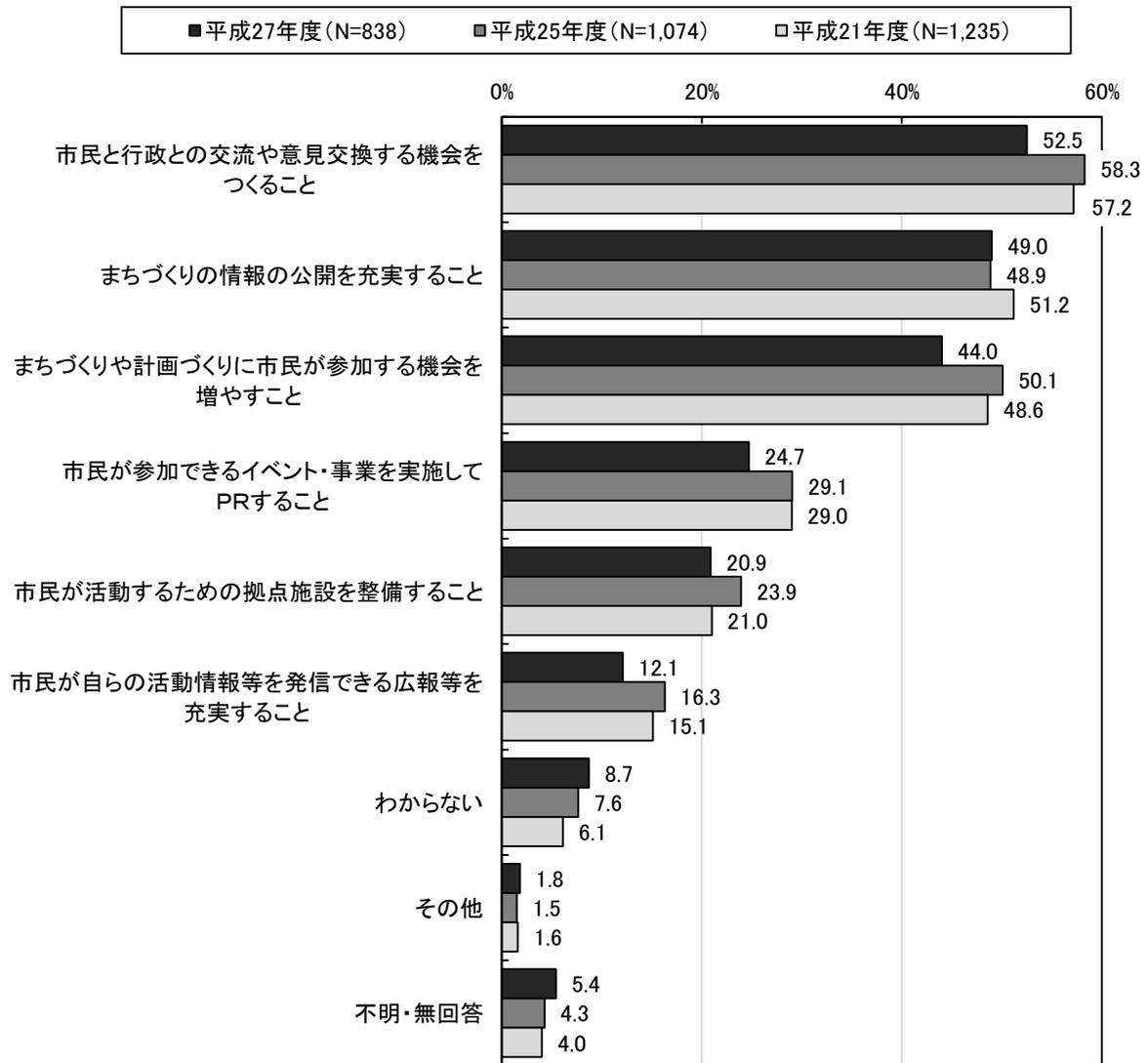
過去の調査においてもほぼ同様の回答状況となっていますが、今回の調査では全体的に回答率が低下しています。



### ■その他回答一覧 (件数)

行政は自治会を優先に。市は極力、手を出さず、地域に一度任せてみては？	2
6. (市民の活動拠点施設の整備): まちづくりは人づくりから始まる。その人づくりは場所づくりから始まる	1
まちづくりの専門職を増員すること	1
財源を確保できる人材を行政に求めます	1
市民が行政に直接意見を言える窓口をつくるべき	1
行政に協力していますが、建前の行政の考え方では、本当の協働してまちづくり難しい。本音の話し合い場所必要！	1
一般的な市民の話聞くこと。利権に絡む人を入れない	1
行政側の意識の向上、保守的な考え方では町は繁栄しない	1
やる気があってかどうか。聞くだけなら時間の浪費	1
協働する前に、市が主体となって動いてくれる方がいいです	1
ゴテ得人間の排除	1
流入してくる人々がすぐコミュニティに参加できる取組み	1
美原さつきの様な監視カメラ等の防犯対策	1
市民と行政は、どこまで行っても意見は合わないと思う	1

過去の調査と比較したまちづくりを行ううえで必要だと思うこと



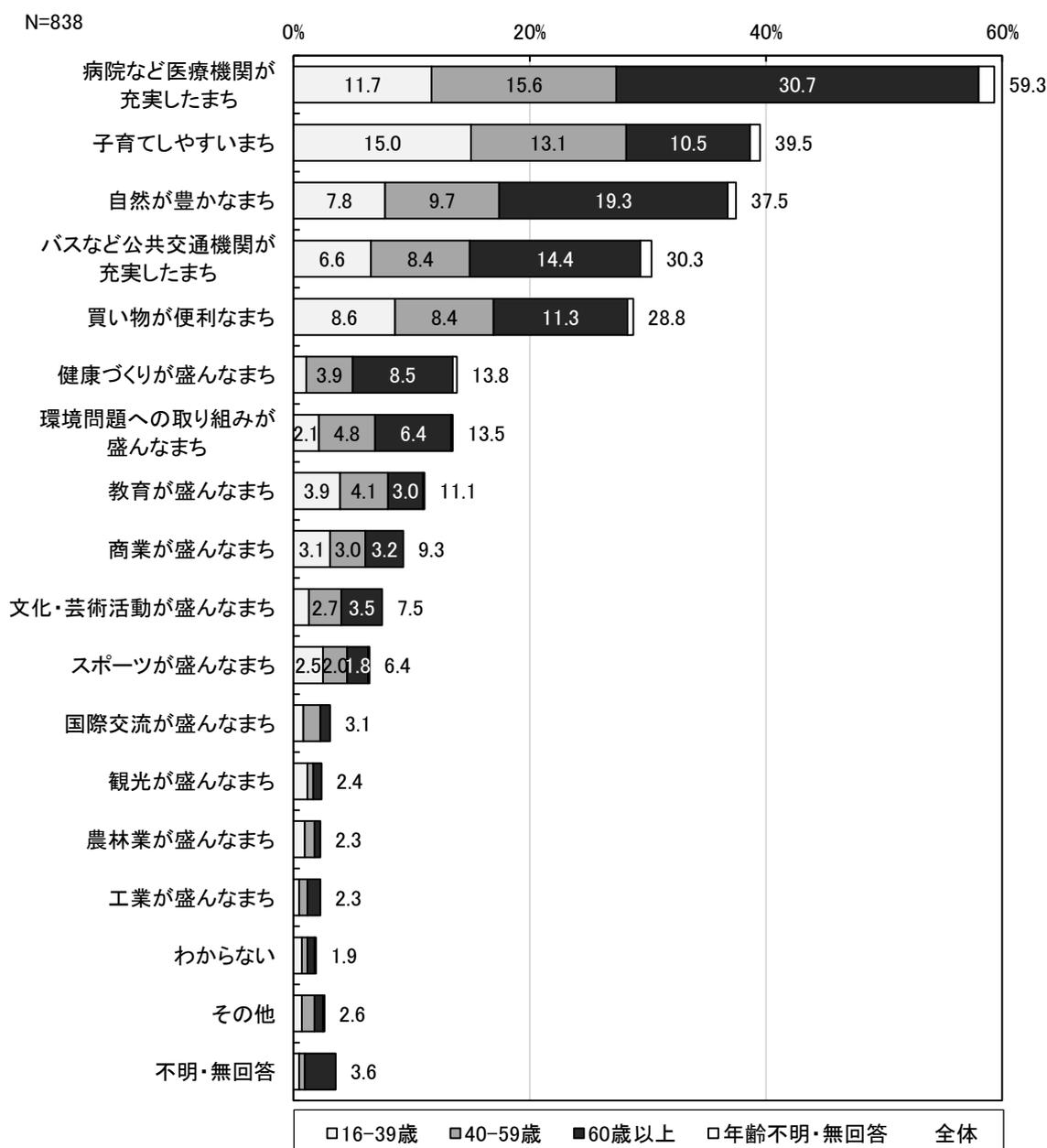
## (6) 今後どのようなまちになってほしいか〈複数回答〉

〔問 22 今後、香芝市には、どのようなまちになってほしいですか。(あてはまるものに3つまでに○)〕

香芝市には今後どのようなまちになってほしいかについてみると、「病院など医療機関が充実したまち」が 59.3%で最も高く、次いで「子育てしやすいまち」が 39.5%、「自然が豊かなまち」が 37.5%となっています。

年齢別にみると、「病院など医療機関が充実したまち」、「自然が豊かなまち」、「健康づくりが盛んなまち」については、上の世代の方が多く回答しており、「子育てしやすいまち」、「教育が盛んなまち」については、若い世代の方が多く回答しています。

過去の調査と比較すると、「自然が豊かなまち」、「環境問題への取り組みが盛んなまち」が大きく減少しています。

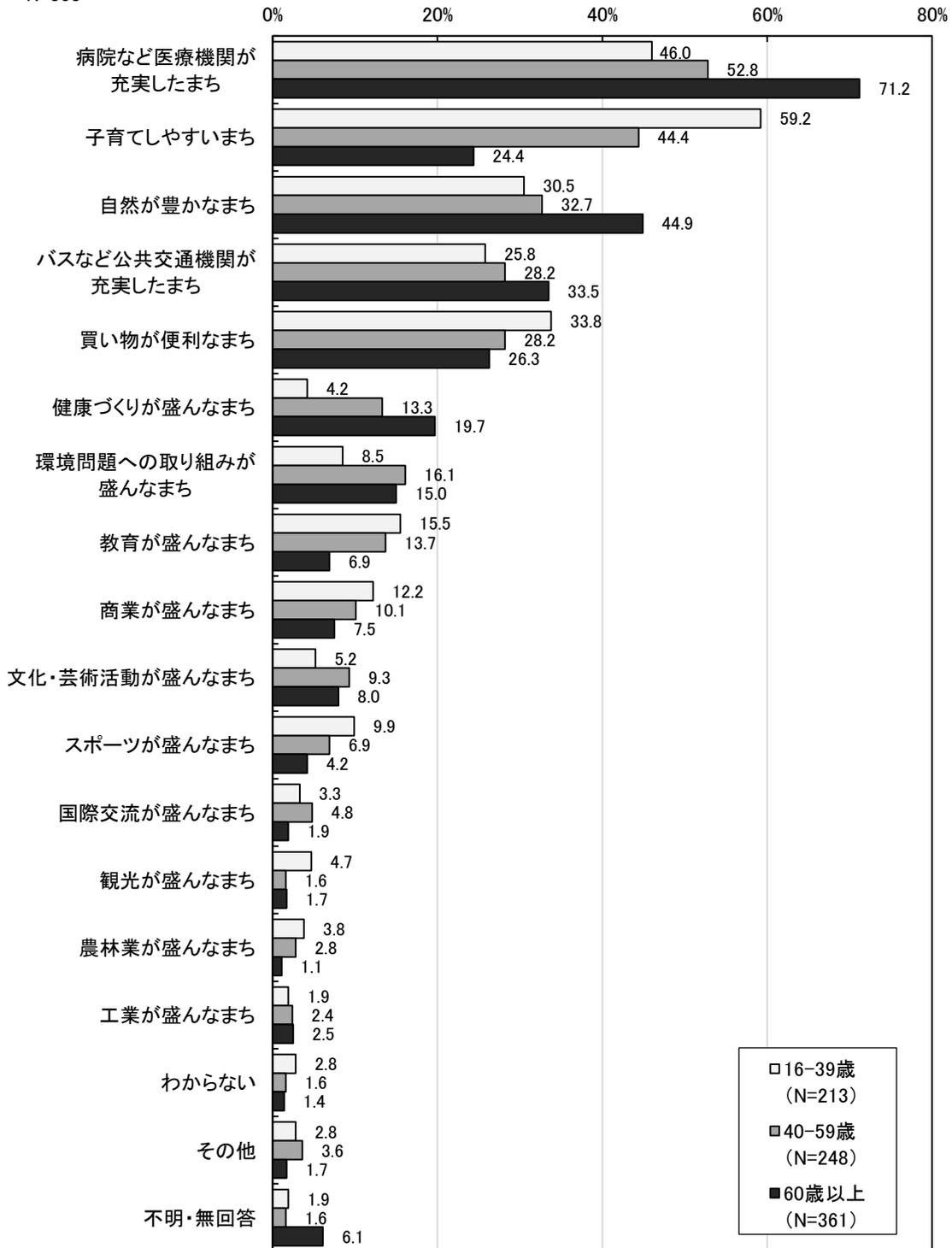


■その他回答一覧（件数）

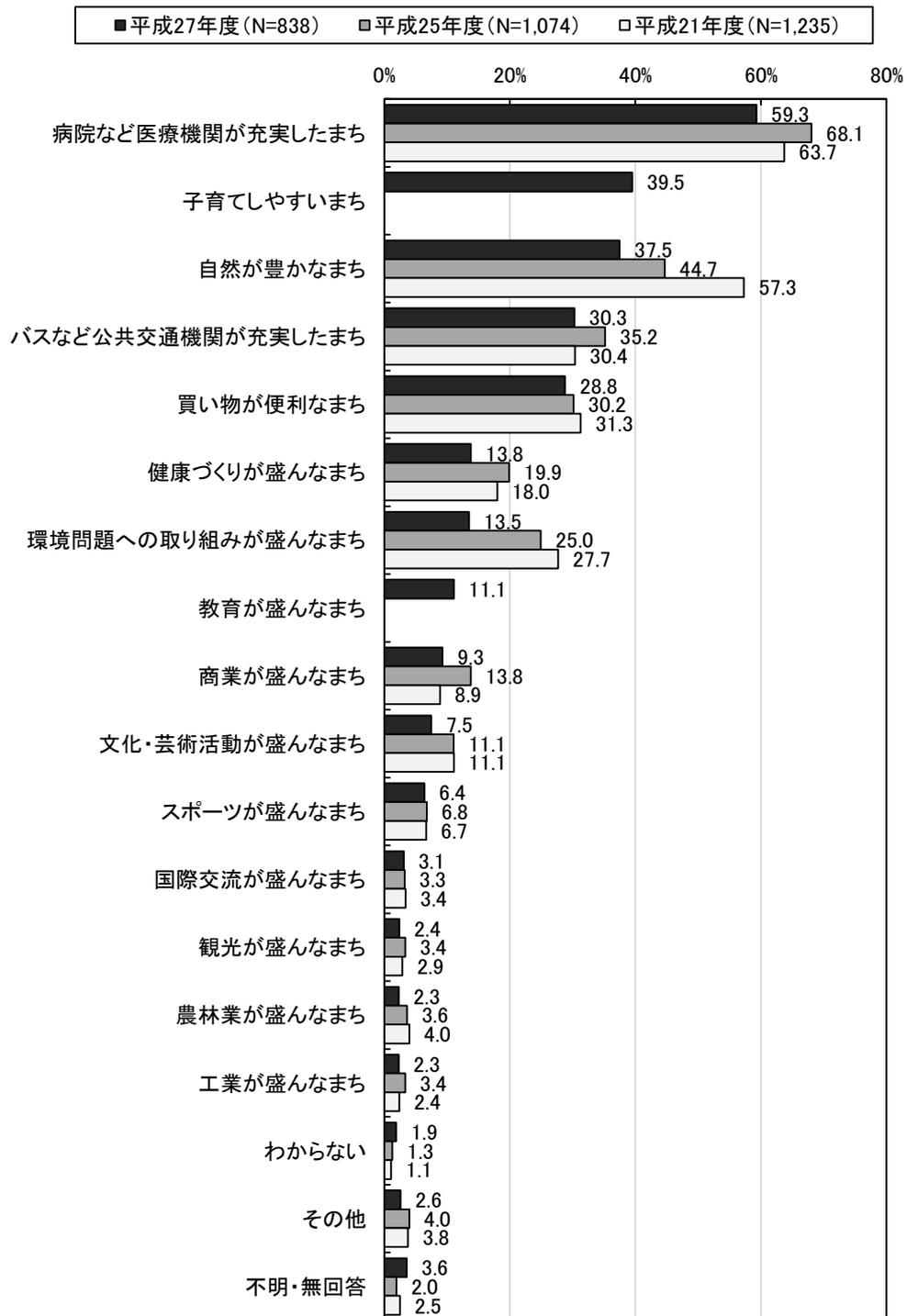
安全なまち	5
JRと地下鉄の線(えき)離れすぎ！！駅同一にして！！	1
ショッピングセンターではない。市場などがあればよい。	1
税金をムダ遣いしないまち	1
行政が住民の事を背負う街。給料とりでは市の衰退。しかし、予算大の公園不要	1
人口増加必要なし	1
市民の意見が反映されること	1
デマンドでもいいですよ	1
障害者福祉に力を入れる街	1
市民負担の少ない街	1
子どもから年寄りまで住みやすい町	1
健康で人の交流が豊かな街	1
権利義務責任を明確に。フェアでありマナーの推進	1
静かな現状を維持	1
電車の公共交通機関が充実したまち	1
道路整備	1
安全、保全環境が整う市	1
地域福祉が充実したまち	1

## 年齢別にみた今後どのようなまちになってほしいか

N=838



## 過去の調査と比較した今後どのようなまちになってほしいか



※平成21年度・平成25年度調査では、「子育てしやすいまち」「教育が盛んなまち」は項目にありませんでした。

## (7) 「①市民ができること」「②特に行政がやるべきこと」〈複数回答〉

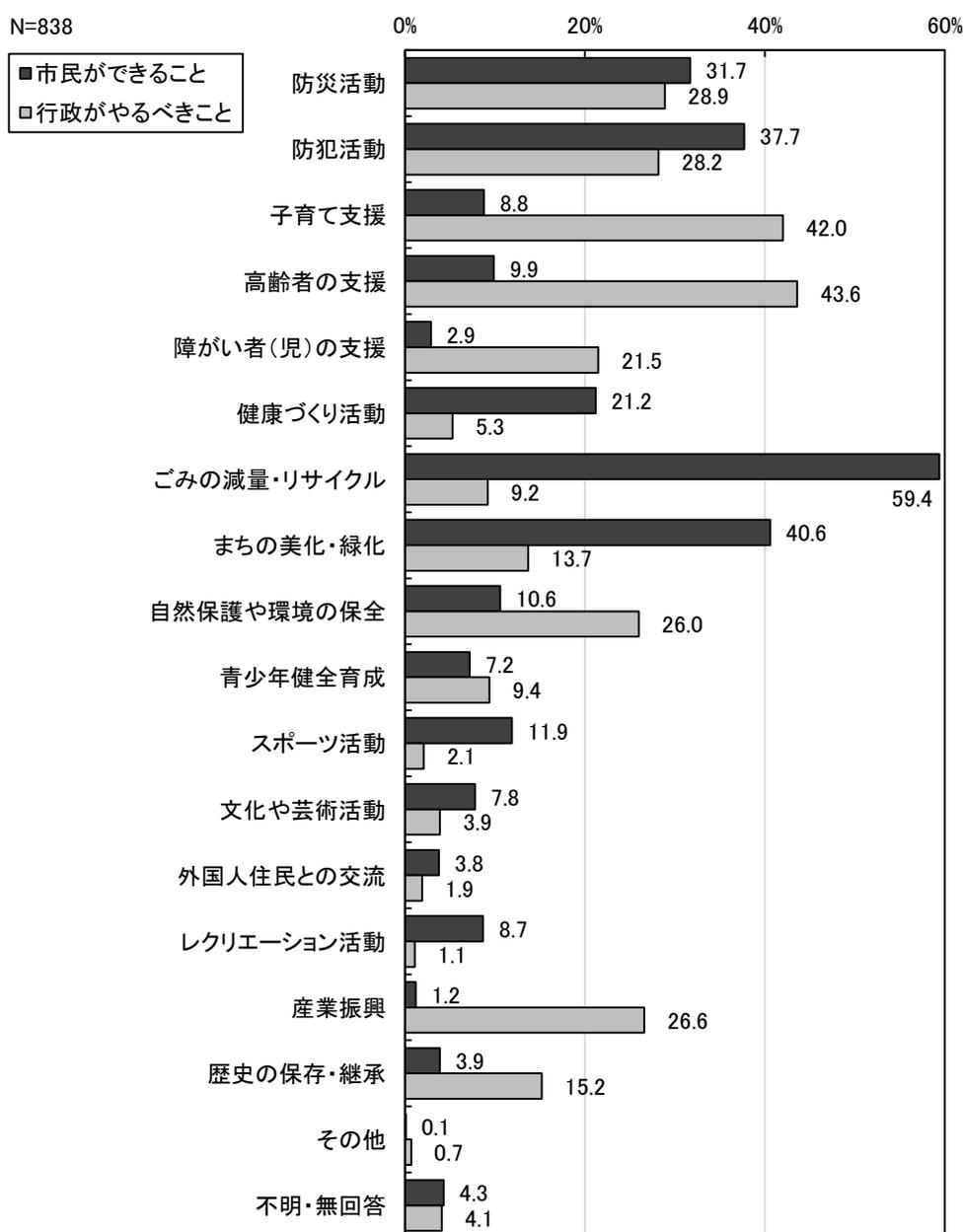
〔問 23 下記の中で、①市民ができること、やるべきこと、一方、②特に行政がやるべきことは何だと思いませんか。

(あてはまるものに3つまで)〕

市民ができることについてみると、「ごみの減量・リサイクル」が59.4%で最も高く、次いで「まちの美化・緑化」が40.6%、「防犯活動」が37.7%、「防災活動」が31.7%となっています。

特に行政がやるべきことについてみると、「高齢者の支援」が43.6%で最も高く、次いで「子育て支援」が42.0%となっています。「防災活動」「防犯活動」「産業振興」「自然保護や環境の保全」「障がい者（児）の支援」にもそれぞれ全体の2割を超える回答がありました。

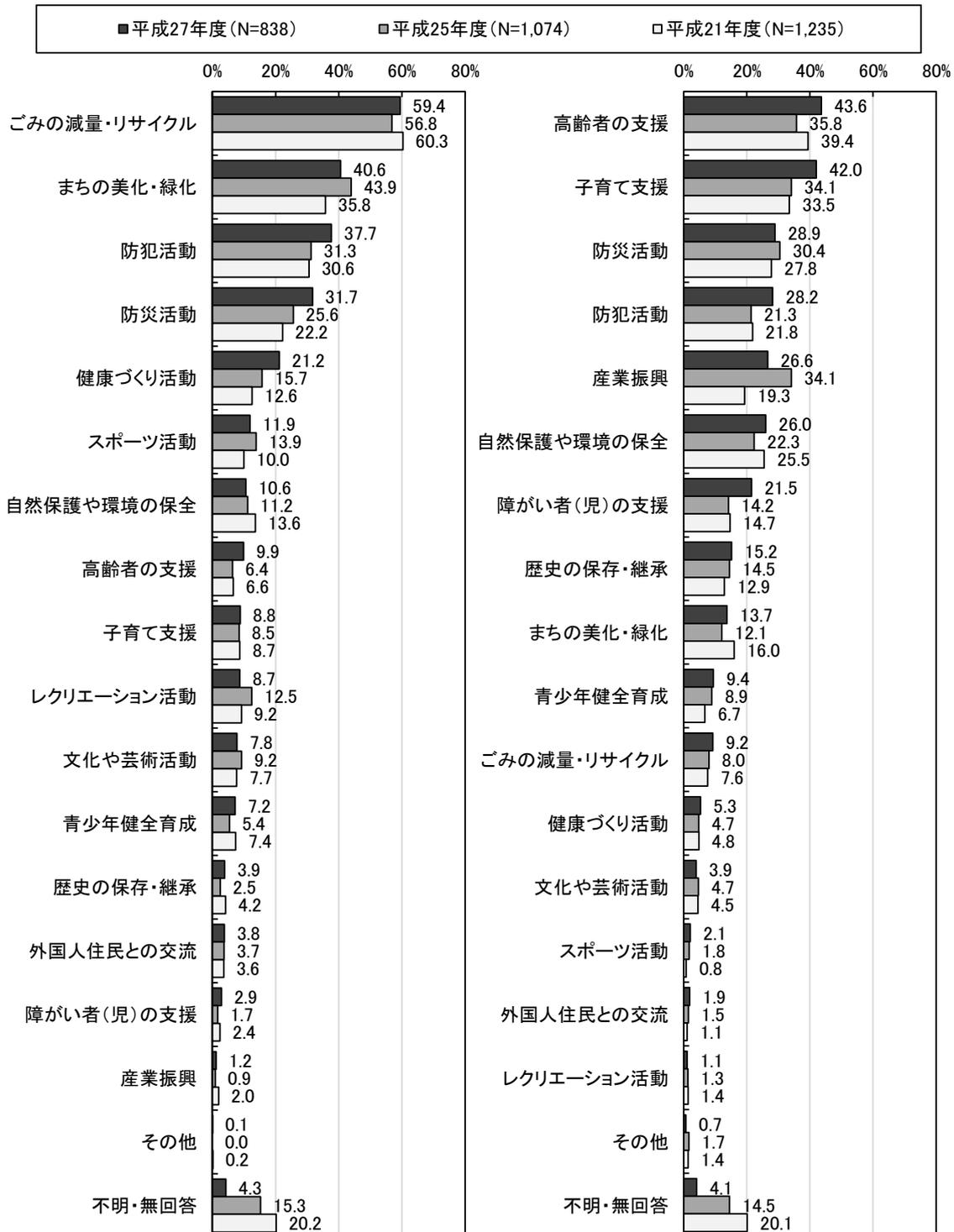
過去の調査との比較では大きな違いはありませんが、市民ができることとして「防犯活動」、「防災活動」、「健康づくり活動」が増加し、行政がやるべきこととして「子育て支援」、「防犯活動」、「産業振興」、「障がい者（児）の支援」が増加しています。



■その他回答一覧（件数）

<b>①市民ができること、やるべきこと</b>	
ペットの責任を持った飼育	1
<b>②特に行政がやるべきこと</b>	
市民の意見を反映させる	1
行政がやるべきこと:お金を大切に執行する事	1
行政がやるべきこと:市営もしくは市出資の医療施設設置	1

過去の調査と比較した市民ができること・行政がやるべきこと



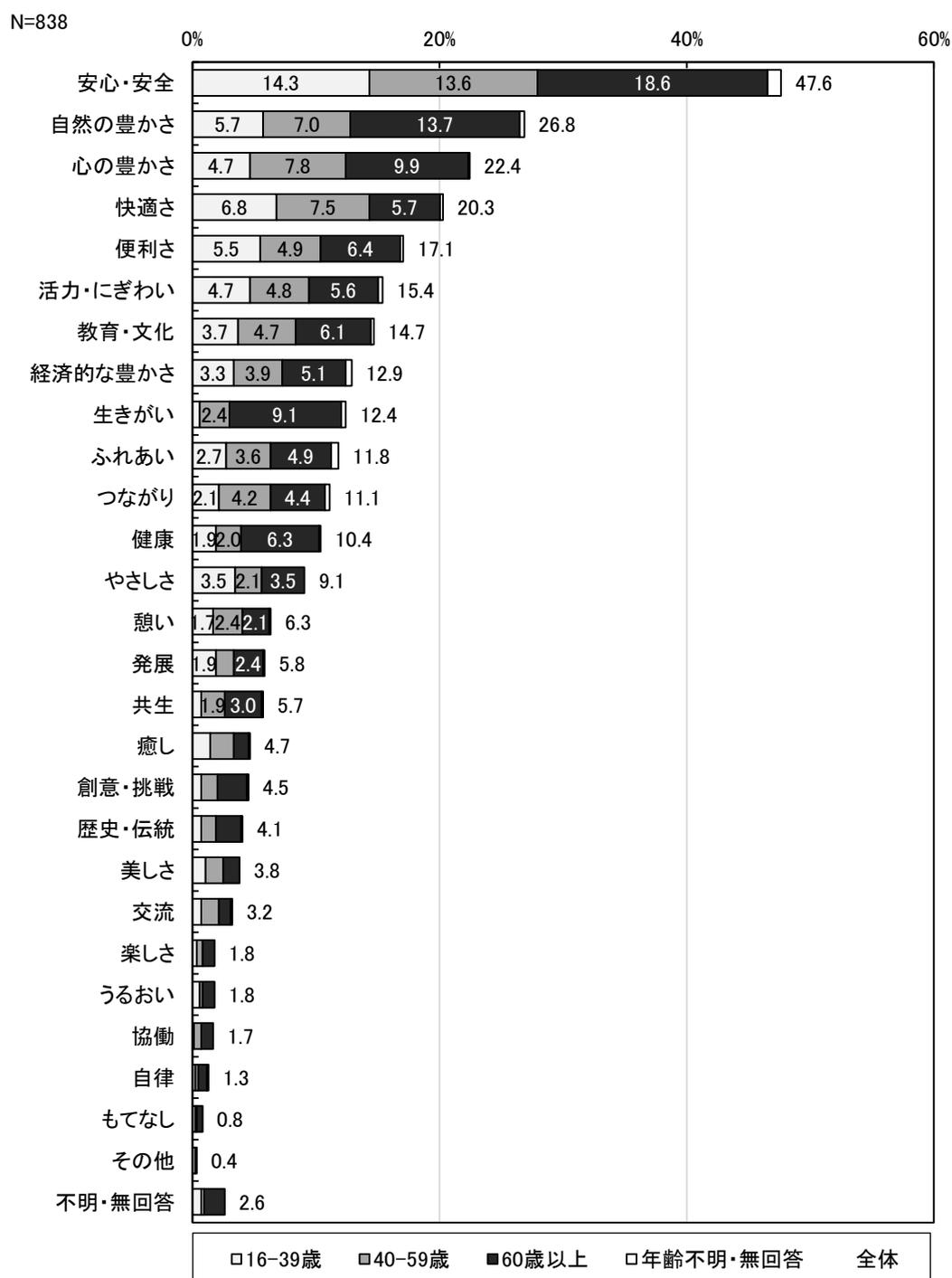
## (8) 今後めざすべき香芝市のイメージを表す言葉(キーワード)について〈複数回答〉

〔問 24 あなたは、今後、めざしていくべき香芝市のイメージを表すものとして、どのような「言葉(キーワード)」がふさわしいと思いますか。(あてはまるものに3つまでに○)〕

今後めざすべき香芝市のイメージを表す言葉(キーワード)についてみると、「安心・安全」が47.6%で最も高く、次いで「自然の豊かさ」が26.8%、「心の豊かさ」が22.4%となっています。

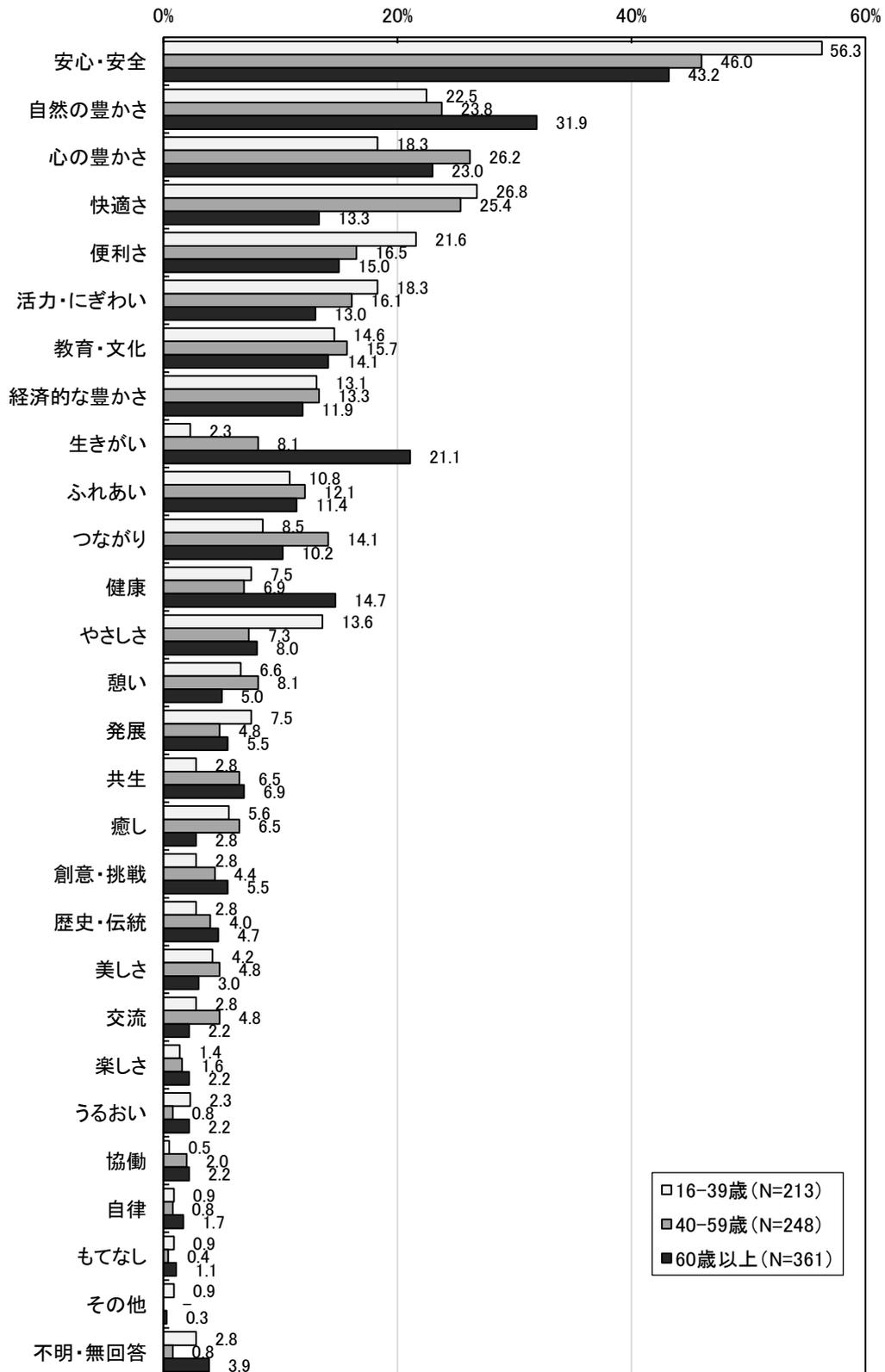
年齢別にみると、「安心・安全」、「快適さ」、「便利さ」、「活力・にぎわい」は若い世代の方が多く、「自然の豊かさ」、「生きがい」、「健康」は60歳以上の方が多く回答されています。

過去の調査との比較では、「自然の豊かさ」という回答が減少しています。一方、回答数自体はあまり多くありませんが、「生きがい」、「ふれあい」、「つながり」という回答が増加しています。



### 年齢別にみた香芝市のイメージを表す言葉

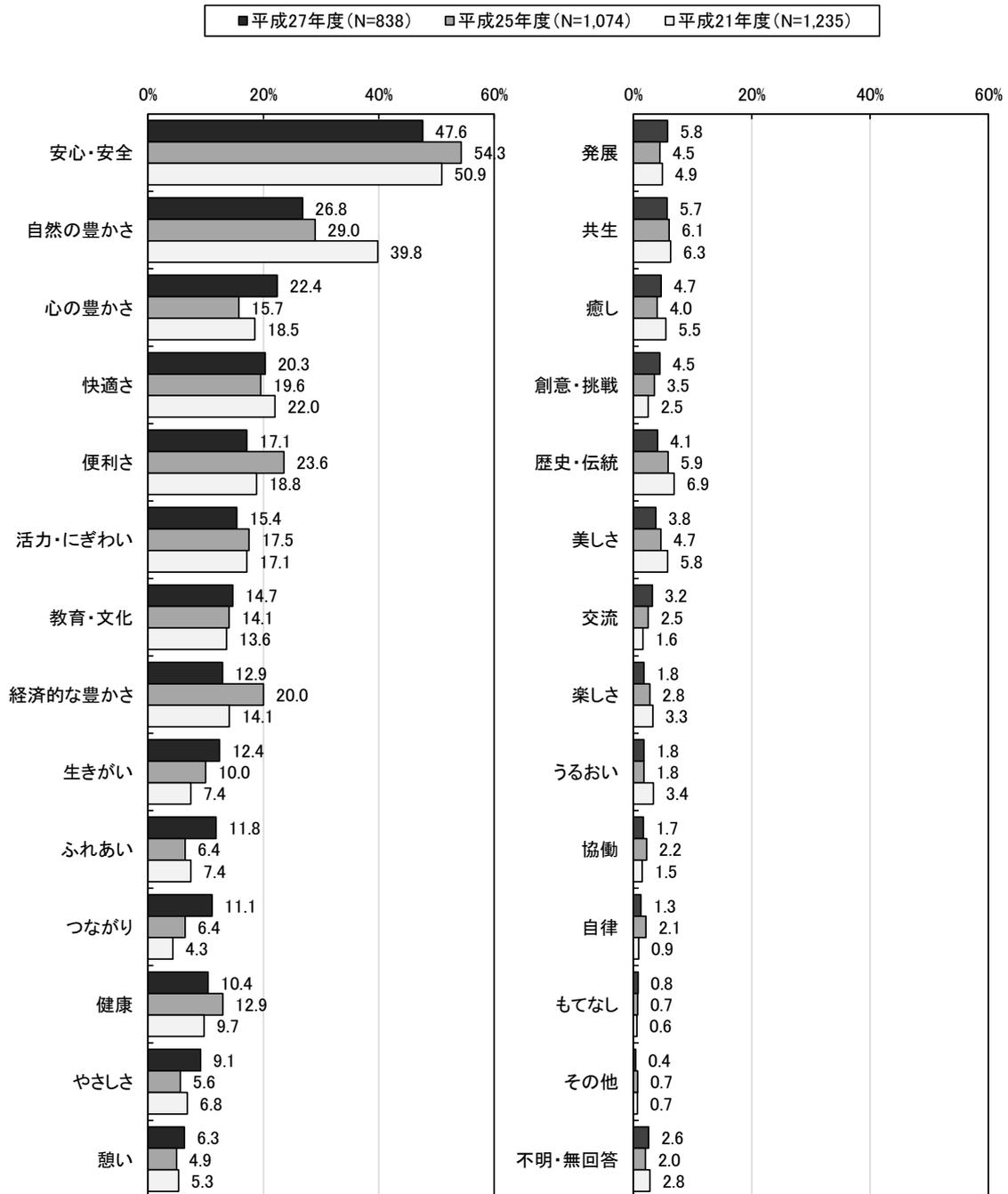
N=838



■その他回答一覧（件数）

教育	1
幸せ	1
他者への配慮	1

過去の調査と比較した香芝市のイメージを表す言葉



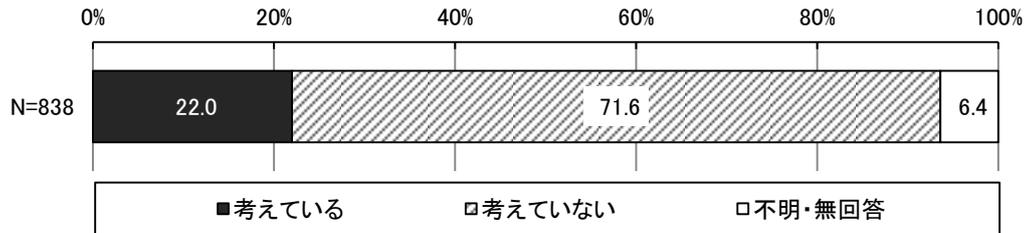
### 3 就職・転職について

#### (1) 今後就職や転職を考えているか〈単数回答〉

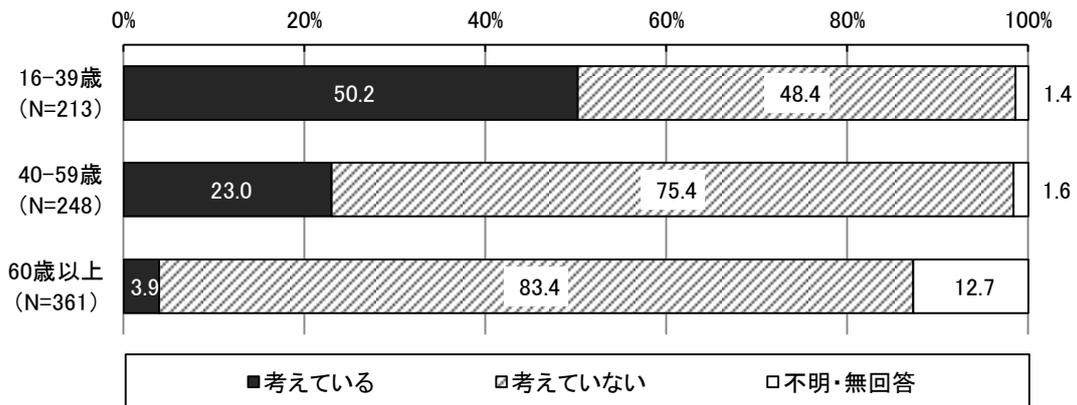
〔問 25 あなたは今後、就職や転職を考えていますか(1つに〇)。〕

今後就職や転職を考えているかどうかについてみると、「考えている」が22.0%、「考えていない」が71.6%となっています。

年齢別にみると、39歳以下では半数が「考えている」と回答しています。



#### 年齢別にみた就職・転職意向



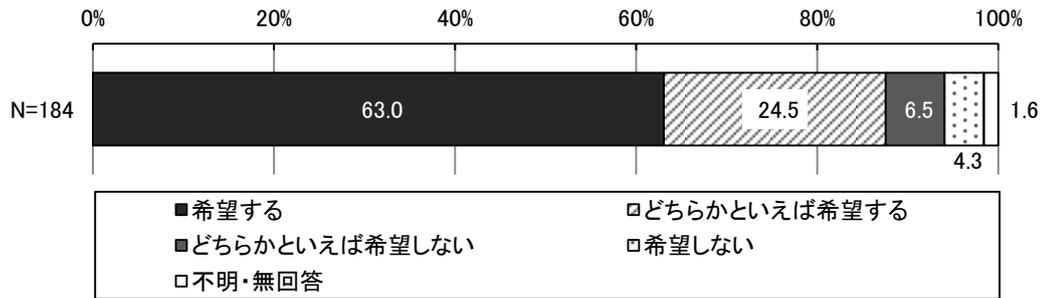
今後就職・転職を考えている方（問 25 で「1.」に○をつけた方）

（2）今後就職・転職を考えている方の、香芝市から通える範囲での就業希望

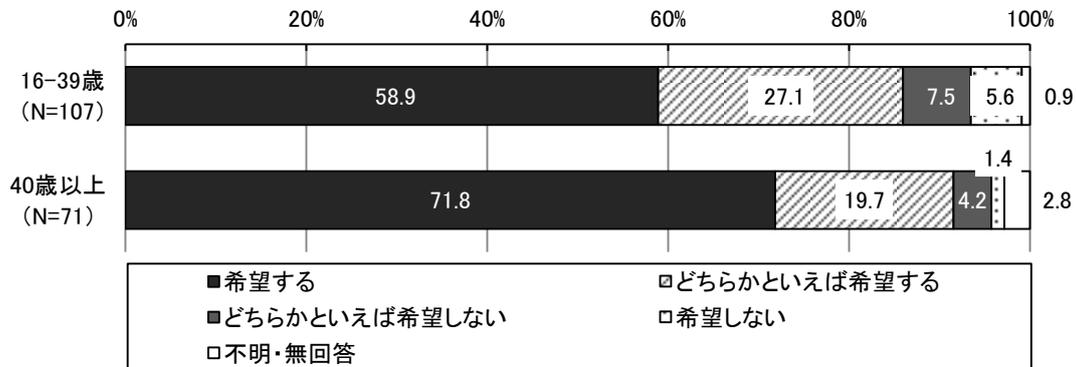
〈単数回答〉〔問 26 就職・転職の際、香芝市から通える範囲での就業を希望しますか。（1つに○）〕

今後就職・転職を考えている方の、香芝市から通える範囲での就業希望についてみると、「希望する」が 63.0%で最も高く、次いで「どちらかといえば希望する」が 24.5%で、就職・転職を考えている方の9割近く（87.5%）が香芝市から通える範囲での就業を希望しています。

年齢別にみると、若年世代ではやや「希望する」という回答が少なくなりますが、それでも「どちらかといえば希望する」との合計は8割を超えています。



年齢別にみた就職・転職意向

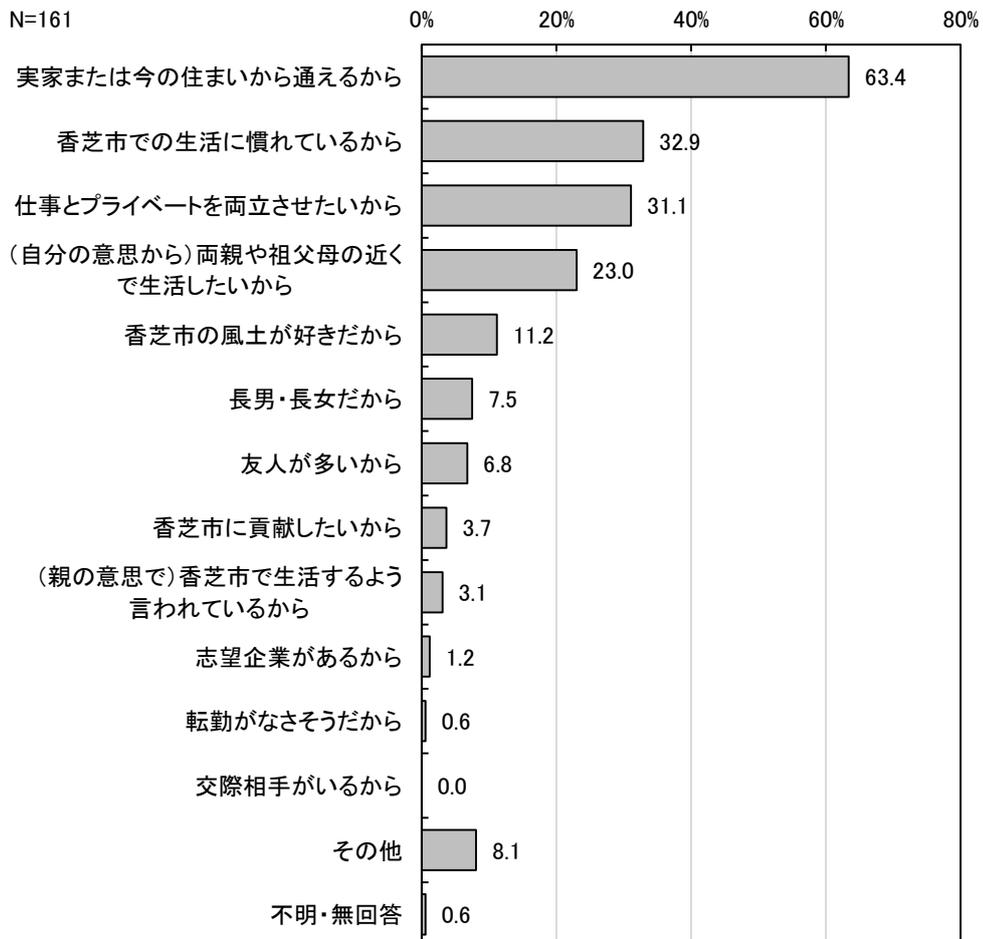


香芝市から通える範囲での就業を希望する方（問 26 で「1.」または「2.」に○をつけた方）

### （3）香芝市から通える範囲での就業を希望する理由〈複数回答〉

〔問 27 香芝市から通える範囲での就業を希望する理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）〕

香芝市から通える範囲での就業を希望する理由についてみると、「実家または今の住まいから通えるから」が63.4%で最も高く、次いで「香芝市での生活に慣れているから」が32.9%、「仕事とプライベートを両立させたいから」が31.1%となっています。



#### ■その他回答一覧（件数）

金銭的な都合の為	2
子どもがいるから	2
近い所が良いから	1
通勤時間を短縮したい為	1
やむを得ず、あきらめ	1
70才以上、働く職場さがしてます	1
定年まで働いたら田舎に戻る	1
子どもを保育所に預けるので、何かあった時や送り迎えのため	1
持ち家があるから	1

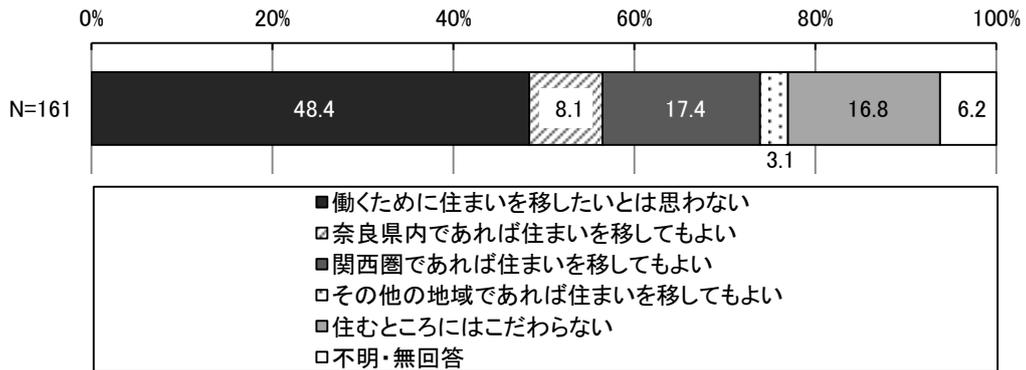
香芝市から通える範囲での就業を希望する方（問 26 で「1.」または「2.」に○をつけた方）

（4）香芝市から通える範囲での就業ができない場合、住まいをどうするか〈単数回答〉

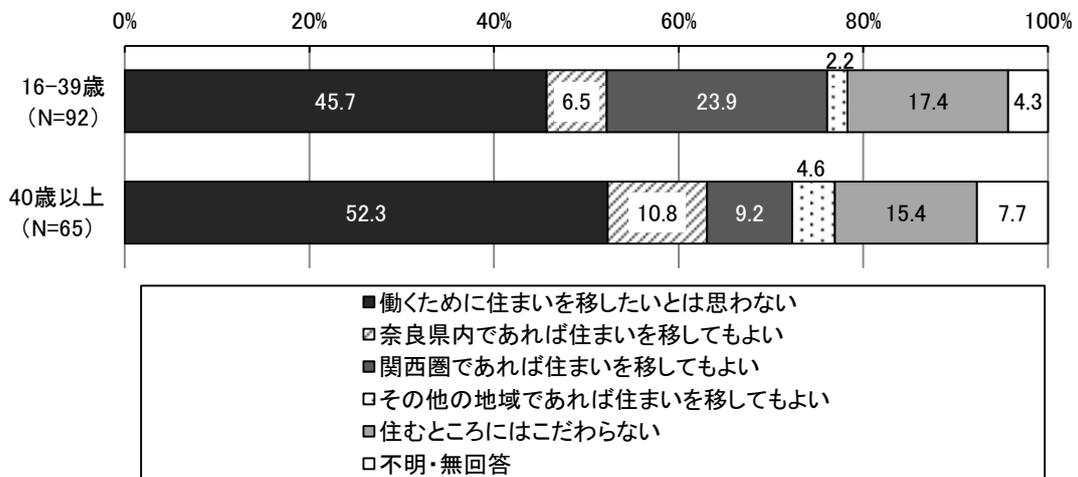
〔問 28 香芝市から通える範囲での就業ができない場合、住まいを移すことについてどう考えますか。（1つに○）〕

香芝市から通える範囲での就業ができない場合に住まいを移すかどうかについてみると、「働くために住まいを移したいとは思わない」が 48.4%、次いで「関西圏であれば住まいを移してもよい」が 17.4%、「住むところにはこだわらない」が 16.8%となっています。

年齢別でみると、若い世代では「関西圏であれば住まいを移してもよい」がやや多くなっています。なお、この設問については男女差はあまりみられませんでした。



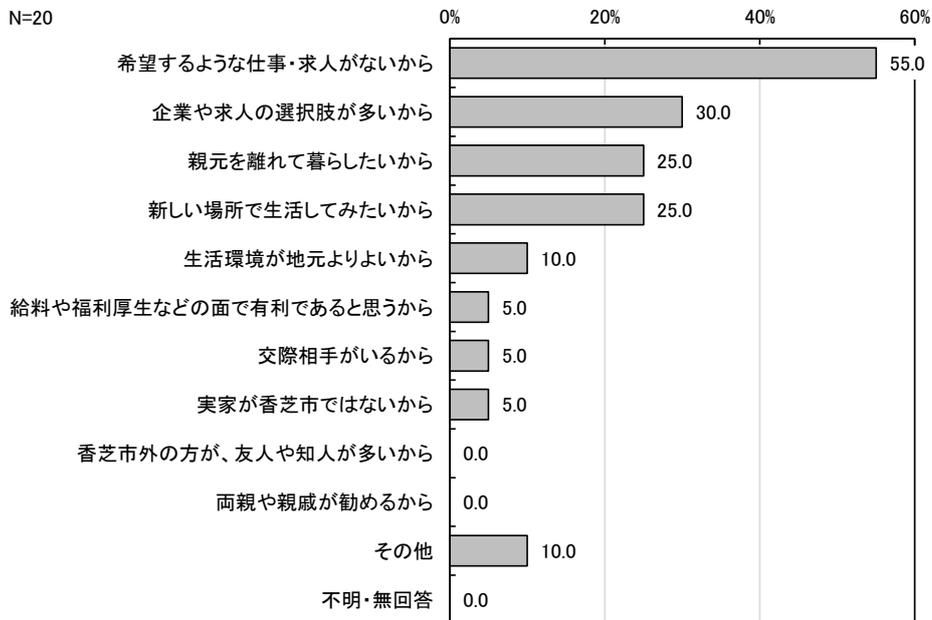
年齢別にみた就職・転職意向



**香芝市から通える範囲での就業を希望しない方（問 26 で「3.」または「4.」に○をつけた方）のみ**  
**（5）香芝市から通える範囲での就業を希望しない理由〈複数回答〉**

〔問 29 香芝市から通える範囲での就業を希望しない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）〕

香芝市から通える範囲での就業を希望しない理由についてみると、「希望するような仕事・求人がないから」が55.0%で最も高くなっています。



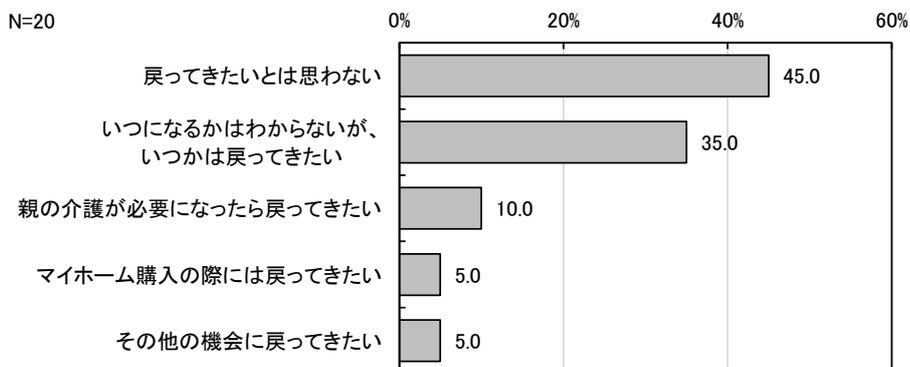
■その他回答一覧（件数）

もっと色々なことを学んでから考えたいから	1
こだわるほど、ここに住み続ける理由がないから	1

**香芝市から通える範囲での就業を希望しない方（問 26 で「3.」または「4.」に○をつけた方）のみ**  
**（6）将来、香芝市に戻ってきたいか〈単数回答〉**

〔問 30 今後香芝市を離れたとして、将来戻ってきたいと思いますか。（1つに○）〕

将来、香芝市に戻ってきたいかどうかについては、「戻ってきたいとは思わない」が45.0%で最も高く、次いで「いつになるかはわからないが、いつかは戻ってきたい」が35.0%となっています。



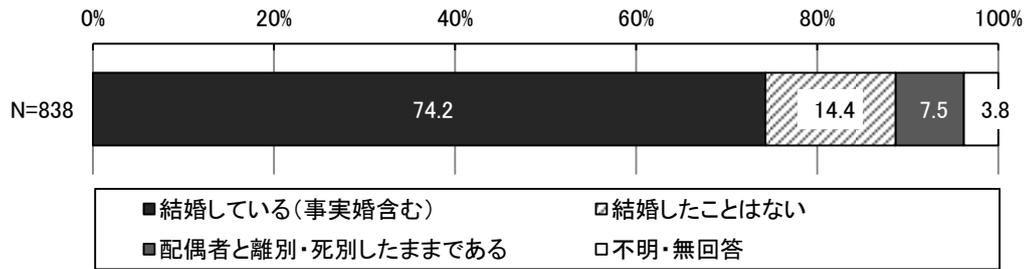
※「結婚するときには戻ってきたい」「子どもができれば戻ってきたい」「子どもが独立したら戻ってきたい」「定年退職したら戻ってきたい」には回答がありませんでした。

## 4 出産・子育てについて

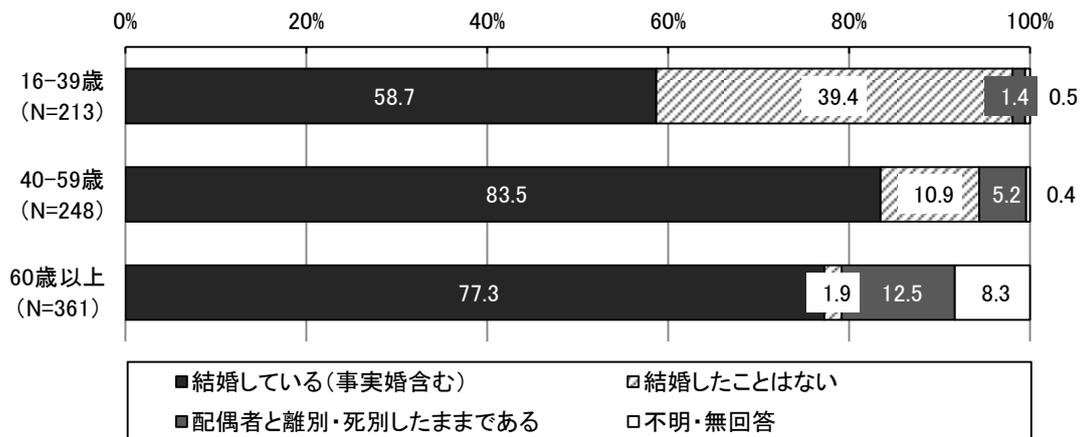
### (1) 結婚の状況〈単数回答〉〔問 31 あなたは結婚していますか(1つに〇)。〕

結婚の状況についてみると、「結婚している(事実婚含む)」が74.2%、「結婚したことはない」が14.4%、「配偶者と離別・死別したままである」が7.5%となっています。

年齢別にみると、39歳以下では「結婚したことはない」が約4割、40-59歳では約1割となっています。60歳以上では、「配偶者と離別・死別したままである」がやや多くなっています。



### 年齢別にみた結婚の状況

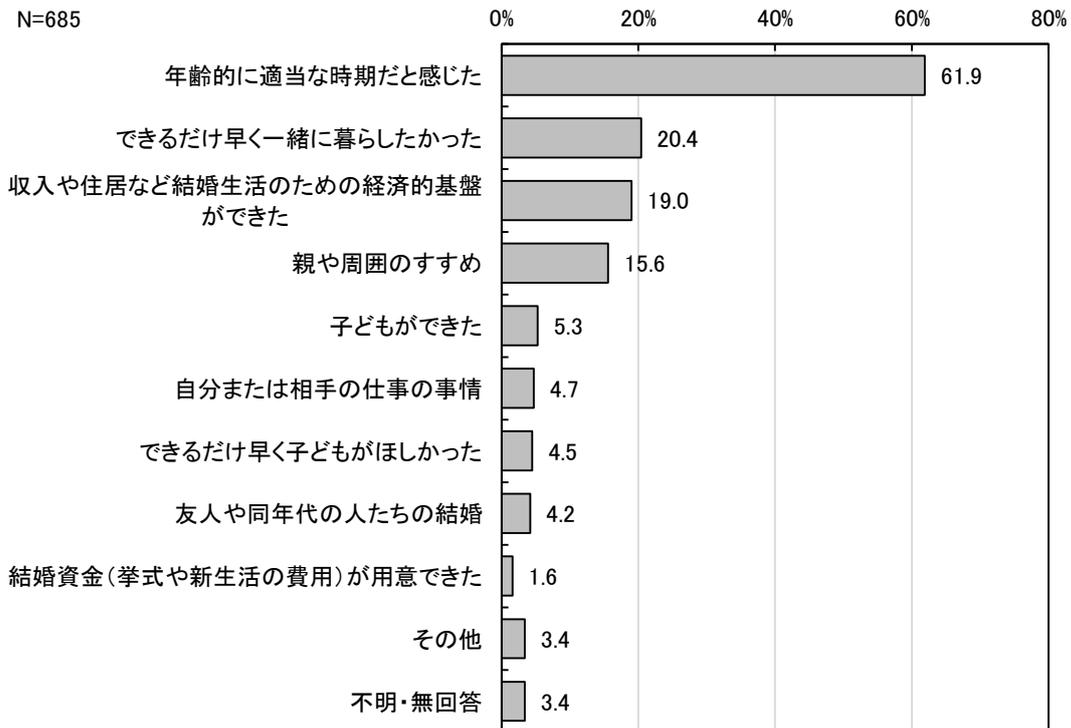


これまでに結婚したことのある方（問31で「1.」または「3.」に○をつけた方）

（2）結婚を決めたきっかけ〈複数回答〉

〔問32 あなたが結婚を決めたときの直接のきっかけは何ですか。（○は2つまで）〕

結婚を決めたきっかけについてみると、「年齢的に適当な時期だと感じた」が61.9%で最も高く、次いで「できるだけ早く一緒に暮らしたかった」が20.4%、「収入や住居など結婚生活のための経済的基盤ができた」が19.0%となっています。



■その他回答一覧（件数）

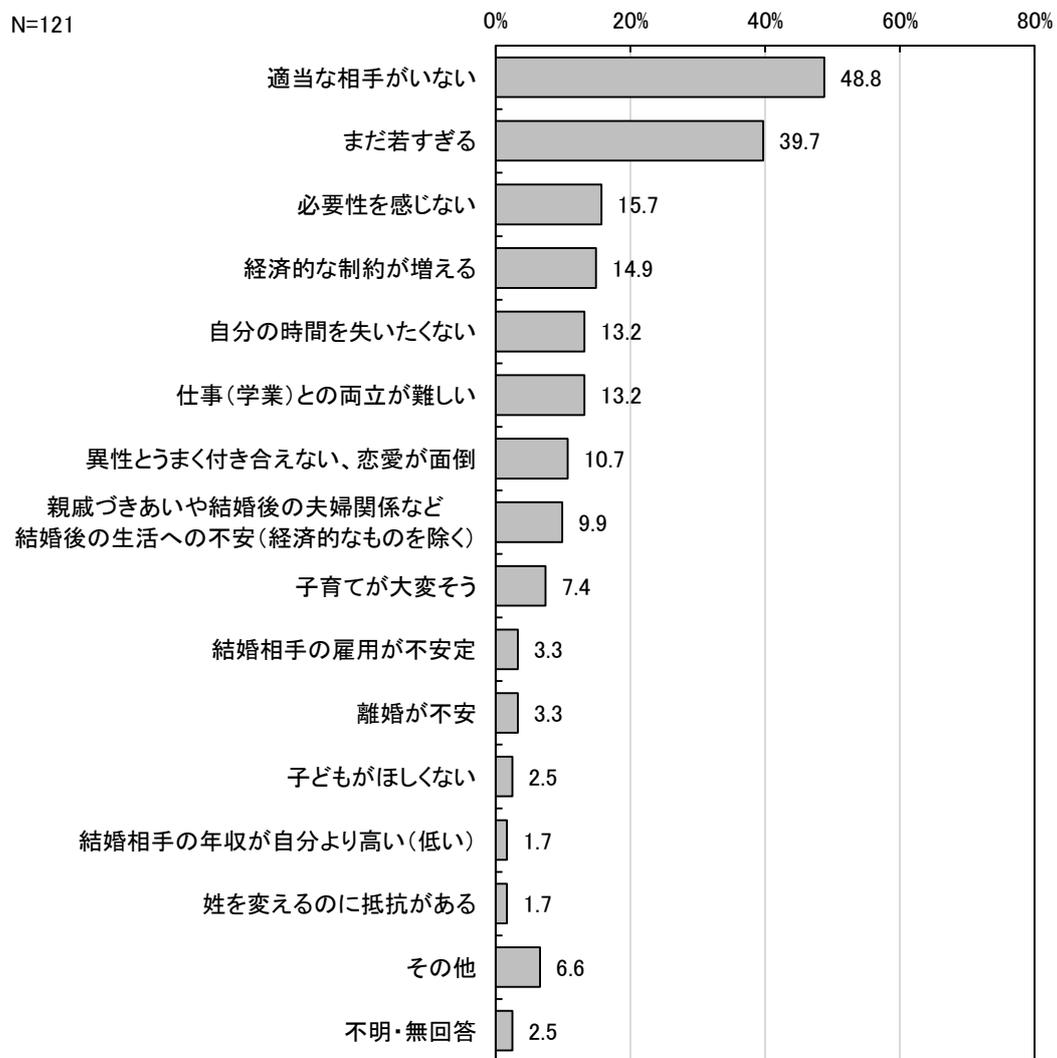
愛していたから	2
料理を作って欲しかった	1
その当時田舎だったから。それへのあこがれ	1
結婚したいと思う人だったから	1
再婚相手に子なし	1
良きパートナーと思えたから	1
好きな人ができたから	1
主人が私の家族環境などを理解してくれたから	1
望まれたから	1
社内結婚であり、お互いの事情が分かりあえる	1
2人で人生を歩きたかった	1
自然の流れで	1
生活に必要なだったから	1
信仰が同じ	1
2人で力を合わせる方が進歩がある	1
共に同じ方向を見て、生活できる相手であり、仕事に理解があった	1

これまでに結婚したことのない方（問31で「2.」に○をつけた方）

（3）結婚しない理由〈複数回答〉

〔問33 あなたが結婚しない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）〕

これまでに結婚したことのない方の、結婚しない理由についてみると、「適当な相手がない」が48.8%で最も高く、次いで「まだ若すぎる」が39.7%となっています。



その他回答一覧

学生だから	2
国民年金だから	1
ママ友とか子供の友達などを家に入れたくない	1
する気がない	1

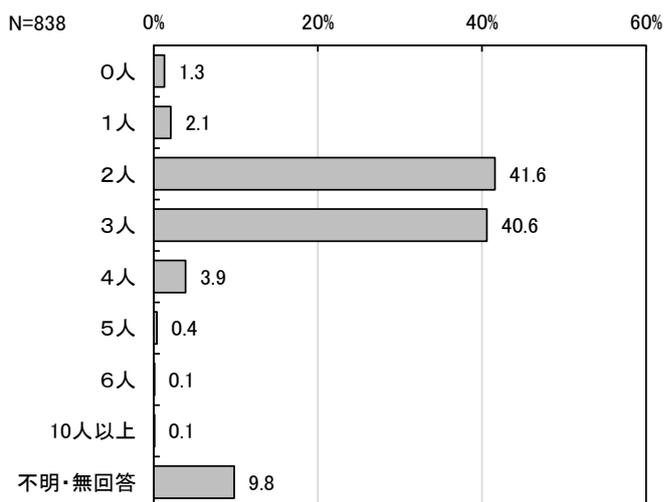
#### (4) 「①理想とする子どもの人数」「②実際に予定している(いた)子どもの人数」「③現在の子どもの人数」〈数量回答〉

〔問 34 あなたにとって、①理想的なお子さんの人数、②実際に予定している(いた)お子さんの人数、③現在のお子さんの人数はそれぞれ何人ですか。未婚の方も今のお考えでお答えください。(数字を記入)〕

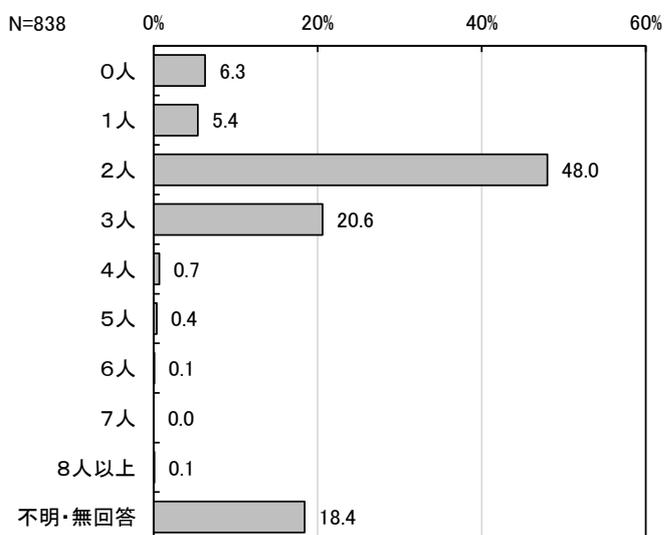
理想とする子どもの人数については、「2人」が41.6%、次いで「3人」が40.6%となっています。実際に予定している(いた)子どもの人数については、「2人」が48.0%で全体の半数近くを占めています。現在の子どもの人数については、「2人」が46.1%となっています。

##### ① 理想の子どもの数

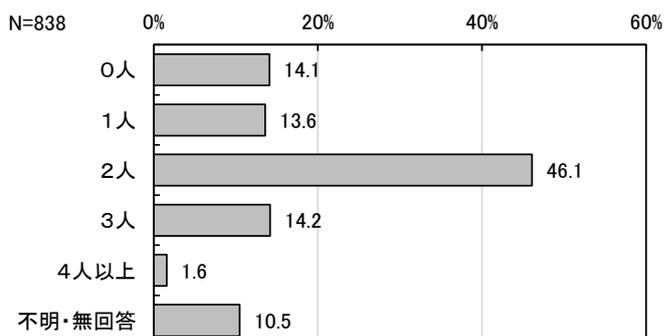
※「7人」「8人」「9人」という回答はありませんでした。



##### ② 実際に予定している(いた)子どもの数



##### ③ 現在の子どもの数



理想とする子どもの人数別に、予定している子どもの数と現在の子どもの数をみると、有配偶者全体では、理想の子ども数2人の場合には8割近くが2人の子どもを持っており、理想の子ども数より予定の子ども数が少ないのは1割程度にとどまっています。一方、理想の子ども数3人の場合は、約半数で予定の子ども数が少なくなっており、3人目を持つことにやや高い障壁があると考えられます。若年有配偶者については、理想子ども数が2人以上の回答者において、有配偶者全体と比較して理想子ども数より予定の子ども数が少ない比率がより高くなっており、理想と現実の開きが大きくなっていくことがうかがえます。

			実際に予定している子どもの数							現在の子どもの数						
			回答者数	0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答	0人	1人	2人	3人	4人以上	無回答
理想の子ども数	回答者全体	全体	838	6.3	5.4	48.0	20.6	0.7	0.6	18.4	14.1	13.6	46.1	14.2	1.6	10.5
		0人	11	90.9	-	-	-	-	-	9.1	90.9	-	-	-	-	9.1
		1人	18	27.8	55.6	-	-	-	-	16.7	55.6	22.2	-	5.6	-	16.7
		2人	349	6.3	7.2	72.5	4.0	0.6	-	9.5	18.6	15.8	50.1	6.9	0.6	8.0
		3人	340	4.1	2.6	39.1	42.9	0.6	0.3	10.3	8.8	13.2	49.1	22.4	2.1	4.4
		4人以上	38	2.6	-	36.8	31.6	10.5	25.3	13.2	5.3	10.5	47.4	31.6	2.6	2.6
	有配偶者全体	全体	622	2.3	5.5	53.7	23.8	0.8	0.9	13.2	5.3	16.6	55.8	16.6	1.6	4.2
		0人	4	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
		1人	6	-	66.7	-	-	-	-	33.3	-	66.7	-	-	-	33.3
		2人	255	2.4	8.2	78.8	4.7	0.4	-	5.5	7.1	20.0	61.6	8.2	0.4	2.7
		3人	276	1.4	2.9	42.8	44.9	0.7	0.4	6.9	3.3	14.5	55.1	23.9	1.8	1.4
		4人以上	33	-	-	39.4	33.3	6.1	12.1	9.1	3.0	9.1	51.5	33.3	3.0	-
	若年者	全体	213	13.6	10.3	46.9	14.6	0.9	0.5	13.1	31.5	22.5	23.9	6.1	0.9	15.0
		0人	6	83.3	-	-	-	-	-	16.7	83.3	-	-	-	-	16.7
		1人	8	50.0	37.5	-	-	-	-	12.5	87.5	-	-	-	-	12.5
		2人	111	10.8	12.6	63.1	1.8	-	-	11.7	30.6	24.3	24.3	2.7	-	18.0
		3人	70	10.0	7.1	38.6	34.3	1.4	-	8.6	27.1	27.1	27.1	11.4	1.4	5.7
		4人以上	12	8.3	-	25.0	41.7	8.3	8.3	8.3	16.7	16.7	41.7	16.7	-	8.3
若年有配偶者	全体	125	3.2	13.6	57.6	19.2	1.6	0.8	4.0	8.0	38.4	37.6	9.6	1.6	4.8	
	0人	1	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	
	1人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	2人	59	3.4	20.3	72.9	1.7	-	-	1.7	6.8	45.8	40.7	3.4	-	3.4	
	3人	52	1.9	9.6	50.0	36.5	1.9	-	-	7.7	36.5	36.5	15.4	1.9	1.9	
	4人以上	9	-	-	33.3	44.4	11.1	11.1	-	11.1	22.2	44.4	22.2	-	-	

※若年者は39歳以下。理想の子ども数より予定している子ども数が少ない部分に網掛け。

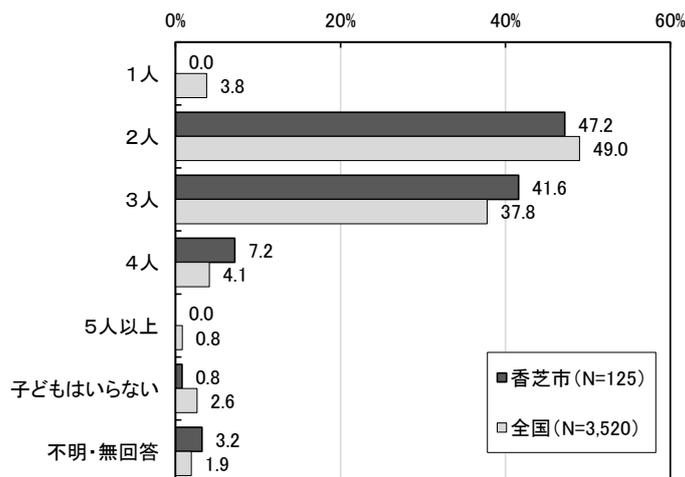
若年世代の有配偶者における、理想の子ども数、予定している子ども数、現在の子ども数を、全国調査と比較すると、理想子ども数については、香芝市では「2人」がやや少なく、「3人」、「4人」が多く、全体として全国調査よりやや多くの子どもを持つことを理想と考える傾向にあります。

一方、実際に予定している子ども数については、「1人」がやや多く、「3人」がやや少なくなっており、全国調査よりやや少ない数を予定しています。

現在の子ども数についても、「子どもはいない」は全国より少ないものの、「1人」が多く、「2人」、「3人」がやや少なくなっており、全体として1世帯当たりの子どもの数は少なくなる傾向が見られます。理想に対して実際には少ない子ども数になっている家庭が多いと考えられます。

① 理想の子ども数

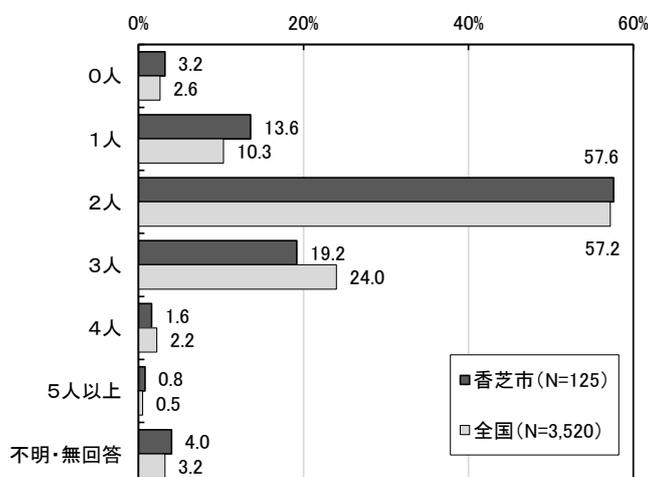
(39歳以下有配偶者)



② 実際に予定している

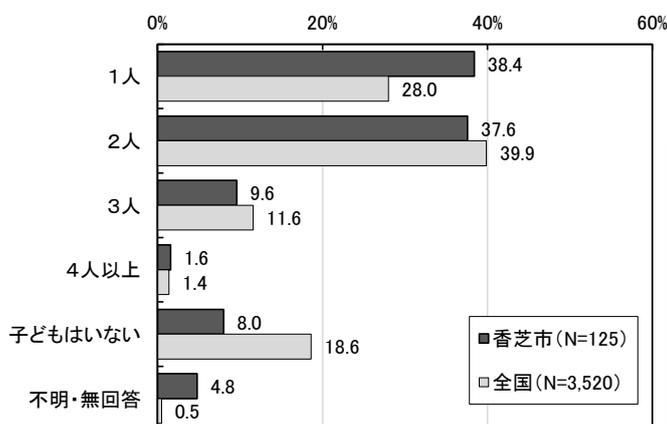
(いた) 子どもの数

(39歳以下有配偶者)



③ 現在の子ども数

(39歳以下有配偶者)



※全国調査の結果については、国立社会保障・人口問題研究所「第14回出生動向基本調査(2010年)」における同様の設問の回答状況を参照しています(以下同様)。

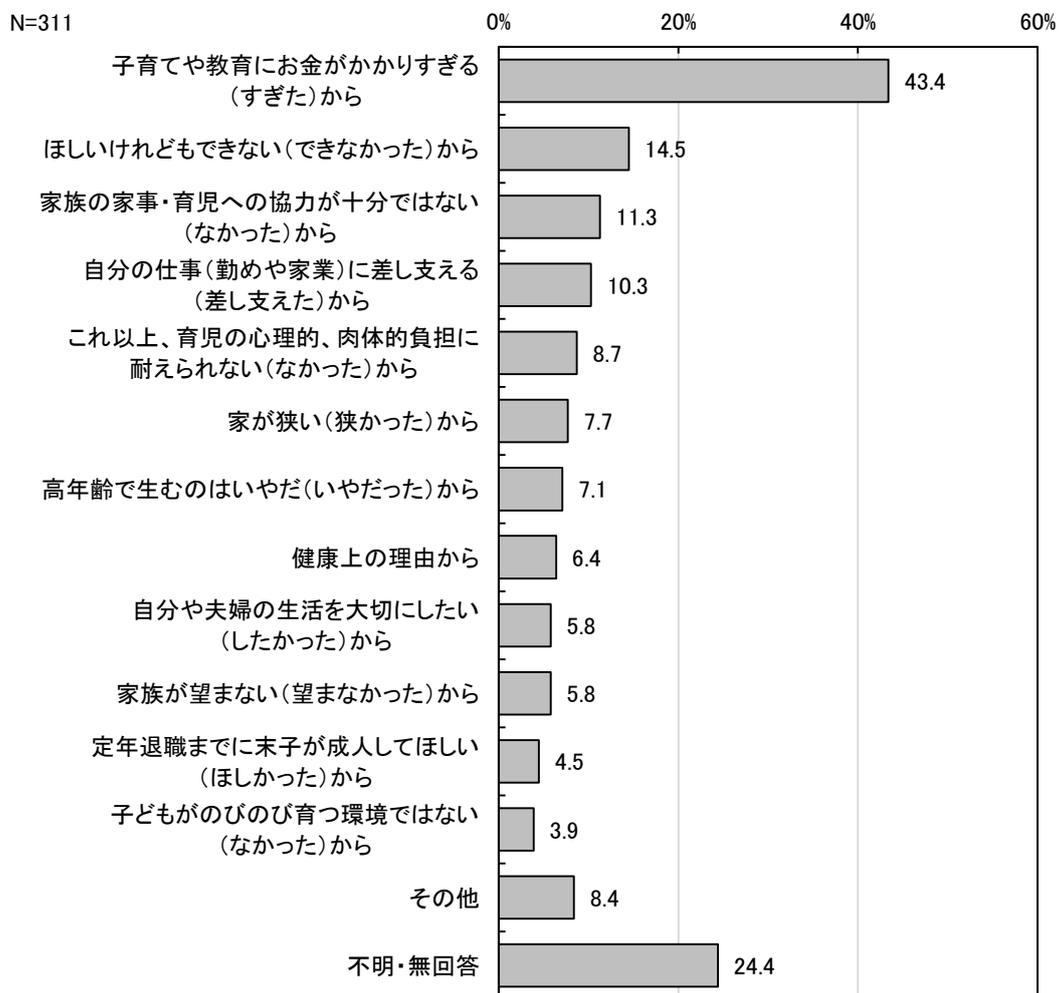
理想の子ども数よりも実際に予定している(いた)子ども数が少ない方(問34で①より②が少ない方)

(5) 理想より少ない子ども数になった理由<複数回答>

[問35 お子さんの数が理想の人数より少ないのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)]

理想より少ない子ども数になった理由についてみると、「子育てや教育にお金がかかりすぎる(すぎた)から」が43.4%で最も多く、次いで「ほしいけれどもできない(できなかった)から」が14.5%、「家族の家事・育児への協力が十分ではない(なかった)から」が11.3%となっています。

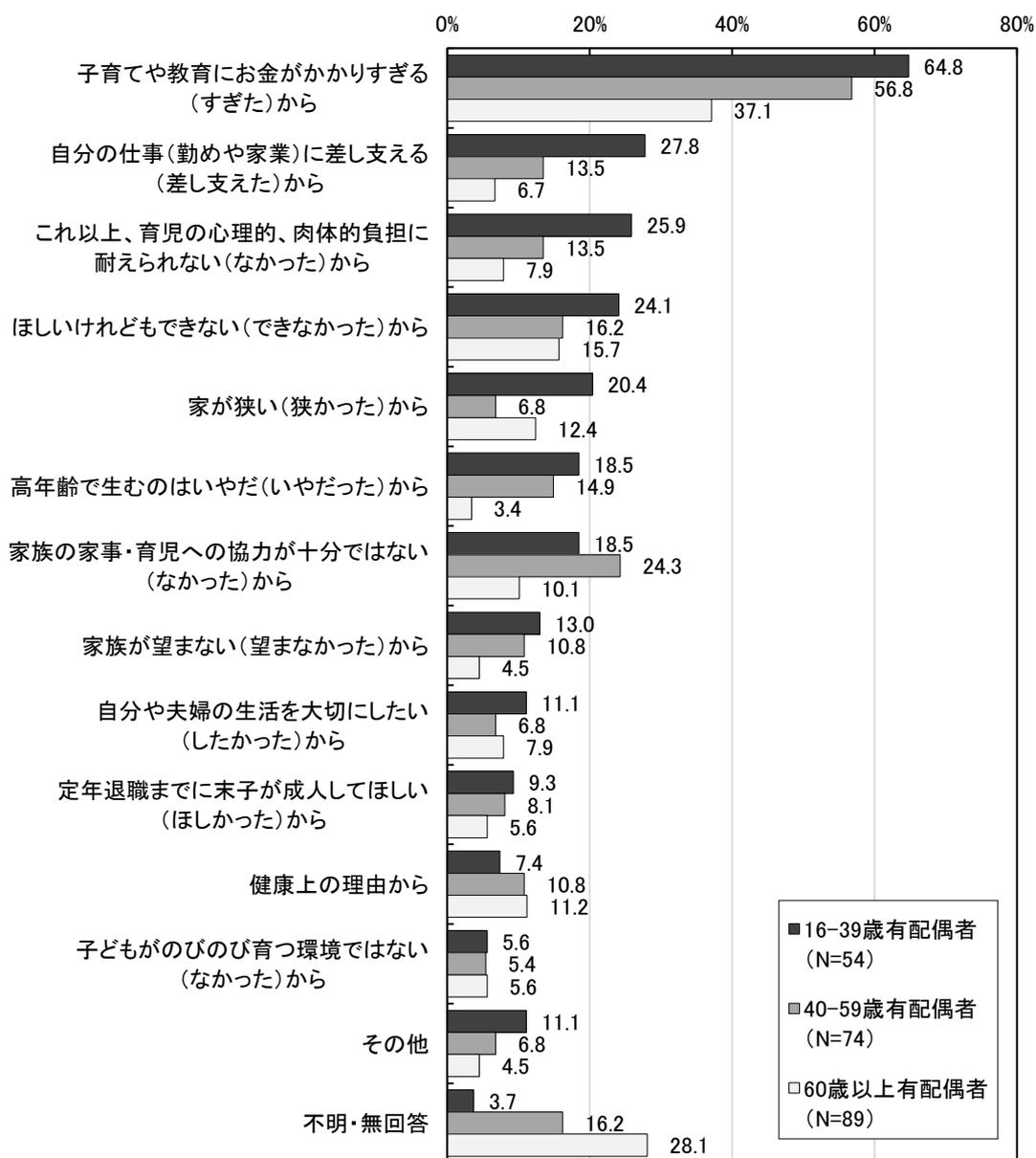
有配偶者について、年齢別にみると、「子育てや教育にお金がかかりすぎる(すぎた)から」は若い世代ほど多く回答されており、「自分の仕事(勤めや家業)に差し支える(差し支えた)から」、「これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられない(なかった)から」も同様の傾向が見られます。「家族の家事・育児への協力が十分ではない(なかった)から」は40-59歳でやや多くなっています。



■その他回答一覧（件数）

まだ途中だから、まだわからない	3
今一人目で、2人目を授かってお金にも心にも余裕あれば3人目を考えたいから	1
特に明快な理由はなかった	1
収入が少ないから	1
若すぎる	1
子供が嫌いだから	1
学校のPTA活動の参加に耐えられない	1
配偶者の逝去	1
私は初婚で子供が欲しかったが、主人には子供がいたし、私自身高齢でもあった	1
自分が2人兄妹だから	1
一人死別	1
産後日数がそんなにあいていないため	1
自営業で大変だったが2人しかできなかった	1
子どもが手をはなれてから、あと一人多くても良かったと思った	1
結婚1年くらいで離婚したため	1
流産を2回したことと、その後妊娠しなかったので残念でした	1
夫はまだ協力的な方だったが、仕事・家事・育児を両立させるには体力がなかった	1

### 年齢別にみた有配偶者の理想より少ない子ども数になった理由



## (6) 自分の子どもをどのように育てたい(育てたかった)か〈複数回答〉

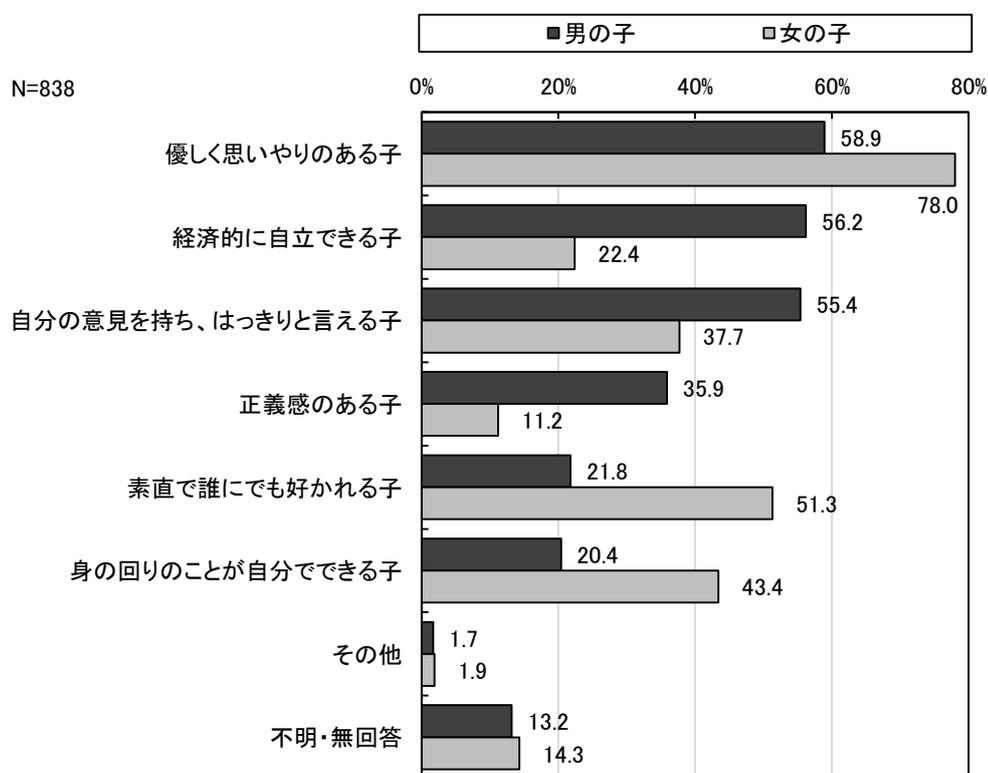
[問 36 あなたは自分の子どもをどのように育てたい(育てたかった)ですか。①男の子について、②女の子について、それぞれあてはまるものを3つまで選び、( )に数字を記入してください。子どものいない方、子育てを終えられた方もお答えください。]

自分の子どもをどのように育てたい(育てたかった)かについてみると、男の子・女の子ともに「優しく思いやりのある子」が最も高く、それぞれ58.9%、78.0%となっています。

男の子については、次いで「経済的に自立できる子」が56.2%、「自分の意見を持ち、はっきりと言える子」が55.4%となっています。

女の子については、「素直で誰にでも好かれる子」が51.3%、「身の回りのことが自分でできる子」が43.4%と続いています。

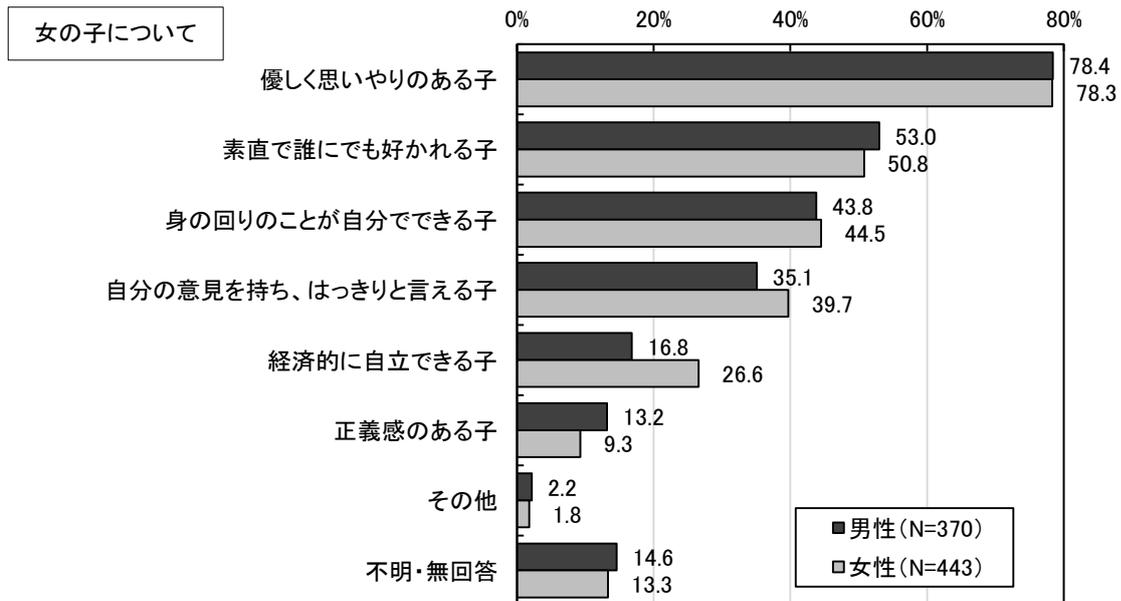
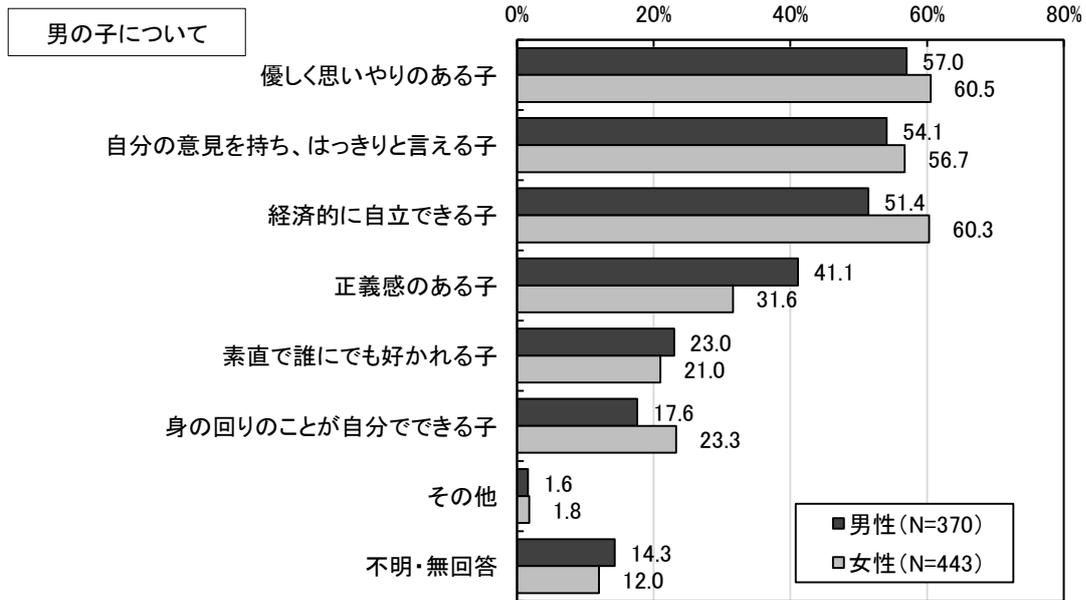
回答者の男女別にみると、それほど大きな差は見られませんが、「経済的に自立できる子」は女性、「正義感のある子」は男性にやや多くなっています。



■その他回答一覧（件数）

<b>①男の子②女の子ともに</b>	
健康な子	2
いつも前向きで明るい子	1
夢のある子	1
男、女で差はなく、全て同じ様に大事	1
コミュニケーション力をもっている	1
挨拶や「ありがとう」「ごめんなさい」がちゃんと言える子	1
他人に迷惑をかけない子	1
成熟した子	1
自分のやりたいこと、したいこと、夢を持って努力できる子	1
<b>①男の子について</b>	
健康でスポーツの出来る子	1
面白い子	1
<b>②女の子について</b>	
明朗活発	1
親の気持ちが理解できる子	1
しっかり家庭を持ち子育てが充分に出来るような子	1

### 男女別にみた自分の子どもをどのように育てたいか

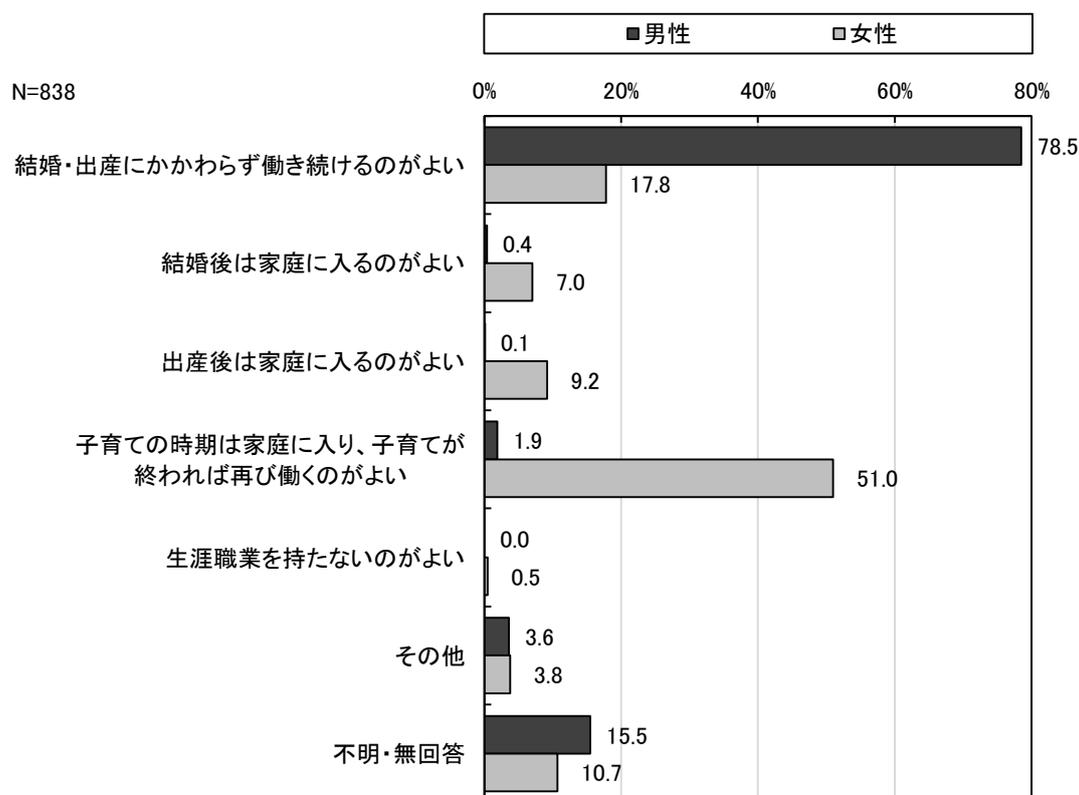


## (7) 仕事と結婚・子育てに対する考え〈複数回答〉

〔問 37 仕事と結婚・子育てについて、あなたはどのように考えますか。①男性について、②女性について、それぞれあてはまるもの1つを( )に数字で記入してください。〕

仕事と結婚・子育てに対する考えについてみると、男性については「結婚・出産にかかわらず働き続けるのがよい」が78.5%、女性については「子育ての時期は家庭に入り、子育てが終われば再び働くのがよい」が51.0%で、それぞれ最も高くなっています。

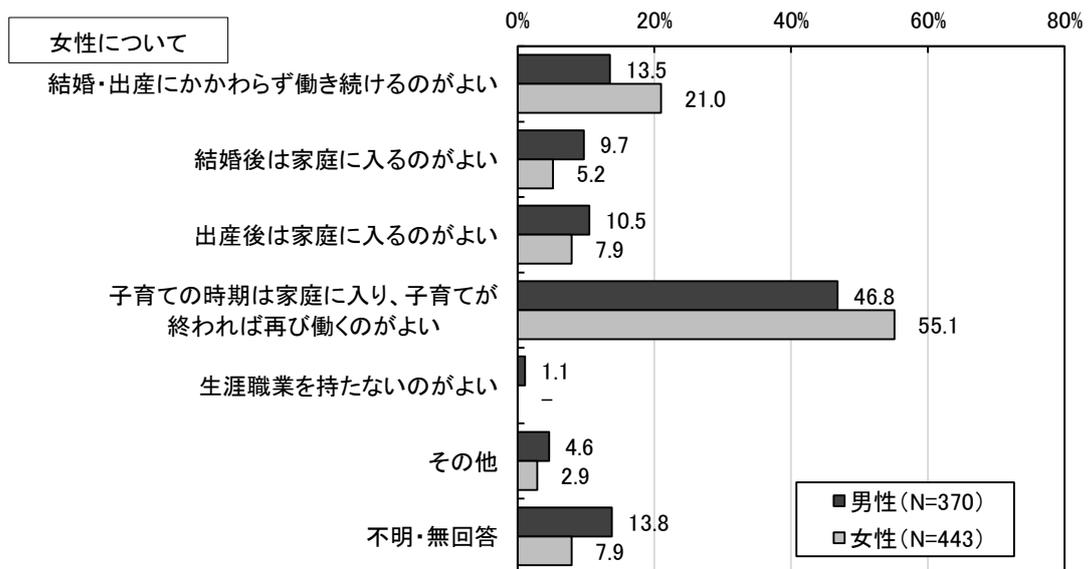
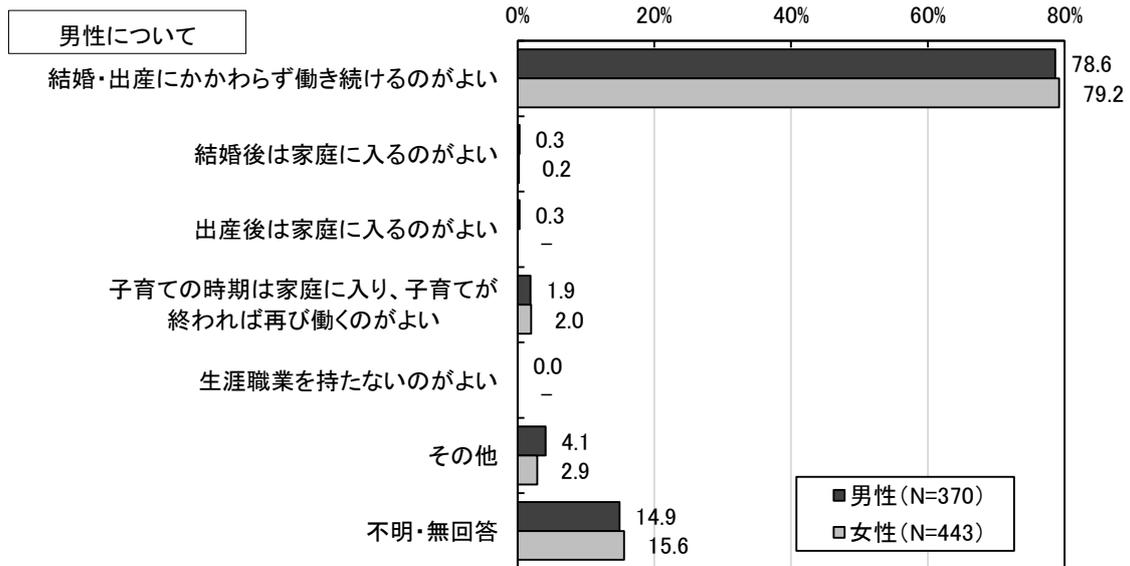
男女別にみると、男性については男女の回答にほとんど違いは見られません。女性については、「結婚・出産にかかわらず働き続けるのがよい」、「子育ての時期は家庭に入り、子育てが終われば再び働くのがよい」は女性で多く、「結婚後は家庭に入るのがよい」、「出産後は家庭に入るのがよい」はやや男性で多くなっています。



■その他回答一覧（件数）

男性・女性ともに	
男性、女性として考えるのではなく、個人の問題	2
それぞれが思うようにできるのが良い	2
男女共に育児休暇を取りながら働き続けるのが良い	1
仕事も育児も夫婦で協力しあうべき、お互いを尊重すべき	1
夫婦で決めて納得できるスタイルをとるべき	1
男女が協力して育児休暇を取りながら子どもと触れ合う機会をしっかりと作るのが良い	1
働き続けるのも良いし、仕事をもたなくてもどちらでもいい	1
生活のため働かなければならない。やりたい仕事があるなどを基準にしていたので、1～5に当てはまらない。	1
生活費の関連があるので何とも言えない。職場とも関連する。	1
状況によって考えればよい	1
よく分からない	1
<b>①男性について</b>	
職業事情により変る	1
家庭の事情を考慮しつつ、働き続ける	1
子育てに協力してほしいけれど、仕事優先で経済的に支えてほしいです。	1
家族を大切にする	1
65歳くらいまで働き続けるのが良い	1
育児休業が取れる。参加できる。	1
<b>②女性について</b>	
本人の意思を尊重	3
働きにく働ける環境があれば、働くのがよい。	1
それぞれの家庭によってより良い選択をするべき	1
家計の状態により異なる	1
仕事をしていると妊娠中などに関わらず仕事が第一優先になるため各々に併せて仕事をするしないと判断すればよい	1
育児休暇を頂いて復帰するのが良い	1
子どもが成人した18歳くらいまで家庭を守るのがいい	1
経済や自分の性格的なもので決めればよい	1

### 男女別にみた仕事と結婚・子育てに対する考え



## （８）男性と女性が育児に共に参画できる環境をつくるために、特に必要だと思うこと 〈複数回答〉

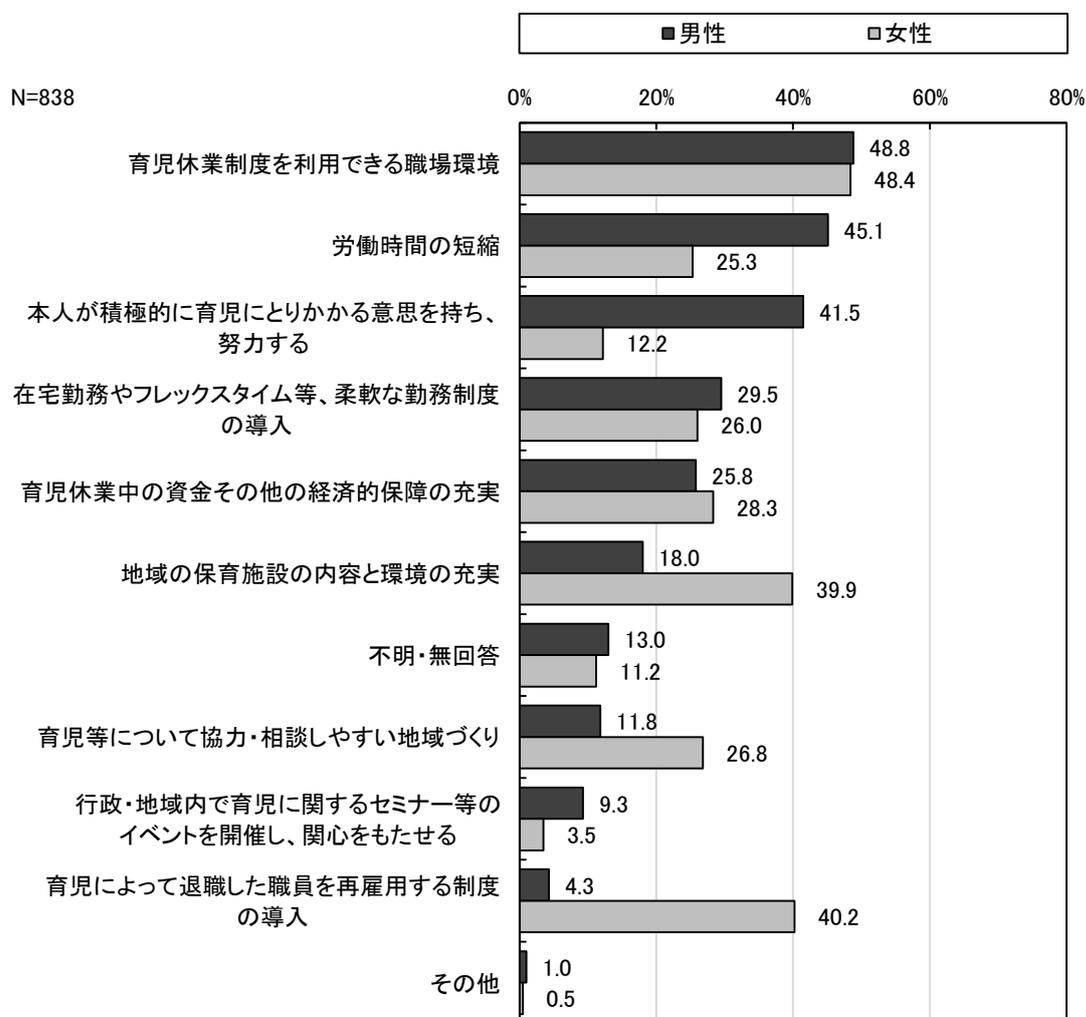
〔問 38 男性と女性が、育児に共に参画できるような環境をつくるには、特にどのようなことが必要だと考えますか。〕

①男性について、②女性について、それぞれあてはまるものを3つまで選び、( )に数字を記入してください。〕

男性と女性が育児に共に参画できる環境をつくるために、特に必要だと思うことについてみると、男性・女性ともに「育児休業制度を利用できる職場環境」がそれぞれ48.8%、48.4%で最も高くなっています。

次いで、男性については「労働時間の短縮」が45.1%、「本人が積極的に育児にとりかかる意思を持ち、努力する」が41.5%と続いています。女性については、「育児によって退職した職員を再雇用する制度の導入」が40.2%、「地域の保育施設の内容と環境の充実」が39.9%と続いています。

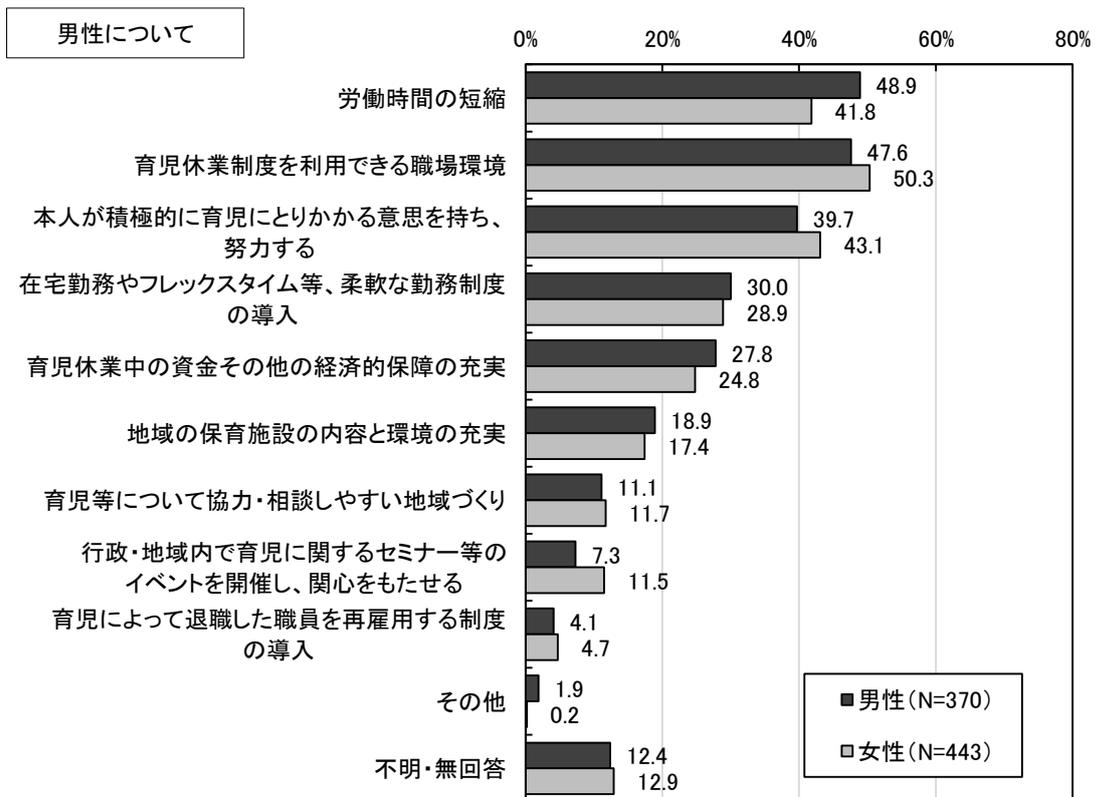
回答者の男女別にみると、男性については「労働時間の短縮」で男性の回答がやや多くなっています。女性については、育児によって退職した職員を再雇用する制度の導入、「地域の保育施設の内容と環境の充実」で女性の回答がやや多くなっています。

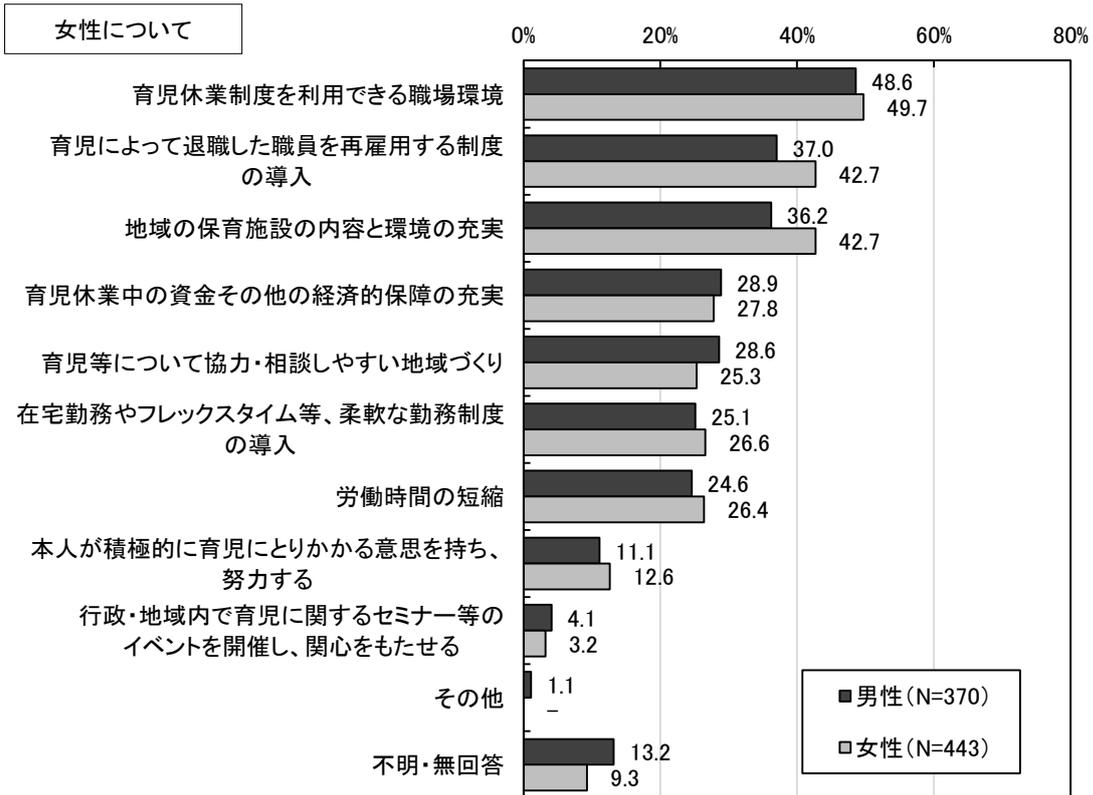


■その他回答一覧（件数）

①男性②女性ともに	
行政や人に頼らず、自分自身の姿を子供に見せて親として自覚する	1
自分自身の努力で実力を持ち、計画推進する。職業も自分で選べるようになっている時代	1
①男性について	
職務に専念すべし	1
休業ではなく育児休暇として必要な時に休みを取ることができるようにする	1

男女別にみた男女が育児に参画するために特に必要だと思うこと

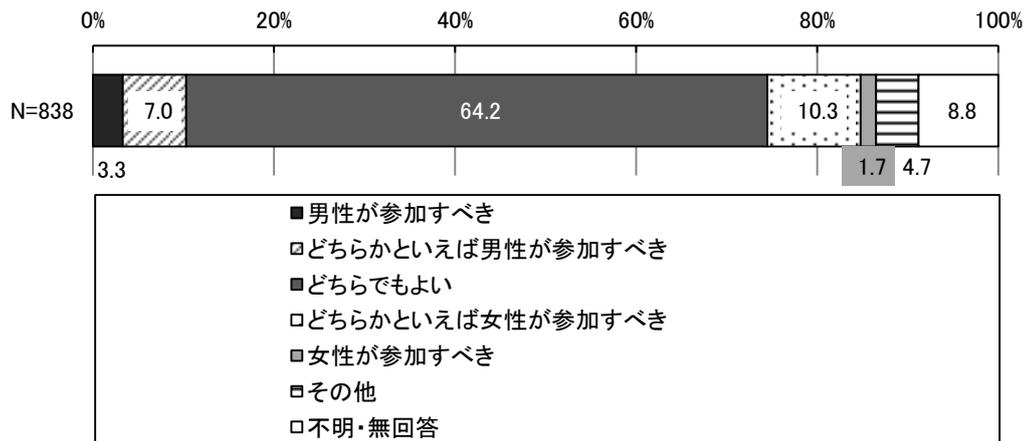




### (9) 学校やPTA等、子どもに関する行事・会議等に対する考え〈単数回答〉

〔問 39 学校やPTA等子どもに関する行事・会議等について、基本的にどのようにお考えですか。(1つに○)〕

学校やPTA等、子どもに関する行事・会議等に対する考えについてみると、「どちらでもよい」が64.2%で最も多く、全体の3分の2近くを占めています。次いで「どちらかといえば女性が参加すべき」が10.3%、「どちらかといえば男性が参加すべき」が7.0%となっています。



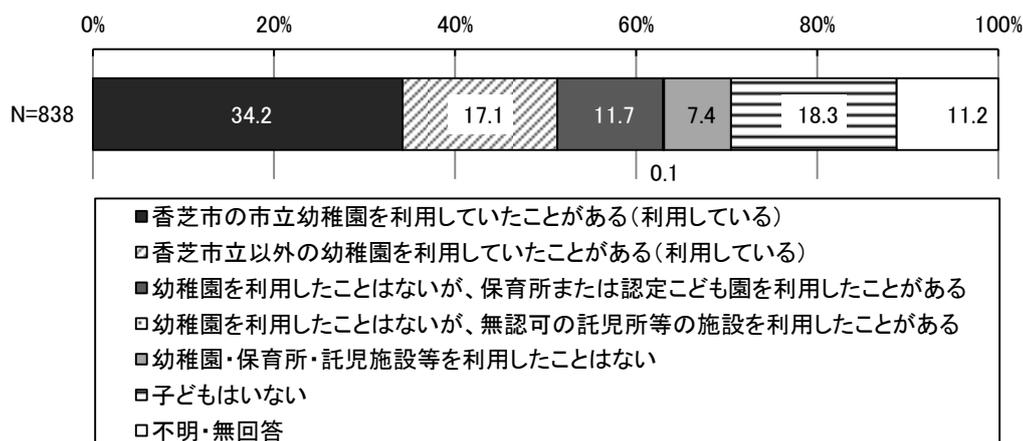
■その他回答一覧（件数）

男性も女性も参加すべき	10
PTAは廃止すべき	5
可能であれば男性、女性ともに参加すべき	3
本来、全員参加であるべきでない。参加する事が当たり前ではない	3
働いている人も参加できるような日時に行うべき	2
参加出来る方が参加すれば良い	2
意味のない寒冷で進めているので、参加の時間をもったいない	1
（経験者として）校内の事情が伝わらなかった。ムダな1年を過ごしたと思っている。愛される活動とは、未だに思う。	1
親が参加すべき機会は少ない方がよい	1
両方が参加できる様に今回は女性、次回は男性などで決める	1
家庭の事情によると思われる	1
どちらも参加しやすい地域づくり	1
PTA行事の削減をする	1
小中学校と本部役員に当たりとても大変だったので、あまり無理強いをするようなPTAは勧めない	1
PTAは廃止してほしい。もしくは最低限に	1
PTAになったからには男女関係なく最後まで責任を持ってやるべき	1

（10）市立幼稚園の利用状況〈単数回答〉

〔問 40 あなたの子どもは、市立幼稚園を利用していたことがありますか(利用していますか)。(1つに○)〕

回答者の子どもの市立幼稚園の利用状況についてみると、「香芝市の市立幼稚園を利用していたことがある（利用している）」が 34.2%で最も多く、次いで「子どもはいない」が 18.3%、「香芝市立以外の幼稚園を利用していたことがある（利用している）」が 17.1%となっています。



## (11) 香芝市の市立幼稚園の今後の運営に対する考え〈単数回答〉

〔問 41 香芝市は、年少人口割合が比較的多い市ですが、近い将来には少子高齢化を迎えることは避けられません。また、就学前子ども(0歳～5歳)数についても、平成 19 年度をピークに減少傾向となっております。一方で、希望する全ての就学前子どもが、幼稚園や保育所等を利用する環境を整備することが求められています。

平成 27 年5月1日現在、香芝市の市立幼稚園9園(定員 1,645 人)には 704 人の子どもが在籍しています。

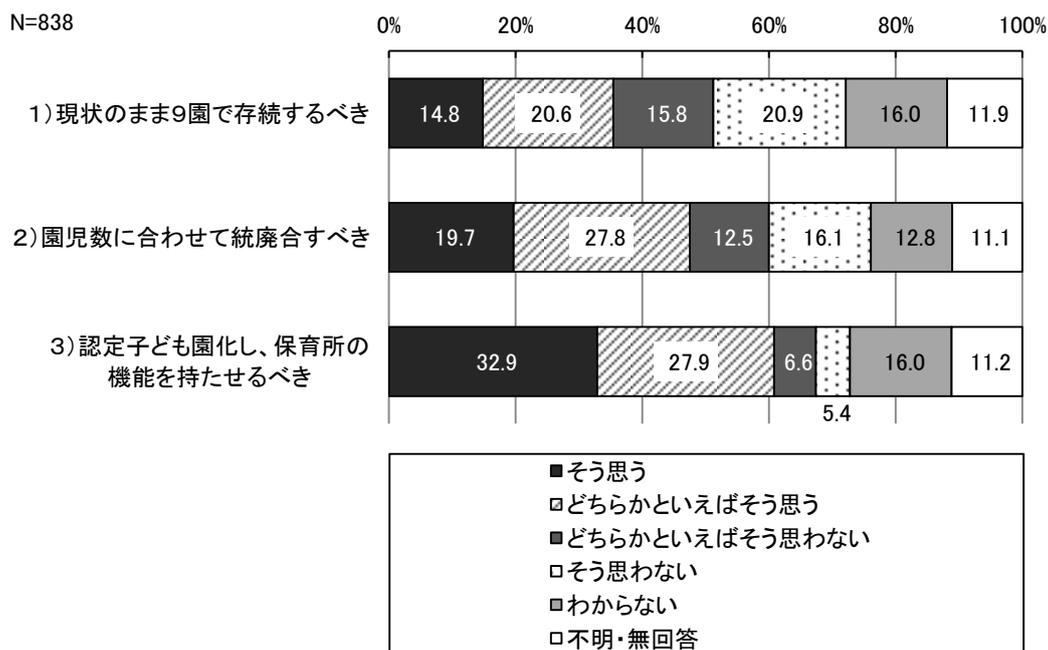
香芝市の市立幼稚園について、今後どのような運営をしていくべきだと思いますか。〕

香芝市の市立幼稚園の今後の運営に対する考えについてみると、『現状のまま9園で存続するべき』については、「そう思わない」が 20.9%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 20.6%となっています。

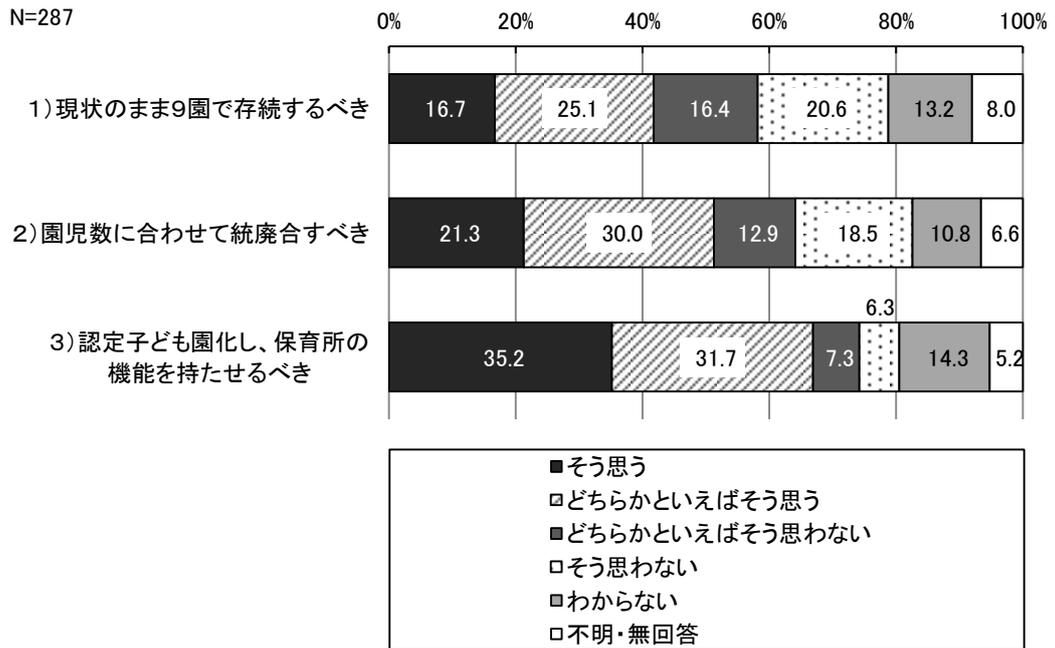
『園児数に合わせて統廃合すべき』については、「どちらかといえばそう思う」が 27.8%で最も多く、次いで「そう思う」が 19.7%となっています。

『認定子ども園化し、保育所の機能を持たせるべき』については、「そう思う」が 32.9%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 27.9%となっています。

問 40 で「香芝市の市立幼稚園を利用していたことがある(利用している)」と回答した人のみの回答を抽出したところ、「不明・無回答」が少なくなっていますが、回答の傾向にはあまり違いが見られませんでした。



### 市立幼稚園の今後の運営に対する考え（市立幼稚園利用経験者）



## 5 アンケート調査（総合戦略関係分）のまとめ

### （１）就職・転職と居留意向について

今後就職・転職を考えている人は若年者（39歳以下）の約半数を占めますが、そのうち香芝市から通える範囲での就業を希望する人が8割を超えています。しかし、就業先が見つからない場合については、そのうちの半数は住まいを移すと回答しており、関西圏、または住む場所はこだわらないという回答が多くなっています。香芝市にこれからも住み続けたいと思うかどうかについても、若年者については「住み続けたい」と「わからない」がそれぞれ4割ほどの回答となっており、香芝市での生活をとりあえずは望みつつも、就職等の状況によっては市内での生活に必ずしもこだわらない若年者の傾向がうかがえます。

また、香芝市から通える範囲での就業を希望しない人については、回答者数はそれほど多くありませんが、将来的に香芝市に戻ってくることについて、「戻ってきたいとは思わない」または「いつになるかはわからないが、いつかは戻ってきたい」という回答が多くなっており、積極的に香芝市を離れた人にとって、近い将来のUターンはあまりイメージされていないようです。

若年者に限らず、住民の大多数は他市からの転入を経験しており、またそのうちの約半数は「いろいろ検討した結果、香芝市に住むことにした」と回答しています。本市での生活に利点や魅力を感じ、積極的な選択の結果として居住している人が多いと考えられます。環境や利便性といった生活の場としての魅力を維持・向上することで、選ばれるまちとしての地位を守ること、さらなる発展を期することができると考えられます。

### （２）結婚・出産について

これまでに結婚したことがない人の結婚しない理由をみると、半数近くが「適当な相手がいない」と回答しており、出会いの場出会いの場づくり等の支援により、有配偶率を高める余地はあると考えられます。ただ、本市の若年層の有配偶率はもともと全国・県平均よりかなり高い水準にあります。

有配偶の若年層についてみると、理想の子ども数は、全国調査よりやや多い傾向があるにも関わらず、実際に予定している子ども数は、全国調査と少ない傾向が見られます。現在の子ども数については、子どものいない夫婦が少ない一方で、1世帯当たりの子どもの数は少なくなっています。

理想より予定の子ども数が少なくなる原因としては、「子育てや教育にお金がかかりすぎる」という回答が若年層で6割を超えており、若い世代ほど経済的な負担を感じていることがうかがえます。他にも、「自分の仕事に差し支える」、「育児の心理的、肉体的負担に耐えられない」という回答が若い世代では2割を超えており、経済的支援、仕事と育児の両立支援、育児負担の軽減等、幅広い育児支援のニーズがあることがうかがえます。

### （３）出生率について

本調査において、若年者（39歳以下）の有配偶者（問31「結婚している」）の理想子ども数（問34①）、予定子ども数（問34②）、現在の子ども数（問34③）、独身者（問31「結婚したことはな

い) または「配偶者と離別・死別したまま」の理想子ども数(問 34①)、現在の子ども数(問 34③)の平均値は以下の表の通りです(独身者の予定子ども数については全国調査では尋ねておらず、本調査でも無回答が多いため分析から除外しました)。全国調査と比較すると、理想子ども数は全国より高くなっており、全国的な状況と比較して香芝市の若年者は、子どもを多く持つことを希望していることがうかがえます。一方で、予定の子ども数は全国より少なくなっています。

この結果から香芝市の若年世代のコーホート合計特殊出生率(同一世代に属する女性が一生に生む子どもの数)を推計すると、1.71 となり、さらにこの世代の理想が十分かなえられると仮定した場合は 2.36 まで上昇します。人口動態保健所・市町村別統計によると、平成 20 年から平成 24 年の香芝市の合計特殊出生率は 1.57 となっており、今後上昇の余地があると考えられます。

有配偶者	理想子ども数	予定子ども数	現在の子ども数
香芝市	2.56	2.06	1.56
全国	2.41	2.15	1.49

独身者	理想(希望)子ども数	現在の子ども数
香芝市	2.07	0.18
全国	1.86	-

※いずれも 39 歳以下の回答で比較。全国調査では独身者については「希望の子ども数」と表現されている。  
 なお、全国調査については、有配偶者の年齢は妻の年齢を基準としているため、本調査とは若干のずれがあることが考えられる。

◎本調査から算出される若年者(39歳以下)のコーホート合計特殊出生率の推計値

※有配偶者については予定子ども数が達成されると仮定。独身者については、出生子ども数に加えて、希望子ども数の半分が達成されると仮定。

若年者(39歳以下)合計特殊出生率

$$= \{A \times C + (D + E \times 0.5) \times F\} / (C + F)$$

$$= \{2.06 \times 125 \text{ 人} + (0.18 + 2.07 \times 0.5) \times 87 \text{ 人}\} / (125 \text{ 人} + 87 \text{ 人}) = \underline{1.71}$$

◎若い世代の理想がかなえられた場合のコーホート合計特殊出生率の推計値

※有配偶者については理想子ども数が達成され、独身者については希望子ども数が達成されると仮定。

若年者(39歳以下)の合計特殊出生率

$$= (B \times C + E \times F) / (C + F)$$

$$= (2.56 \times 125 \text{ 人} + 2.07 \times 87 \text{ 人}) / (125 \text{ 人} + 87 \text{ 人}) = \underline{2.36}$$

A : 有配偶者予定子ども数(問 34②)

D : 独身者出生子ども数(問 34③)

B : 有配偶者理想子ども数(問 34①)

E : 独身者理想子ども数(問 34①)

C : 有配偶者数(問 31)

F : 独身者数(問 31)

#### (4) 総合戦略に向けた知見

本調査結果からえられた、総合戦略の構想において有益な知見は以下の通りです。

- 香芝市から通える範囲での就業を容易にすることで、市内に居住し続ける若年者の増加が見込めます。
- 市外からの転入を経験した人が市民の多数を占めており、その半数は積極的な選択の結果として本市への転入を決めています。これまで評価されてきた居住環境を維持・向上させることが、人口の維持にあたって重要な課題となります。
- 就職で市を離れた若者におけるUターン支援のニーズはあまり高くないと考えられます。
- 若者の流出については、一定程度やむを得ないものと考えられ、むしろベッドタウンとしての魅力を高めることで、新規移住者を獲得していく方向での取り組みが重要だと思われます。
- 全国的な傾向と比較して、香芝市においては、出産に関する若者の希望と現実の乖離が大きくなっており、幅広い出産・子育て支援のニーズがあることがうかがえます。
- 現在の若年層が実際に予定している出産がある程度かなえられることで、出生率は若干の改善が見込まれます。また、若者の希望が十分になう環境を整備することで、出生率にはさらなる上昇の余地があると考えられます。

以上を勘案し、ベッドタウンとして発展してきた本市の現状を踏まえると、女性の就労支援や仕事と家庭の両立の支援を含む、幅広い子育て支援を実施することにより、ベッドタウンとしての魅力をさらに高め、若者が住みたいと思えるまちづくりを行うことが、本市の人口の増加・維持の施策において中心的な課題となると考えられます。また、市内での雇用環境・居住環境を整えることは、まちの魅力を高め、転入者を増やすことにつながると考えられます。これまで多くの転入者を引き付けてきた選ばれるまちとしての地位を維持することで、継続的な発展が期待されます。